

II. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北海道)		一般小売店〔土産〕 (経営者)	・個人的な考えだが、新型コロナウイルスの第6波をもって、日本や一部の国の感染状況が収束に向かうとみている。これから3回目のワクチン接種が徐々に進むことになれば、一層感染が抑えられることになるため、2～3か月後には客も安心して旅行や移動を考えるようになる。そのため、今後の景気については楽観視している。
		商店街（代表者）	・今後については、暖房費などのマイナス要因も少なくなるため、新型コロナウイルスが収束に向かう兆しがみえれば、来街者が増加し、現状以上の売上が見込めることになる。また、まん延防止等重点措置の措置期間の終了や3回目のワクチン接種の進展を期待できることもプラス要因となる。
		商店街（代表者）	・希望的観測ではあるが、3月には新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況が落ち着き、経済的な動きも少しは上向くとみている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が売上に直結する状況にあるため、今後、感染状況が沈静化することで売上が回復することを期待している。
		百貨店（売場主任）	・来客数は新型コロナウイルス新規感染者数に左右されるため、今後、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてくることで景気が良くなる。
		百貨店（営業販促担当）	・現在の売上減少は感染拡大に伴う一時的な現象とみられる。客にもウィズコロナが定着していることから、感染が収まると回復傾向に向かうことになる。
		スーパー（企画担当）	・1月27日時点で34都道府県に適用されたまん延防止等重点措置の影響で2月中旬までは巣籠り消費の傾向が続くとみられる。そのため、新型コロナウイルスの影響が生じた1年目ほどではないにしても、食料品、酒類、日用雑貨などの売上は底堅く伸張することになる。
		スーパー（役員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、前年の春のような消費動向となっている。カップ麺、無菌米飯、ティッシュペーパーなど、巣籠り商材が一気に売れ出したことから、今後の景気はやや良くなる。
		乗用車販売店（経営者）	・受注が好調なことから、供給さえ回復すれば受注残が売上に繋がると見られ、景気も良くなる。ただ、新型コロナウイルスの感染状況で動向が変わってしまうことが心配される。
		その他専門店〔造花〕 (店長)	・現在が悪い状況にあることから、今後、感染状況が落ち着けば景気は良くなる。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況が落ち着くことで、ビジネス、観光の需要が戻ってくるとみている。ただ、恒例の冬のイベントについてオンライン開催への変更が発表されるなど、イベントを縮小したり、取りやめる動きがみられることから、冬季観光にとっては厳しい状況にある。今後の需要回復に向けて、観光関連業界が受入能力を維持できるかも懸念される。
		旅行代理店（従業員）	・第6波が収束に向かうことが見込まれることから、今後の景気はやや良くなる。
		通信会社（企画担当）	・前年度から営業利益を減らしてでも、客獲得に向けた経費の予算配分を大きく増やしていることから、今後の新規客の獲得が期待できる。特に現在他社に大きく負けている都市圏の状況が改善されることを期待している。
		観光名所（従業員）	・今後については、現在の新型コロナウイルスオミクロン株による第6波も落ち着きをみせ、前向きに活動していこうというステージに入るとみている。各種支援施策による後押しも期待している。
	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・今回の新型コロナウイルスオミクロン株による影響が一段落することで、観光のオンシーズンと合わせて輸送量が増加すると期待している。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住宅販売会社（経営者）	・このひと月以内で新型コロナウイルスオミクロン株が収束し、全体の景気が底上げされることを期待している。ただ、新型コロナウイルスオミクロン株に代わる新型コロナウイルス新株が出てくることになれば景気はますます下向きになると心配している。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスオミクロン株が市中で広がっており、客との会話でもそのことが話の出発点となっている。今後については、新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況がどうなるか分からないため、何とも言えない。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数の動向は予測できないが、しばらくは感染状況に大きな改善はみられず、人々の警戒感も強いままでであると見込まれる。街中や商業施設への人がすぐに回復するとは考え難いため、今後も景気は変わらない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば景気は上向きになるが、これまで新型コロナウイルスの感染再拡大を繰り返しているため、今後も景気は変わらない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルス第6波の影響で各種イベントの延期や中止が生じている。そのため、今後についても社会行事、学校行事関連の需要が落ち込むとみられ、最終的には前年と余り変わらない売上で終わるとみられる。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染状況に収束がみられないことから、今後も景気は変わらない。
		乗用車販売店（従業員）	・例年、北海道は春先需要があるため、今後については今以上の売上となる。ただ、新型コロナウイルスによる影響がどの程度生じるかで全てが変わってしまう。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響が収まれば、イベントなどが通常開催できるため、決算に向けての営業活動ができるようになる。決算手当を当てにしている社員も多いことから、前年並みの支給があれば前年と同じような景気となる。
		乗用車販売店（従業員）	・今後については、遅れていた納車が進むことで年末までの受注残による売上が見込める。ただ、現在、新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増加していることで、これから受注減が生じることも懸念される。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・客の動きをみると、新型コロナウイルスオミクロン株に戸惑っている様子もなく、こつこつと日常をこなす日本人らしい行動がうかがえる。そのため、今後の景気が悪くなるような雰囲気はない。
		高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染が続く限り、飲食店の利用は警戒されることになる。これまでの感染状況の推移から感染者が劇的に減らないのであれば、今の状況と変わらないまま推移することになる。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況によって変動するため、今後の景気も変わらない。
		美容室（経営者）	・1月の売上状況から、今後も売上は新型コロナウイルスの新規感染者数に余り左右されないとみている。ウィズコロナの生活が浸透していくと考えている。
		美容室（経営者）	・前年末から売上が少し上向いてきていたが、今後については新型コロナウイルスの影響もあり、良くなるとは考え難い。ただ、それほど落ち込むこともないとみている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・売上は前年比343.5%、前々年比で54.9%となっている。今後の景気は悪くなるような気がしてならない。
		百貨店（マネージャー）	・まん延防止等重点措置の解除後は若干のリベンジ消費が見込まれるが、その後は3回目のワクチン接種が進んだり、経口薬が広がるまで、厳しい状況となる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響で経済がうまく循環しないとみられるため、今後も景気は変わらないまま推移する。
		スーパー（企画担当）	・例年であれば、春に向けて活動的な時期となるが、新型コロナウイルス第6波が拡大し、まん延防止等重点措置が適用されたことから、今後の景気はやや悪くなる。人流抑制に伴う経済へのダメージが心配される。
		スーパー（従業員）	・食料品の値上がり、ガソリン価格の高騰などによって、生活防衛意識が高くなっており、今後もこの傾向が続くとみられることから、景気は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（エリア担当）	・現在の状況がしばらく続くこととみられることから、我慢の3か月となる。特に体力のない企業にとってはかなり苦しい状況が見込まれる。ただ、半年後には景気が良くなると期待している。
		コンビニ（エリア担当）	・飲食店などの外販先の売上が落ち込むことが懸念される。また、家庭の消費についても伸びが見込めない。
		家電量販店（経営者）	・まん延防止等重点措置が適用されてから、来客数、電話本数が激減している。今後についても売上の減少は避けられない。
		家電量販店（店員）	・第6波の感染状況によって客足が左右されることになるが、今後の景気はやや悪くなるとみられる。
		高級レストラン（スタッフ）	・今後しばらくは飲食店やレストランの客離れが続くことになる。昼は良くても、夜は相当厳しくなるため、景気はやや悪くなる。当分の間は、行政の支援金頼みになるが、閉店せずに事業を継続していきたい。医療体制が整備されれば、新規感染者数が増えたとしても、飲食店の営業自粛は軽減されると考えているが、新しいタイプのウイルスによる感染が起こると一からの出直しとなる。
		高級レストラン（スタッフ）	・感染状況が収まる気配がまだないため、今後の景気はやや悪くなる。また、感染が収まったとしても次の新型コロナウイルス変異株による拡大が起きることも懸念される。
		観光型ホテル（スタッフ）	・新規感染者数がピークアウトすれば、景気も回復し始めるとみているが、時期については不透明である。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの新規感染者数の急激な増加に加えて、まん延防止等重点措置の適用もあり、今後の利用者数の減少は避けられない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、春までは厳しい状況が続くとみられる。
		住宅販売会社（経営者）	・今後については、新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況が一段落するとみられるが、米国の金利上げなどの金融引締め策によって不動産市場に悪影響が生じることが懸念される。
	×	商店街（代表者）	・まん延防止等重点措置が適用されたことで、来客数が再び減少し、厳しい状況になるとみている。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響によって、今後の景気は悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・新規感染者数が増え続けており、規制の解除もまだ見通せないことから、今後への不安が増大している。これまで春には回復基調に向かうという期待を胸に頑張ってきた店が多かったが、その思いもくじかれたことで、商売への意欲を失って絶望感の漂う店が多くみられる。
	×	衣料品専門店（店長）	・行動制限が出されたことで、営業職の稼働が落ち込むことになり、売上が再び落ち込むことになる。ポリウムゾーンの購買層の消費が盛り返さない限りどうしようもない。
	×	スナック（経営者）	・まん延防止等重点措置が適用されるため、今後の景気が良くなるとは考え難い。どちらにしても措置期間の2月20日までは休業することになるため、その後のことについては状況をみながら考えていくことになる。
	×	観光型ホテル（経営者）	・新規感染者数の増加が続いていることから、今後、より強い措置が適用される可能性もあり、3か月先までの予約がストップしている状態にある。冬の観光シーズンに期待していたが、前年と同じ状況に追い込まれている。人流抑制策により営業が半強制的に止められており、なすすべがない。原材料費も含めて物価が上昇していることもマイナスである。
	×	タクシー運転手	・1月中旬までは人出が戻り、タクシーの利用も新型コロナウイルス発生前の状況に戻りつつあったが、今後、新型コロナウイルス新規感染者数が大幅に減少しない限り、まん延防止等重点措置の期間中は人出が減少するばかりとなる。特に夜の人出が大きく減っていることから、タクシーの利用も期待できない状況にある。
	×	タクシー運転手	・まん延防止等重点措置の期間は飽くまでも目安であり、今後の延長が十分に考えられる状況にある。また、これまでの経験から、解除後も低空飛行が続くことが見込まれる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	タクシー運転手	・年末年始と比べると、最近10日間くらいのタクシー利用は約4割落ちている。これは前年や前々年にもみられなかったほどの減少スピードであり、今後、どのような影響が出てくるのかを注視したい。北海道はまだ冬期間が続くため、まだまだ厳しくなることも懸念される。
	x	タクシー運転手	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染力は新型コロナウイルス変異株より強いとみられ、急激に新規感染者数が増加していることで、まん延防止等重点措置が適用されることになれば、タクシーの稼働状況も激減することになる。
	x	観光名所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の流行により低迷からの脱却がみえない状況となっている。今後、新型コロナウイルスオミクロン株が収束したとしても、新たな新型コロナウイルス変異株が発生すれば同じことの繰り返しになる。そのため、ワクチンや飲み薬の充実はさることながら、新型コロナウイルスの変異の傾向や重症者数、病床使用率などにも注視しながら、政府による適切な判断が行われ、いち早く経済が正常化されることを期待している。
	x	美容室（経営者）	・燃料費高騰、物価上昇、新型コロナウイルスオミクロン株の影響など、今後の景気が良くなると思えるような判断材料がない。
	x	美容室（経営者）	・原油高に加えて、新型コロナウイルスの感染状況が影響してくることで、今後の景気は悪くなる。
	企業 動向 関連 (北海道)	-	-
		食料品製造業（従業員）	・取引先と協力した販売促進計画を検討していることから、今後の景気はやや良くなる。
		家具製造業（経営者）	・新型コロナウイルス対策への経験値が高まっているなか、経済も回さなければという意識が強まっていることから、今後の景気はやや良くなる。
		建設業（経営者）	・公共工事について、ゼロ国債工事や習値工事の発注、契約が始まる。実際の工事着工はゴールデンウィーク明けになるが、準備作業などで技術者が動き始めることになる。民間建築工事についても引き合いが増えてくることでマインドが上向くことになる。
		金融業（従業員）	・先行きの道内経済についてはコロナ禍の収束状況次第であるが、新型コロナウイルスオミクロン株の重症化リスクが相対的に低いとみられることから、先行きのマインドが大幅に悪化し、消費、投資が極端に控えられることは考え難い。そのため、今後の道内経済はコロナ禍の収束に合わせて経済活動が活発化することになり、やや良くなる。
		その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・人手不足のせい、来年度の受注条件がやや良くなっているようにみえる。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・諸外国の状況から、新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況は早めに落ち着くと考えられるため、今後の経済活動の再開に期待が持てる。
		食料品製造業（従業員）	・受注量が変化するような案件が見当たらないため、今後も景気は変わらない。
		建設業（役員）	・新型コロナウイルスについて収束が見通せないことから、民間建築案件の受注動向や資材、燃料の価格高騰、品不足などが懸念材料となっている。一方、公共土木工事については、来年度予算成立後の新規受注を期待できることから、業績の下支えとなる。
		輸送業（営業担当）	・紙パルプ業界については、原料の古紙調達が進んでいることでは計画並みの物流に戻りつつある。また、畜産用配合飼料の原料も引き続き好調に推移している。ただし、本州向けの生乳については、引き続き縮小傾向で推移するとみられる。飲料関連も動きが不透明であり、物流量全体で見ると、今一つ好転の材料に乏しい。
		輸送業（支店長）	・例年、当社では春先から受注量が上向くことになるが、コロナ禍の影響もあり、先行きが不透明となっている。
		建設業（従業員）	・資材納入の遅れは建設工事費の上昇につながると同時に、労務費の上昇にもつながっている。資材納入の遅れがすぐに改善するとは考え難く、じわじわと費用上昇がみられることから、今後の景気はやや悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信業（営業担当）	・現状の景況感はやや良い状況が継続しているが、取引先の様子をみると、将来の需要や周囲の企業の経営状況に対して慎重な見方が増えている。また、足元での新型コロナウイルスの感染拡大の影響や半導体不足による納期遅延などのマイナス要因もあることから、この先の景況感はやや悪くなる。
		司法書士	・新型コロナウイルスオミクロン株が世界中で感染拡大するなか、日本においても1月中旬から急激に感染が拡大しており、各地でまん延防止等重点措置の適用が相次いでいる。新型コロナウイルスの感染第6波の収束も予測がはっきりとしないことから、今後の経済は落ち込むことになり、景気回復にも遅れが生じることになる。
		司法書士	・新規感染者数の増加に伴って、出張ができなくなったり、他地域との取引で現地に行くことができなくなることが見込まれるため、今後の業務に遅れが生じることになる。業種にもよるが、テレワークで対応するには限度があるため、こうした不便さ、不自由さが景気の足を引っ張ることになる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・コロナ禍、半導体不足、燃料価格の高騰、資材高騰、搾乳制限など、今後に向けてのマイナス要因が多いことから、景気はやや悪くなる。
		その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・半導体関係の供給不足によって様々な製品の供給が遅れ、納期がずれこんでいることに加えて、年明けから春にかけて値上げが起きていることから、急な発注が増えており、生産遅れが発生している。また、建築関連においても仕事が遅れ気味なこと、忙しくなるのは夏の終わり頃になりそうな気配があり、先が読みづらい状況となっている。
	x	-	-
雇用 関連 (北海道)		求人情報誌製作会社（編集者）	・今後については、新型コロナウイルスの感染第6波に収束傾向が現れることで、人の動きが活性化し、それとともに売上も上向いてくることになる。
		職業安定所（職員）	・当地における新規求人数は前年から11.5%増加しているほか、月間有効求人数も9か月連続で前年を上回っていることから、全体的には回復の兆しがみられる。ただし、産業、業種によって回復の度合いは異なっており、新型コロナウイルスの感染状況によっては、経済活動や消費行動の先行きを見通せない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・今後の新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況によっては、間もなく就活に入る3年生の志望業界選択を大きく左右することになる。ただし、新型コロナウイルスによる影響を余り受けていない業界においては、人材確保がうまくいくことが見込まれ、安定感が増すことになる。
		人材派遣会社（社員）	・今後も業績拡大に向けた動きは継続するとみられるものの、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が社内の人員体制に与える影響を心配する企業も目立つようになっている。一方、感染による社員の欠員対応として人材派遣を積極的に活用して、持ち直してきた企業活動の停滞回避を探る企業の動きもみられる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・今後、医療機関のひっ迫が起こる可能性があり、業界によっては再び人材ニーズが縮小することも懸念される。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・今後については、新型コロナウイルスの感染状況に左右される部分が大い。感染が収まれば景気は上向きとなり、新規感染者数が増えれば景気は悪くなる。また、長く続いている円安を背景とした資材価格や原料価格の高騰が消費や企業活動に与える影響も小さくないとみられる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、基幹産業の建設、農業を除けば、悪い影響を受ける業界が多いことから、今後の景気はやや悪くなる。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数がここに来て大きく増えていることから、今後の景気が上向くとは考え難い。せめて横ばいで推移すれば良いが、現在の状況下ではそれも厳しいとみられる。周辺をみると、業績が改善している企業や業績が2極化している業界などもみられるが、余り業績が良くない業界では景気が上向くような展望を描きにくい状況にあるため、今後の景気はやや悪くなる。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響から、雇用調整助成金の相談件数が増加傾向にあるため、今後の景気はやや悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	-	-

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)		衣料品専門店（店長）	・前年毛卒業式や入学式の頃に新型コロナウイルス感染が拡大して中止になるなどしたが、今の報道をみる限りでは第6波はある程度時間が経過すれば落ち着くとみられており、卒業式、入学式の中止はないという見方をしている人が多い。よって、フレッシュマン、卒業、入学の客は順当に来店し、前年より良くなるとみている。
		商店街（代表者）	・現在の新型コロナウイルスの影響が薄れ、その分消費が戻り、徐々に良くなっていくとみている。
		商店街（代表者）	・コロナ禍における過ごし方が少しずつ身についている。一時落ち着いている間に活動的になるとみている。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスオミクロン株のピークアウトにより、再び外出する機会が増え、消費が上向くと考える。
		百貨店（買付担当）	・新型コロナウイルスの感染状況による。感染が下火になれば入学式、卒業式、冠婚葬祭などの行事を中心に動きが期待できる。
		百貨店（経営者）	・3回目のワクチン接種や経口薬などにより、新規感染者数は新年度までには落ち着き、春物消費の最盛期には活発に動くこと期待している。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況から、飲食店への出入りは抑えられ、ますますスーパー業界、当社に足が向くと予想している。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス終息の見通しは立たないことから、当面は現状と同様に来客数の横ばい若しくは減少を単価でカバーする状況が続くと推測される。
		コンビニ（エリア担当）	・コロナ禍次第ではあるが、人流を含め回復基調にある。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、春らしくなってくれば、少し上向きになることが期待できる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株は重症化しにくいという話を聞くので、今後は少し伸びるとみている。
		住関連専門店（経営者）	・3か月先は新型コロナウイルスオミクロン株が下火になることが見込まれる。また、春の暖かさがやってくる、人々の消費意欲は上昇する。新型コロナウイルスによる閉塞感の反動が出てくるとみている。
		その他専門店〔食品〕（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株のピークアウトを期待している。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・まん延防止等重点措置に加え緊急事態宣言などが発出されれば、人々の動きは一気に停止してしまう。諸外国を見てもこれほど厳しくしている国はない。これ以上影響を受けるのは本当に厳しい。特に飲食店に卸している会社にとっては死活問題である。この先新規感染者数は劇的に減ると予想しているため、それでまた持ち直してくれればと願う。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着くことが大前提であるが、春に向かって消費マインドはかなり上向くとみている。
		高級レストラン（支配人）	・予約状況は団体が落ち込んで、少人数の利用が何とかある程度である。来客数は新型コロナウイルスオミクロン株の拡大に比例しており現在は少なくなっているが、2～3か月先についてはやや良くなるとみている。
	一般レストラン（経営者）	・気候も少し良くなるので、新型コロナウイルスの第6波が収束し、客が少し戻ってくれることを期待している。	
	一般レストラン（経営者）	・今月がひどすぎるので、ここまで落ち込むことはないともみている。	
	観光型旅館（スタッフ）	・ワクチン3回目の効果とピークアウトにより、ゴールデンウィークには来客数が戻ることを期待したい。	
	通信会社（営業担当）	・今回の感染拡大はピークアウトも早いといわれているので、新生活が始まる春頃には、再び経済活動も回復して市民生活も活発になっていることを期待している。そうなれば、キャンペーンや訪問活動も可能になっているので、現状よりは良くなるとみている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株も落ち着くとみている。春になると出歩く人が増えるので期待している。
		観光名所（職員）	・団体の予約が減り、その分を振り客がカバーをするという状況が続いている。まん延防止等重点措置が解除されれば、団体客が増える動きに変わり、やや上向きになってくるとみている。緊急事態宣言の状況下に比べると、まん延防止等重点措置の状況の方がやや良い感じである。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	・新刊点数の減少や相次ぐ雑誌の休刊もあり、大きく変わることはない。商品及び売場の付加価値の創出により切り抜けていこうと考えている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルス新規感染者数の増加が続き、現在品薄となっている新型コロナウイルス関連商品が今後も入ってくることを前提にすれば、今のやや良い状況が続くとみている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・政府の積極的な経済対策、各種給付金によって経済は支えられている。新型コロナウイルス感染症についても治療薬の開発等、終息への道筋がみえてきた。全面的な経済活動の再開も視野に入ってきたとみている。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染の拡大で地方でも非常に活動しにくい状況が続いているので、2～3か月後は見通せない。
		百貨店（営業担当）	・外的要因の影響は受けるが、来客数の動向は今月と大きく変わらないとみている。
		スーパー（経営者）	・2月も新型コロナウイルス新規感染者数の急激な増加が続けば、経済活動は停滞するとみている。また、原油価格の高止まりと円安の影響は製造・物流・販売のコストアップにつながり、これからも価格転嫁が続くとみている。値上げを期待しているが時間を要する。補助金や給付金の申請も始まったようだが、事業継続・収益改善には今しばらく厳しさが続く。景気回復には時間を要するとみている。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルス新規感染者数の急増で内食需要が高まるとみているが、商品の相次ぐ値上げで客に節約の傾向も現れている。この状況は続くともみている。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株が沈静化するまでは、内食需要は高まり客単価は上がるが、来店頻度の低下が心配される。
		スーパー（企画担当）	・食品小売業では今もまだ内食需要が続いている。景気はまだ変わらないようであるし、新型コロナウイルスもまだまだ終息しそうにないので、今までどおりの状況が続くとみている。
		コンビニ（経営者）	・雪は解け、客足は多少戻るが、除雪代の支払は残る。客がリモートや巣籠りに慣れつつある以上、売上が上がる期待も持てない。新型コロナウイルスもどうなるか分からず、希望もない。
		コンビニ（経営者）	・感染者が拡大しているため、人々が行動を自粛し始める。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数が減少し人の動きが活発になれば、経済的にも変わってくるが、今後どうなるかは不透明である。前年のGo To Travelキャンペーンのような、国民が安心して活動できる施策が国から出るまで、変わらないとみている。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株がどのように動くか読みきれない。
		コンビニ（店長）	・当県はまん延防止等重点措置の適用を要請せずに新型コロナウイルスオミクロン株を乗り切ろうとしており、今後新しい変異株が出てもそれほど慌てることなく経済を回すことができると考えている。一部の業界は厳しいと思うが、元々厳しかったところに新型コロナウイルスの影響が重なっただけであるということが分かった。よって、それほど慌てる必要はなく、このままでいくとみている。
		衣料品専門店（経営者）	・前月までは新型コロナウイルスの新規感染者数が減っていたが、今月に入り県内でも新型コロナウイルスオミクロン株の感染が多発している。それにより、人出が激減し来客数も減少しており苦慮している。
		衣料品専門店（経営者）	・現在の売上の中心である高額品のニーズは今後も落ちないと予測する。
		衣料品専門店（店長）	・感染状況が落ち着けば消費は戻ってくるとみているが、現段階では増減を繰り返しており、この先も余り変わらないと予想している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（総務担当）	・第6波の拡大がどこまで続くか分からず、乗客数は更に減少するとみている。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス新規感染者数が増えるかどうか次第である。
		乗用車販売店（従業員）	・報道のとおり部品供給が改善されているならば、新車の配車が増加し売上也伸びるとみているが、新型コロナウイルス新規感染者数の増加の現状を考えると、決算時期ではあるがさほど増加は望めない。
		乗用車販売店（店長）	・再々にわたる車両生産工場の稼働停止で、回復基調にあった新車納車がまた滞る予想となっている。幸い客足は前年以上になっているためバリューチェーン領域の売上確保で何とか前年収益を維持している。
		自動車備品販売店（経営者）	・除排雪関係業者は仕事量が多くなっている。しかし、コロナ禍で地域の新規感染者数も増えているなか、卒業式や謝恩会、各歓送迎会等の中止が予想されるため、プラスマイナスで変わらないとみている。
		住関連専門店（経営者）	・受注生産なので受注量は確定しており、今のところそれ以上のプラスアルファは望めない。
		その他専門店〔靴〕（従業員）	・第6波が沈静化するのを待つしかない。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・回復の兆しがみえない。当面は変わらないとみている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数の急激な増加があるが、家庭用灯油については余り影響をうけることなくこのままのペースで推移するとみている。
		高級レストラン（経営者）	・2～3か月先には新型コロナウイルスオミクロン株の感染も収束して少し良くなると思うが、その次が来ることも考えられるので何ともいえない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。11～12月は新規感染者数の減少とともに来客数が増えたので、感染状況が落ち着けば増えるとみている。
		タクシー運転手	・一般人の3回目のワクチン接種は始まっているが、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少して一定期間が経過するか、予防薬ではなく治療薬が広まらない限り、人出は期待できない。
		通信会社（営業担当）	・好転する材料が見当たらないため、現状が継続すると予想している。
		通信会社（営業担当）	・2～3か月先も、新型コロナウイルスオミクロン株の影響で落ち込んだ景気はまだ回復しないとみている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		住宅販売会社（経営者）	・受注予定は確保しているが、年度内の完成が難しく、決算額に反映できない。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染者が日々増加しており、収束の兆しがみえず春先にかけても景気は低迷するとみている。売上が低迷し3月に閉店する店舗も出始めている。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が営業に影響を及ぼしているなかで、燃料費も高騰し、商品もほとんどが値上がり傾向にある。厳しい状況が続くとみられる。
		スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数がピークアウトになる時期によるが、現状は新型コロナウイルス感染が拡大傾向となっており更に来客数が減少する可能性が高いとみている。しかし、以前のような巣籠り需要に転じる可能性もある。
		スーパー（営業担当）	・このまま新規感染者数が増加すれば経済環境にも影響する。また、価格高騰、原油高による値上げなどが消費活動に大きく影響するという心配もある。
		コンビニ（経営者）	・最終週に急に来客数が激減している。新型コロナウイルスオミクロン株の流行が身近に迫っている感じがあり、月初め、中旬とは動きがガラリと変わってきた。当県における新型コロナウイルス新規感染者数も大分増えており、新型コロナウイルスのニュースが流れ始めた途端に客足が途絶えている。景気は下向きに変わったとみているが、この先の動向は新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス新規感染者数の増加に伴い、売上、来客数が低下するとみている。マスクを着用せず入店する客も増えている気がする。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（エリア担当）	・引き続き、新型コロナウイルス第6波の影響が出る。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株が感染拡大していることで外出自粛が増え、来客数が大幅に減少している。
		家電量販店（店長）	・子育て世帯への臨時特別給付の給付効果がなくなってくる。原油高でガソリンや灯油の値段が上がったことにより実質賃金下がっており、家計に影響してくる。物価高の意識が客に悪影響を与えるとみている。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス新規感染者数が増加しているため、前年同様時短営業等で影響が出てくるとみている。
		高級レストラン（スタッフ）	・飲食店の営業時間を短くしたり、休業にするという動きがあるため、需要が喚起されない。世間の動きに合わせ、客の経済活動は衰えたままである。
		観光型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染が収束しない限り、先が見えない状況が続くとみている。
		観光型ホテル（スタッフ）	・濃厚接触者、感染者への対応を変えないと客が動かない。
		観光型旅館（経営者）	・新規感染者数が増加傾向にあるので予測しにくい、減少するまでは自粛傾向は避けられないとみている。
		タクシー運転手	・年配者への3回目のワクチン接種が早急に終了することを願っている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染ピークアウト後の経済立て直しはゆっくり進むと考えられる。消費拡大するにも原資が見当たらないため、やや悪くなるとみている。
		通信会社（営業担当）	・物価上昇の影響が徐々に出てきて、景気は悪くなるとみている。
		競艇場（職員）	・現在新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増えているため、来客数が増えることはないとみている。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響は3～4月頃まで続くとみている。
		その他住宅[リフォーム]（従業員）	・給湯器の納品遅れは長引くことが予想され、予約注文となっている。給湯器以外にも納品遅れが出てくるとみている。
		その他住宅[住宅展示場運営会社]（従業員）	・今後も、新型コロナウイルスの感染拡大が収束を迎えるまでは、来場者数の減少を予測している。
	×	商店街（代表者）	・感染が拡大している新型コロナウイルスオミクロン株の状況次第である。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスオミクロン株が猛威を振るい、まん延防止等重点措置が適用されることになっている。
	×	一般小売店[医薬品]（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない限り、現在の悪い状況が続いていくので、将来の景気の見通しは立てにくい。
	×	一般小売店[酒]（経営者）	・まん延防止等重点措置が適用され、更に消費者の出控えは強いものとなっている。先行きが全く見通せない現状では、経済は悪くなるとみている。
	×	スーパー（経営者）	・コロナ禍により社会的、経済的制限が更に強まり、閉塞感がまん延し、なかなか消費マインドが上がってこないとみている。
	×	コンビニ（経営者）	・当地でも新型コロナウイルス新規感染者数が増えて、この先どうなるか正直分からない状況である。
	×	家電量販店（従業員）	・新型コロナウイルス感染症の新規感染者数増加により、客の外出自粛の傾向が顕著になっている。
	×	その他専門店[酒]（経営者）	・新型コロナウイルスに振り回されて、これ以上飲食店に影響が出続けると回復不可能になりかねない。また、店頭販売での一般客も徐々に疲弊して酒類の購入を控えているように見受けられる。
	×	一般レストラン（経営者）	・受験シーズンの絡みもあり、たとえ新規感染者数が落ち着いても再発防止に気持ちが動く。当面は危機感をもった行動になり、不要不急の行動を控える動きが続くとみている。よって、新シーズンを迎えるまでは景気は最悪の状態を維持すると予想する。
	×	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大が落ち着かない限り、個人・団体旅行共に新規申込みがない状態が継続するため、旅行・観光業界における景気は再び悪化する悪循環に突入している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が更に拡大しており、まん延防止等重点措置の適用範囲が拡大傾向にある。
	×	旅行代理店（従業員）	・向こう1か月少々は感染拡大に伴い需要の谷を迎えていくことになるかとみている。一方では、感染が収束することで需要が回復し、さらに、各県民割やGo Toキャンペーン等が再開することで需要が爆発することへの期待もある。
	×	遊園地（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況次第であるが、ガソリン価格やその他の物価上昇も影響しそうで、厳しい見通しである。
	×	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・感染者も濃厚接触者も社会復帰できるまで2～3週間が必要であり、欠勤者が増えて事業継続にも支障がある状態である。中小企業への緊急の経済支援が望まれる。
	×	設計事務所（経営者）	・年度末を迎え工事が完工するタイミングだが、給湯器や便器など、半導体不足に伴い一部機器の納入遅れが報告され、引渡しが遅延となる事案が発生した。引き合いのあった施主より、部材の品薄に伴う工期の延長や部材の高騰を心配する声を聞くようになり、建設時期の見直しを実行又は検討する施主が増えている。
企業 動向 関連 (東北)		*	*
		食料品製造業（製造担当）	・3回目のワクチン接種により、春先には客足が伸びるものと予想される。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・年度末の仕事が入ってくること、新型コロナウイルスオミクロン株が収束することを期待している。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・取引先において、2023年度以降に既存設備の運転再開予定があり、当該設備の長期安定運用に向けた予防保全や各種事前点検が増加すると予想している。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・工場の稼働状況はまだみえていないが、生産設備停止中の自動化設備の改善、改造等の情報や引き合いがあり、現状よりは良くなる方向に動く見込みである。
		建設業（従業員）	・新年度にかけて生産施設関連の大型受注が見込まれており、景気の上向きが期待できる状況となっている。
		通信業（営業担当）	・半導体不足の影響が徐々に解消し、受注に対して商品を提供できるようになる。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株による第6波の鎮静化により、経済活動が回復するとみている。
		その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・第6波が収まることで、反動として消費が増えるかとみている。
		農林水産業（従業員）	・前年の果物の販売単価は、全般的に例年よりも1～2割高かった。一方で、農機具等の整備点検を業者に見積もってもらったところ、今年は1～2割程度値上がりしている。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新型コロナウイルスに振り回される状況からの脱却は難しく、イタチごっこのような経済状況は今しばらく続くかとみている。マスクが外せるようにならないと景気回復は望めない。
		金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスやウクライナの状況により変化することが見込まれるので判断が難しいが、業界内では何とか現状を維持するべく努力が続けられる。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・新製品の開発から納品のスピード及び頻度に大きな変化はない見通しである。半導体関連のマンパワーが国内で不足しており、需要は相変わらず高いが、景気に大きく影響を与えるほどには至っていない。
		建設業（従業員）	・冬季は工事案件が少なく、先が見通せない状況である。
		通信業（営業担当）	・客の反応は今後も厳しい状況が続くとみられ、リモートに特化した対応でつなぎ止めるしかない。
	広告業協会（役員）	・Go Toキャンペーンが再開し、イベントの参加人数制限が撤廃される状況になれば広告業界全体の底上げになるが、前年同様に感染者の波が来るようでは、新型コロナウイルス発生前の実績に戻るのには難しい。	
	司法書士	・現状コロナ禍の影響はさほどなく、景気を左右する要因が乏しいため、現状で推移するとみている。	
	その他企業〔企画業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がこれからも続き、温泉街や観光客向け飲食店への集客が滞滞することが考えられる。交流人口増を掲げる街の方針にも大きなマイナス要素となっていることから、景気の先行きには暗い影が見え隠れる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他企業〔協同組合〕（職員）	・見積り、受注案件は底上げ傾向にある。しかし、急激な資源高及び供給抑制が、原価増及び仕掛増につながっており、収益と資金繰りを圧迫し始めている。
		食料品製造業（経営者）	・新規感染者数が減らないと厳しい。
		食料品製造業（営業担当）	・回復の兆しがみえていた年末年始だったが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染者数急増により、状況が一変してしまった。2～3か月後も予測不可能で、景気はやや悪化するとみている。
		輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大もさることながら、当社にとって現時点での大きなマイナス要因は原油価格の高騰である。原油市場の取引価格をみても高止まり状態が続くことが予想され、更なる高騰も十分あり得る。景気動向については悲観的な見方をせざるを得ない。
		広告代理店（経営者）	・このまま感染拡大が収束しなければ、更に悪化する見通しである。
		経営コンサルタント	・東北地方も今後、まん延防止等重点措置が適用される地域が増え、ますます景気の低迷が進むと予測している。
		公認会計士	・現在、新型コロナウイルスオミクロン株が流行しており、まん延防止等重点措置が適用されている県が出ている。これを考えると再度小売、サービス、飲食関係の売上が落ちると予想される。この第6波が収束しない限り、景気回復は難しいと予想する。
		コピーサービス業（従業員）	・半導体生産の遅れの影響が年度末の入札案件に影響している。指名停止の可能性もあるので、入札は慎重にならざるを得ない状況である。場合によっては例年より辞退する案件が多くなることが予想される。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・景気は新型コロナウイルスの感染状況でどうにでも変わる。感染状況が収まってくれば景気は良くなっていくし、今より新規感染者数が増えると景気はますます悪くなる。
	×	農林水産業（従業者）	・肥料や農薬の価格高騰により収益が圧迫されると予想している。
	×	窯業・土石製品製造業（役員）	・生産に必要な原材料の価格高騰が続いている。生活面でも値上げラッシュが続いており、賃金上昇が望めないなかで景気は悪化するとみている。
	×	金融業（広報担当）	・当県初のまん延防止等重点措置適用となり、対象地域の人通りは昼夜問わず激減している。濃厚接触者の隔離によって経済活動に影響が出ることが考えられる。また今後、まん延防止等重点措置の適用範囲が県内全域に拡大する可能性は否定できない。前向きな要因は見当たらない。
雇用 関連 (東北)		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響で対面での商談を控える動きは少し高まっているが、Webツールへの置き換えなどが前年にかけて進んだ結果、大きな影響はないと考えている。今後とも良くなっていくと想定している。
		職業安定所（職員）	・新規求人数、有効求人数共に9月以降、前年同月を上回っており、今後もこの傾向はしばらく続くとみている。
		民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第のところもあるが、製造業で人材を求めている状況は変わらないと見込んでいる。
		人材派遣会社（社員）	・現在の新型コロナウイルスオミクロン株が猛威を振るっている状況を鑑みると、人の動きが抑制されており、今よりも良くなるとはいえない。ただ、経済活動をやめていない企業が多いので、求人活動も今までどおり行われている。新しく求人活動を始める企業は少ないかもしれないが、現状維持の状況が続くとみている。
		人材派遣会社（社員）	・現状で求人数などに大きな動きがないため、景気はそれほど変わらないとみている。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の拡大が、先行きの見通しを分からなくしている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・現在の新型コロナウイルスの感染状況から、2～3か月先のイベント開催に関して慎重になっている。オンラインイベントへの切替えならまだしも、延期、中止という選択が増えている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・県独自の緊急事態宣言が出ているが、解除されても数か月間は外食や旅行などに対する消費は抑制される。また、中止・延期されたイベントを開催するまでには至らないとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響も薄く、当面人手不足の状況は続くともている。
		職業安定所（職員）	・原油価格の高騰、不安定な海外サプライチェーン、新型コロナウイルス感染症の第6波の影響で、足踏み状態あるいは後退にならないか心配である。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスオミクロン株のまん延とそれに伴う経済活動の停滞や、ウクライナの国際不安など景気を下振れさせる要素が多い。実際に新型コロナウイルスオミクロン株に起因していると思われる求人見送りなどの声を聞くようになってきている。
		新聞社〔求人広告〕（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株が猛威を振るっており、先が全く見通せない。イベントも中止になっている。
		職業安定所（職員）	・企業からの求人数が増えており人手不足感が強くなっているものの、それに伴う求職者の動きが鈍く、採用者が増えていない。さらに、新型コロナウイルスオミクロン株の影響により面接に応募する人の動きは弱くなっており、一層厳しい状況となっている。
		職業安定所（職員）	・感染拡大が続く中で、好転する理由が見当たらない。
		学校〔専門学校〕	・北東北地方の感染ピークは首都圏よりも遅れてくることが想定される。また、新規感染者数がどこまで増加するか、医療体制がどこまで持ちこたえるかによるが、当県ではこれまでなかったまん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発出の可能性が少なからず出てきている。
	×	アウトソーシング企業（社員）	・ワクチンの効果もなく新型コロナウイルスの新規感染者数が増え続けているため、出口がみえない。

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスも落ち着いて暖かくなり、人が動き出すと予想する。今しばらくの辛抱ではないか。
		都市型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルスの感染拡大第6波の終息を願って、希望的観測含めての回答である。
		百貨店（営業担当）	・当店は大型改装を控えているが、それに伴う相乗効果で、来客数、新規客層の獲得に向けた期待感があり、売上、来客数の改善を見込んでいる。
		百貨店（店長）	・2月中に新型コロナウイルスオミクロン株の感染者数が減少傾向に転じ、3月以降に3回目のワクチン接種が進行すること等、一定の条件が整えば、人流が増え、それに伴い店舗への来客数も増加する。
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・今が非常に悪いので、上昇しかない。国の政策と国民の努力で、春には回復すると信じている。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・食材や人件費の増加によるコスト上昇が、収益圧迫要因となっている。ただし、事業所給食部門では取引条件の見直しに応じてもらえるようになってきている。レストラン部門は厳しい状況が続くものの、総じて、新型コロナウイルスの感染ピークアウトと収支確保への道筋を期待している。
		旅行代理店（所長）	・新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大は、スピードは早いものの、重症化はしにくいようである。沖縄ではピークアウトも見られるとの報道もされているため、当地もまん延防止等重点措置地域に入るが、早期に解消され、春には旅客の動きが復活することを想定しつつ、期待している。
		通信会社（営業担当）	・2月中に感染拡大がピークアウトすれば、3月以降の景気回復が見込める。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が減少するまでは、まだ当分掛かる。ワクチンや飲み薬が沢山できて、ワクチン接種ができるようになれば、いくらか良くなるのではないかと期待している。
	一般小売店〔土産〕（経営者）	・前月時点では想像もできなかった感染爆発が起こっている。感染者の増減に影響を受けやすい観光業を営んでいるため、景気は極端に悪くなっている。今までの感染拡大の波のときと同様に、感染者が増加傾向にあると来客は減るので、再び我慢のときだと考えている。現在の底の状況からは更に悪くなりようがないので、変わらない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの感染再拡大により、先行きが見通せない。
		スーパー（商品部担当）	・まん延防止等重点措置が適用され、外食店舗の一部休業や時間短縮の影響で、内食傾向の客単価上昇も期待される業種だが、解除後の反動や復興キャンペーンなどの影響も考慮すると変わらないのではないかと。また、食料品の値上げラッシュが家計を圧迫することもあり得る。
		コンビニ（経営者）	・まん延防止等重点措置が適用されたことにより、リモート勤務の増加等、コンビニにとっては大変痛手だが、客は割と変わりなく生活しているようである。このところの値上げラッシュも、受け入れられているように思える。大きな変化はないが、新型コロナウイルス後の好循環に期待したい。
		コンビニ（店長）	・近隣にあった大型施設が閉鎖して1年以上経過したため、人の流れが低い水準で安定したと思われる。この状態は続く。
		衣料品専門店（統括）	・新型コロナウイルスの感染状況は、悪い方でほとんど変わらない。悪い方、悪い方に行ってしまうのが現状で、商店街に来る客も、なかなか元に戻る状況ではない。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で、変わりそうな気がする。
		家電量販店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大で、消費は冷え込んでいる。また、販売側も社員の健康維持が大変である。
		乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーの生産台数は、2年前との比較で今月は30%ダウンである。部品調達の遅延や新型コロナウイルスの感染拡大第6波により、生産調整を余儀なくされている。また、大規模小売店の来店者数も少なくなっているようである。
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響は全国的なことなので、全国の皆さんの回答も同じだと思うが、新型コロナウイルスオミクロン株が落ち着かない限り、景気が良くなるという保証はない。それでも営業はしなければいけないので、頑張っているが、明るい材料がない。2～3か月先もこのまま推移するのではないかと。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が改善されれば良いが、すぐには景気に反映されない。上向きにはまだしばらく時間が掛かる。
		住関連専門店（仕入担当）	・不確定要素が多く、今後の見通しは立たない。ほとんどの商材で仕入価格の値上げ申請があり、上昇幅もこれまでに経験のないほど大きい。対応次第では、来客数や販売数に影響してくるとみている。
		その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・まん延防止等重点措置対象地域になってしまったので、今後の状況は読みづらい。商材の入荷も不安定で、メーカーや商社でも状況がつかめない。こちらの主力商材が予定どおり入荷すれば良い方向に行くのではないかと。今のところ、新型コロナウイルスオミクロン株の拡大や商材の状況がピークを過ぎれば、といったところである。
		観光型ホテル（経営者）	・Withコロナにかじを切らない限り、観光飲食関連業界は更なる打撃を受ける。Withコロナ施策を取れば、ある程度は回復するのではないかと。変わらないと回答したが、正直なところ、分からない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大を受けて、宴会や会議は軒並みキャンセルとなっている。前年比150%ではあるが、そもそもの数字が低いので参考にならない。新型コロナウイルス流行前の2018年比で約16%、宿泊は同比約75～85%で推移しているが、今後の感染状況次第で変わってくる。レストランも同様だが、現状では良い見通しは立てられない。
		都市型ホテル（総支配人）	・まん延防止等重点措置の適用により、どの程度新型コロナウイルスの感染が落ち着くかにもよるが、正直、余り期待はできないような気がする。国や自治体の本気で取り組まない限り、同じことの繰り返しになるのではないかと。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況に翻弄されて、先が読めない。
		タクシー運転手	・現状の悪いままで変わらないような気がする。全国的に新型コロナウイルス一色になっている。
		タクシー（経営者）	・夜の動きが悪いので、この先も良くない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（総務担当）	・商材の生産が改善される見通しが立たないため、変わらない。
		通信会社（局長）	・感染予防対策をして営業を続けるようにしているが、爆発的な感染状況が収まらなければ景気回復は難しいと感じている。
		競輪場（職員）	・新型コロナウイルス感染者が爆発的に増えているなかで、今後の状況は不透明で、感染拡大と減少を繰り返すと考えると予測は非常に難しい。
		設計事務所（所長）	・3回目のワクチン接種の状況にもよるが、新型コロナウイルスオミクロン株のまん延による影響で、景気回復にはある程度の時間が掛かるのではないかと。
		設計事務所（所長）	・政府が思い切った政策を打ち出さない限り、景気に関して今の状況が堂々巡りをするのではないかと。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルス禍が落ち着くまでは、現状は打破できない。
		住宅販売会社（経営者）	・やはり、新型コロナウイルスが収まらないと、街の活性化はできない。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・新型コロナウイルスオミクロン株による影響が、懸念材料である。客を訪問して現状を確認しなくてはならない仕事のため、通常の営業活動に支障が出ないかと不安である。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス対応のまん延防止等重点措置が適用された当県では、3回目のワクチン接種の進捗に期待する人が多い。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスに加えて半導体不足による物価高騰が原因かと思うが、買い渋りが発生しているようである。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・新型コロナウイルスの収束次第である。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況に左右される。今後、感染者数が減少するまでは、消費行動にブレーキが掛かるものとみている。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況によると思うが、急激な回復は難しい。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が、今後どのように推移していくか、むしろ感染が増えるのではないかと心配している。
		コンビニ（店長）	・また、新型コロナウイルスが増えてきたので、来客数等が減ってくるのではないかと。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況で変化と思うが、年度末に向かって受注残にはなっておらず、厳しい状況が続いている。
		自動車備品販売店（経営者）	・2～3か月先は、新型コロナウイルスオミクロン株も落ち着き、消費意欲も高まると予想されるので、今より忙しくなる。
		住関連専門店（店長）	・3回目のワクチン接種が開始されても、当分の間、新型コロナウイルスオミクロン株は終息しない。重症化しないとはいえ、感染者の自宅待機が増えれば、仕事ができない人が増え、経済循環が悪化する可能性がある。行政が新しい対策を打たない限り、景気は少しずつ悪くなる。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えれば客が減るという状況で、来客数の変化が顕著である。
		旅行代理店（従業員）	・1年前と同じような状況になる気がする。経済対策を期待したい。
		通信会社（社員）	・しばらくは、経済全体が新型コロナウイルスの影響を受けるのではないかと。
		テーマパーク（職員）	・仮に、まん延防止等重点措置が解除されても、来園者数が増加するまでには相当の時間を要することから、厳しい春になると思われる。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・人流制限が及ぼす影響が出るため、やや悪くなる。
	x	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが急激に感染拡大してしまっていて、客が全然来ないので、悪くなっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	衣料品専門店（販売担当）	・この2年間何をやっていったのか、笑ってしまうくらい同じことの繰り返しで、新型コロナウイルスの感染拡大防止の抑制策等が茶番に見えて仕方がない。今、専門家の先生方が言っているように、科学的根拠があつての話のなかで、人流抑制やステイホームではなく、きちっとした形で社会の循環型ができるような政治の対策が、本当に喫緊の課題ではないか。そこを早急にやってもらわないと本当に死んでしまう。
	x	家電量販店（店員）	・給付金等の政策がなければ、低迷する。
	x	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・まん延防止等重点措置が適用され、先行きが不透明である。
	x	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大がすごいので、当社の仕入れ先の商材も世界から入ってこなくなり、いろいろな物が遅れてきている。また、仕入価格も上がってきているが、売価は上げられないので、非常に悪い状態がしばらく続く。
	x	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が見えない。いつになったら新型コロナウイルス流行前に戻るのか。
	x	通信会社（経営者）	・いまだに多くの機器等が入荷未定という状況で、景気が良い悪い以前の問題である。価格を抑えるため、あらゆる物を海外に依存した結果が現状である。
	x	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、景気の向上は見込めない。
	x	美容室（経営者）	・最終価格に転嫁する企業が増えて物価が上がる。賃金を上げざるを得ないサービス業全般にいえることは、新卒者求人 は例年より慎重で厳しくなる。
企業 動向 関連 (北関東)	-	-	-
		化学工業（経営者）	・価格改定がある程度浸透すれば、生産も新規引き合いも増加するのではないかと希望を持っている。
		金属製品製造業（経営者）	・得意先から、一部商材の発注が4月以降、倍になると言われている。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・最近の受注状況からみても、収益が更に改善すると思われる。ただし、新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株がこれからどうなるかが少し不透明なので、このまま変わらないような気がする。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響も受けず、営業できることを感謝している。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・この2～3か月間、やや良くなったり、悪くなったり、変わらなかつたりだったので、2～3か月先のことはほとんどどうなるか分からない状況である。
		その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響がまだしばらくは残ると考える。
		輸送業（営業担当）	・新年度を迎え、新生活用品、白物家電、インテリア用品等は前年並みを確保予定である。しかし、新型コロナウイルスオミクロン株等の感染状況次第で、特に、引越し依頼等では変化がありそうなので、心配している。
		経営コンサルタント	・2～3か月先の景気は、変わらないというより、分からない、あるいは読みにくいというのが本当のところである。新型コロナウイルス禍の社会全般の受け止め方が変わらなければ、このまま自粛モードがだらだらと続き、地域経済は大きく変わらない。
		司法書士	・このところ大規模な開発などの話を耳にすることはないので、今までどおり落ち着いた動きで推移していくものとみている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・半導体やワイヤーハーネス等、部品不足による影響が様々な分野に広がりつつある。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、国内工場でも生産停止を余儀なくされる状況が始まっており、簡単には好転しない。
		建設業（総務担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、更に先行きが見通せず、公共事業発注のペースも遅く、この先が怖い。
	不動産業（経営者）	・時期的に受注は増えていく傾向にあるが、新型コロナウイルスオミクロン株の影響もあり、入退去が少なくなれば収益は減少する。	
	広告代理店（営業担当）	・春までは、再び緊急事態宣言発出時のような最悪の経済状態になる恐れがある。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		社会保険労務士	・新型コロナウイルスの感染状況が現状程度で済めば、それほど大きくは落ち込まないで済むのではないかと。ただし、春以降に一段と物価が上がりそうなので、賃金が上がらなければ消費は落ちる。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・知り合いの会社で、部品が何点か欠品しているため、3か月ほど1個も出荷できていないという悲惨な状況の会社もある。これがどんどん広がって、そこら中の中小企業がばたばた倒産してしまうのではないかとという危機感を持っている。
	×	建設業（開発担当）	・新型コロナウイルス禍が長期化している影響で、公共工事発注は前年比86%と厳しい状況で、当社受注も前年比10%減と厳しい。また、従業員の高齢化は新型コロナウイルス禍で、一層問題が生じてきている。
	×	不動産業（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大中のため、今後の業務も中止や延期、従業員の感染による休業の影響で、売上が減少する可能性がある。また、一部テナントの撤退が決まっており、賃料収入や保守作業も減少する見込みである。
雇用 関連 (北関東)		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの状況によって左右されるため、なかなか正確な予想ができない。今回の感染拡大の波が落ち着けば、それ以降は、3回目のワクチン接種も進むだろうし、消費者の心理も大分変わって、旅行やGo Toキャンペーン等も再開されるという希望的な観測をしている。そんな願いもありながら、良くなっていくのではないかと。
		-	-
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染拡大により、企業が採用に対して慎重になっているため、人材紹介は変わらない。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響が出てくると予想されるため、現状のまま変わらない。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・新型コロナウイルスが感染拡大しているが、経済を回していく必要があると皆が思っていると感じられるため、悪くなるともいえない状態である。
		人材派遣会社（管理担当）	・工場の生産計画が3月まで減少している上に、新型コロナウイルスの感染者が増えると工場停止等の可能性があるため、やや悪くなる。
	職業安定所（職員）	・1月からの新型コロナウイルス感染再拡大により、飲食店や旅行関連事業所から、休業実施等の相談が増加している。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	人材派遣会社（経営者）	・新型コロナウイルス禍で、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、随分と各業種で人の動きが減らされており、非常に厳しく、目標達成は難しい。ただし、公共事業関連の建築、土木では年度末に向けての動きが多く出てくると思うので、関連業種は増えてくるとみている。

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (南関東)		一般小売店〔生花〕 (店員)	・3～4月は卒業式、入学式などがあるので期待はしている。前年は期待の半分くらいだったものの何とかしのげたが、今年はどうかと思っている。本当に新型コロナウイルスの影響で経営事情が厳しい。気力で頑張っているところがある(東京都)。
		住関連専門店(営業担当)	・今後、住宅設備機器の値上げが予定又は予測されており、値上げ前の前倒し需要で短期的には好転する(東京都)。
		タクシー運転手	・飽くまで希望的観測だが、今の新型コロナウイルスオミクロン株がピークアウトすれば、大分人の流れが良くなり、景気も良くなっていく。新型コロナウイルスオミクロン株は症状が軽く、重症者も出にくいようなので、このまま収束していけば人の流れが出て、今よりは良くなる(東京都)。
		ゴルフ場(経営者)	・新型コロナウイルスオミクロン株のピークアウトは従来よりも早いと予想している。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕(経営者)	・仕事の性質上、相手方と数回会って仕事を決める必要がある。新型コロナウイルスの影響により仕事相手と会うことができなくなったことは非常に大きなマイナスである。
		商店街(代表者)	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染がピークアウトし、またつかの間のリベンジ消費がやってくる。新型コロナウイルスの株は違えど、何となくパターンはつかめてきているはずなので、政府には4回目のワクチン接種の可能性など、次の感染第7波があることを前提に、安心感を担保してマインドを冷やさないようにしてほしい(東京都)。
		一般小売店〔家電〕 (経理担当)	・買いたい物があるのに、なかなか外に出掛けられない。当店のよう小さな店の方が、人の出入りが少ないので買いに来る人が増えているのかもしれない。
		一般小売店〔祭用品〕 (経営者)	・新型コロナウイルスの感染拡大がピークアウトして、感染者数がまた減ることで、行事が再開され、需要が出てくる。
		一般小売店〔文具〕 (販売企画担当)	・外商における民間の物件等で、年度末までに予算を使い切る、若しくは今回設備投資をしたいというところがちらほらあるので、今後は良くなるのではないかと。
		百貨店(売場主任)	・全ては新型コロナウイルスの感染状況次第である。急激に拡大した感染者数のピークアウトが早いことと、春になり気温が上昇することにより外出しやすい環境になることを期待している(東京都)。
		百貨店(総務担当)	・新型コロナウイルス感染第6波がピークアウトしていけば、第5波収束後のように消費活動が活発になる(東京都)。
		百貨店(販売促進担当)	・現在は新型コロナウイルスオミクロン株が流行しているため来客数が減ってはいるが、2～3か月先にピークアウトした後に、前年10月以降の緊急事態宣言解除後のような動きが出てくれば、また人の動きが戻ってくるのではないかと(東京都)。
		百貨店(店長)	・新型コロナウイルスオミクロン株亜種の情報が不透明なかではあるが、感染者数がある程度落ち着き、人流が回復するとみている(東京都)。
	スーパー(総務担当)	・飽くまで期待を込めてのことだが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染がピークアウトすることを前提に、ますます人が流動し外出等が増えることによって、景気が良くなる。給与面の大幅な伸びはまだ見込めないなかでは、大変良くなるまではいかないが、前年よりは売上が伸びると予想している。	
	コンビニ(経営者)	・新型コロナウイルスワクチン接種者の増加と、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が収まることにより、景気は上向いてくる。逆に、そうならないと生活が成り立たない人々が増えるため、早急に感染のピークアウトを迎えてほしい。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・今が最低の売上になっているので、新型コロナウイルスが収束すれば売上が伸びて、景気も少しずつ良くなっていく。問題は、新型コロナウイルスがいつ収束するか、感染再拡大するかどうかである。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が下火になってくれば、また景気は上がってくる（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・現在は新型コロナウイルスの感染が急拡大をしている状況で、感染第5波の緊急事態宣言中と同様の状況だが、2～3か月先には新型コロナウイルスオミクロン株の感染がピークアウトし、まん延防止等重点措置は解除されないものの、少しずつ個人を中心とした利用が増えて、景気が多少上向く。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種が進展し、感染拡大がピークアウトする。
		旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進展すれば落ち着いてくる（東京都）。
		旅行代理店（販売促進担当）	・今後の新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、時期的に暖かくなるので、個人を中心に国内旅行は少し回復してくるとみている。主力である教育旅行については、3～4月は行事の動きが止まる時期だが、今よりは良くなる（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が、1月下旬～2月上旬にかけてピークアウトするという予想が出ているので、少しは景気が回復すると想定している。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスも終息に向かうと思われ、少しずつではあるが、消費が増える（東京都）。
		通信会社（局長）	・新型コロナウイルスの影響もあり、繁忙期の転居解約が少なくなることで、純増ベースでは上向き傾向にある。新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大があるものの、比較的早めにピークアウトすると想定されるので、3月の最繁忙期での営業生産性は高くなる（東京都）。
		通信会社（管理担当）	・新型コロナウイルス感染対応がある程度見えてきている（東京都）。
		その他レジャー施設 [ボウリング場]（支配人）	・新型コロナウイルスオミクロン株の収束に伴い、良くなる可能性が高い（東京都）。
		その他レジャー施設 [総合]（広報担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染がピークアウトし、催事が一定の規模で開催できるようになる（東京都）。
		その他レジャー施設 [複合文化施設]（財務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン開発と、内服薬が承認されて増えることで、少し良くなる（東京都）。
		その他サービス[学習塾]（経営者）	・春の集客期に向けて徐々に問合せ件数などが増えてくることを期待したい。
		住宅販売会社（従業員）	・年度末に向けて、徐々に良くなっていくのではないかと。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が急拡大しており、今後どうなるか分からないが、現状では商売が順調にいられているとは全く考えられない。飲食店だけでなく、物販でも客がなかなか来店してくれず、非常に厳しい。この新型コロナウイルスが早く収束することを願っている。
		一般小売店[印章]（経営者）	・現状が底であり、これ以下になってしまうと、本当にボランティアで店を開けている感じになってしまう。非常に厳しい状況だが、何らかの業態変更を考えていかなければいけないという気もする。
		一般小売店[文房具]（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数のピークアウトがまだ見えてきていないため、景気についても1月より上向きになるとは考えにくい。また、2月になって感染者数が急激に減少することはないだろうから、ひと月程度の期間では景気回復は見込めない。ただし、当社は買い控えの少ない学童用品を多く扱っていることから、季節的に新学期向け教材の売上が見込めるため、大きく減少することはないとみている（東京都）。
		一般小売店[傘]（店長）	・明るい兆しが全くない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔茶〕（営業担当）	・現状がいつまで続くのか、その結果次第ではないか。終息して人が動き出し、得意先で販売が進まない、何ともしようがない。新型コロナウイルス禍から早く回復するのを待つのみである。販売もだが、客の消費が進むことを願っている（東京都）。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う制限が復活しているなかでも、引き続き新年度にかけての受注量が見込まれる（東京都）。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルス感染再拡大について、大きく状況が変化することは考えにくく、来客数の回復が見込めない。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルス禍終息の見通しが立たないなかで、先行きは依然として不透明である。今より更に悪くなるとは思えないが、良くなるとの判断も難しい。現状、買物に対する客の消費行動や感覚は抑え気味だが、この先もこれが定着してしまうことへの危機感を非常に強く感じている（東京都）。
		百貨店（広報担当）	・大きく下がる要素はないが、同時に新型コロナウイルス感染第6波が早期に収束する兆しも見えず、結果として現状から大きくは変わらない（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数増加により、人流の制限などが強化される懸念がある。バレンタインやホワイトデー、3～4月の社会需要への影響が不安である（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・前年秋から冬にかけて、売上が2019年度比9掛け程度まで戻ったが、年明けからの新型コロナウイルスオミクロン株の感染急拡大で、来客数、売上共に一気に下降している。特に、都心部の店舗は、新規感染者数が増えると、たちまち厳しい状況になる。今後の回復状況も、新型コロナウイルスの感染次第である（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・年末年始は売上が好調に推移していたが、新型コロナウイルス感染第6波で、やや客足が鈍り始めている。新型コロナウイルスの影響次第のため、予測が難しい。消費行動は回復基調にあったが、もし緊急事態宣言が出てしまうと悩ましい（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株による今後の動向次第である。2月13日までで予定どおりまん延防止等重点措置が終了し、新型コロナウイルス感染者数の落ち着いた状況が続けば、景気は良くなる傾向になると思われるが、現状ではどちらともいえない。
		百貨店（販売促進担当）	・本来であればゴールデンウィークに向けた外出着や旅行準備品の需要が見込める時期だが、新型コロナウイルスの影響で旅行予約がおぼつかなければ、付随する需要も見込めない（東京都）。
		百貨店（経営企画担当）	・前年4～5月は緊急事態宣言再発出に伴う消費の落ち込みが大きかったため、前年との比較という点では回復傾向に見えるが、実態としては厳しい状況が続く。新型コロナウイルスオミクロン株は比較的軽症という報道もあるが、高齢者への感染の広がり、重症化により更に悪化する懸念は残る。感染予防も大切だが、これ以上の規制強化は経済に与える影響が更に大きくなる心配が募る（東京都）。
		百貨店（企画宣伝担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第なので、分からないというのが本音である。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大があり、店舗の営業時間が短縮になることも考えられる。当然、来客数が減り、売上も減り、それが一体いつまで続くのか見当が付いていないなかで、先行きは不透明である（東京都）。
		スーパー（経営者）	・2～3か月先も余り良くない現状が変わらず続く。その理由としては、物価が上がっていることが大きい。加えて、新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況がある。普通は客単価が上がるのだが、そこまで上がっていないということは、客の消費意欲の減退や節約意識の高まりがある。いろいろな面での物価上昇や新型コロナウイルスオミクロン株に対する不安を感じていることから、必要最小限の消費に抑える状況が続くのではないかと。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大により、自宅療養や濃厚接触者となり外出できない状況が増加してきており、まとめ買いや冷凍食品等の長期保存が可能な商材を購入する客が増えている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・消費者には節約志向が依然として根付いており、新型コロナウイルスの影響で厳しい状況に置かれる消費者も少なからず存在しているので、当面は同様の状態が続いていく（東京都）。
		スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株により感染状況がどんどん悪化しているなかでも、内食化傾向が更に薄らいできている。したがって、これからもしばらくは来客数の減少、買上単価の下落が続く（東京都）。
		スーパー（販売担当）	・日用必需品の値上げ、ガソリン価格の高値安定、新型コロナウイルスの感染が拡大し、収束の見通しが立たないことなどから、客の購買動向にプラスの面が見つからないので、景気の回復は見込めない。ただし、新型コロナウイルス感染時の備蓄案内が市ホームページに掲載されたため、関連する食料品、特に飲料水やレトルト食品等の長持ちする食材の動向は良くなる。
		コンビニ（経営者）	・現在は新型コロナウイルス禍でまん延防止等重点措置が適用されている状況で、3か月先はよく分からない。
		コンビニ（経営者）	・濃厚接触者の定義が変わらなと、厳しい状況は続く。
		コンビニ（商品開発担当）	・底に近づいていると思うが、新型コロナウイルスのワクチン接種が完了するまでは、当面感染者数が減少する見込みがないため、しばらくは底の状況が続くものと想定される（東京都）。
		衣料品専門店（経営者）	・買う気はあるのに、新型コロナウイルスが終息しないから、自暴自棄になって他人を巻き込む事件が多いのか。隠れうつなど、病気を患っているのか、接客態度を全員で注意している。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株のピークアウト次第で業績は回復方向に向かうと思われるが、現状が続くようであれば変わらない（東京都）。
		衣料品専門店（役員）	・新型コロナウイルス感染者数の推移次第である。3回目のワクチン接種が始まり、感染が落ち着くのを待つかない。
		家電量販店（店長）	・経済を回す方向性が強くなれば良くなる可能性はあるが、引越し件数が減ると、その分売上減少になる。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてからでない、ある程度の回復は見込めない。
		家電量販店（店員）	・現状は新型コロナウイルスの影響で来客数が伸び悩んでいる。新型コロナウイルスオミクロン株の感染急拡大もあり、しばらくは上向きにはならないと予想している。また、前年、前々年の反動も出ているように感じる。
		家電量販店（経営企画担当）	・現在進行形の新型コロナウイルス感染第6波が終息に向かうという想定は、単なる楽観論なので、第6波が続くことを前提に置き、何が有効なのかを考え、効果的な手立てを積極的に打って、影響を最小限にする（東京都）。
		家電量販店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況がまだまだ落ち着かず、先が読めない。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は順調に入っているが、販売が余り芳しくない。客の来場はあるものの、なかなか成約に結び付かない。
		乗用車販売店（営業担当）	・先行きが見えない状態では、自動車は優先順位が低いようである。
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、まん延防止等重点措置が全国いろいろな地域に適用されており、人の移動ができない。展示会も大幅に縮小されているため、新車販売のアプローチができない。新型コロナウイルスが落ち着くか、日本国民全員が新型コロナウイルスオミクロン株にかかって抗体を持ち、自由に移動できるようにならないと、景気はなかなか良くならない（東京都）。
		乗用車販売店（総務担当）	・メーカー各社からの出荷遅れが続く、厳しい。
		乗用車販売店（渉外担当）	・自動車の生産が正常化していないため、見通しが立たない。
		乗用車販売店（営業担当）	・特に良くなるきっかけがない（東京都）。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況により、いろいろな販促が変わってくる。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響があり、感染状況が鎮静化しない限り、先行きはやや暗いのではないかと。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔貴金属〕（統括）	・新型コロナウイルス感染第6波が収束に向かえば、一時的に景気が回復する可能性はある。しかし、まん延防止等重点措置が適用される以前から販売量に大きな変化がないため、景気は変わらない（東京都）。
		その他専門店〔雑貨〕（営業担当）	・身の回りの景気は、この2年間、新型コロナウイルスが収束に向かうか、それとも感染者数が拡大するかによって左右されてきたので、この先もその動向によって乱高下する（東京都）。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルスの感染リスクが軽減されるにつれて、再び活性化することを期待したい（東京都）。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルスオミクロン株の勢いなくなりピークアウトすれば、次の感染拡大第7波までは良い方向に向かうと思われるが、それがいつになるかが分からない。
		高級レストラン（役員）	・現在、新型コロナウイルスオミクロン株の感染者数増加が止まらない状況で、2～3か月先に急激に良くなるか分からないこともあり、横ばいと考え（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・全てが新型コロナウイルス次第だが、米国の感染者数減少の報道は、少しばかりの光明である（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・やはり2～3か月後も新型コロナウイルスが収束しない限り良くならない。お金を消費に回さずに貯蓄に回しているという統計結果が出たようなので、貯蓄ばかりでなく消費に回すような政府の政策が必要である。本当に物価が安過ぎるし、所得も低過ぎる。世界にならって所得も物価もどんどん上げていかないと、世界に後れを取るばかりである。将来に不安があるから貯蓄に回ると思っているので、その辺りを変えていかないと景気も絶対に良くならない。
		一般レストラン（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響が続く。協力金等で今はまだ資金はあるが、税金の猶予分の納税を始めている。会社も赤字でどんどん資金がなくなってきている。いつまで持つか心配である（東京都）。
		その他飲食〔カフェ〕（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株に続き、次の変異株が出てきて、また先が見えなくなってしまう。その上、新型コロナウイルスの影響が世界中で起きていることで、原料不足やありとあらゆる物の値上がりが発生している。その分、賃金が上がれば良いが、それもままならない状況が続くと予想されるため、良くなる見通しが立ちにくい。1にも2にも新型コロナウイルスの感染状況次第である（東京都）。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	・3～4月までは新型コロナウイルスの影響が続くものと推定する。当分は環境が好転するか否かの読みが困難なため、変わらない（東京都）。
		都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルス感染第6波の収束がいつになるかが全く読めない状況下、今月と同じような状況がしばらく続くのではないかと。3～4月は歓送迎会等の書き入れ時に入るが、これがまた打撃を受けることになると、立ち行かない施設がかなり出てくると思うので、政府の更なる至急の対策をお願いしたい。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況と、それに伴う政府の対応策によって大きく左右されるので、分からない。もう新型コロナウイルスオミクロン株は普通に扱って制限を緩和してもらわないと、そろそろホテルは危ないと思っている。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しない限りはなかなか難しいと思うので、先の見通しが全くつかない。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で左右されるため、分からない（東京都）。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響がかなり大きく、客の動きも大分慎重になってきている。我々も慎重に動かざるを得ないので、お互いに戸惑っている。今後の感染者数が非常に気になるのであり、動向を注視していきたい。
		タクシー（団体役員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況次第であり、予想がつかない。感染第7波となった場合は、壊滅的な打撃を受けるのではないかと。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルス感染が急拡大中ではあるが、今のところ影響は限定的である。今後、緊急事態宣言の再発出等による行動制限や、新型コロナウイルスの影響による物価高が懸念され、しばらくは早急な回復は難しい（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大によりまん延防止等重点措置が適用されたため、景気は良くならない（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者数の増加と各種商材の値上げで購買意欲が減退していく傾向は続きそうである。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の動向によるので、不透明であることに変わりがなく、同様の状況が続くものとみている。
		通信会社（管理担当）	・新型コロナウイルス1年目は、巣籠り需要により安定していたが、これまでの新型コロナウイルス変異株と異なり、重症化しない新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数がいかに増えたとしても、年末までの「元どおりの生活を一時的に取り戻した」人々の行動は中途半端な状況が続くと思われ、巣籠り系サービスは依然として大きく改善はしない。
		通信会社（営業担当）	・良くなると思える材料がない。
		通信会社（経理担当）	・自宅で受けるサービスを提供しているため、もし新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大防止を町全体で取り組み、在宅率が増えれば、一部のサービスで商機が増える。しかし、感染者や濃厚接触者にならない限り、世間一般ではオフィスへの出勤や外出が続いているため、商機が変化する材料は少ない。
		通信会社（総務担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株主体の感染再拡大がいつ収束するのか、現時点で予想できない（東京都）。
		通信会社（局長）	・新型コロナウイルスはピークアウトするが、それ以前の状況と比べて余り変化がない。
		その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えているので、減少するまでは良くならない。
		設計事務所（経営者）	・新しい案件の予定は今のところ入っていない。
		設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスオミクロン株が発生し、政府の対応にも食い違いがあり、全体的に明るい兆しが見えない。建築材料も中国との関係で入荷が難しく、また値上がりもあり、良くなる気配がない（東京都）。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が非常に増えており、当分景気は良くならない。どこかでピークアウトし、3回目のワクチン接種が進展し、治療薬が早くできることを期待している。
		住宅販売会社（従業員）	・今後も大きく景気が変わるとは感じない。しっかりと土地仕入れを行い、両輪で販売も行っていかないと、厳しい状況が続く。完成している在庫を早く販売して回転させれば良くなる。それには、地価及び建築材料の値上がりも落ち着かないと、今後も景気は良くならない。
		住宅販売会社（従業員）	・客の様子や受注量にこれといって目立った変化はみられず、このままの状況がしばらく続くと見込まれる。
		その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・他の産業と同じく原材料価格が上昇しているため、資材購入の引締めを始めているところがあり、伸びは鈍化していく（東京都）。
		一般小売店〔和菓子〕（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大がまだまだ続きそうなこと、原材料がかなり値上がりしていることから、厳しくなる。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株が落ち着かない。いろいろな物の価格も上がっているようである。良い材料が見当たらない。
		一般小売店〔米穀〕（経営者）	・社会情勢、並びに経済の活動状況に明るい材料がないため、なかなか難しい（東京都）。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が拡大しており、人の流れが少なくなっている。特に、夕方から人が動かなくなっている。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大による影響がどの程度まで広がり、いつまで続くのか不透明ではあるが、今後の消費動向にはマイナス影響が予想される（東京都）。
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が懸念される。
		百貨店（財務担当）	・新型コロナウイルス感染者数が減少しなければ、景気が更に悪化するリスクがある（東京都）。
		百貨店（管理担当）	・まだ先行きが不透明なため、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くまでは、購買につながらない（東京都）。
		スーパー（経営者）	・今後も値上げラッシュである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の流行のすさまじさから来客数が減少し、店内滞在時間も短く感じられる。まだ流行のピークが来ていないので、ピークアウトするまで、身の回りの景気は落ち込む。加えて、必需品の値上げで販売量の落ち込みが懸念される。
		スーパー（店長）	・3か月後は、新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況が少し落ち着いてきて、客も外食したり、どこかに出掛けたり、いろいろと動き回ることが予測されるので、今よりは巣籠り需要が減って、やや厳しくなるのではないかと予測している（東京都）。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で消費意欲が下がっているように感じる。家でのプチゼイたくにも飽きているようである。
		スーパー（仕入担当）	・経済活動がますます減退し、景気動向が不安定である。
		コンビニ（経営者）	・ここしばらく徐々に悪くなっている（東京都）。
		コンビニ（経営者）	・人手不足が改善されず、売上減少に輪をかけて、時間給の大幅アップにより、経営環境が著しく悪化し始めている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が少し落ち着いたときには来客数が増えたのだが、また徐々に減ってきている。とても心配である。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大状況によるが、まん延防止等重点措置から緊急事態宣言に移行したりすると更に悪くなる。コンビニエンスストア等の営業への影響は、これからの感染状況がどうなるかによって変わってくる。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の流行により人流が制限されることで、売上が減少する（東京都）。
		コンビニ（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えてきているため、来客数の増加は余り見込めず、良くなる状況にはない。この状態が続くと、やや悪くなるという回答が一番妥当である。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株が発生し、感染者数が増え続けているため、必要最小限の物は別として、買物自体を控える傾向にある。感染収束の見込みがない限りは、現状が続くのではないかと。
		衣料品専門店（統括）	・ここから先の卒業式、入学式の開催有無によって、来客数、売上の数字が変わってくる。
		乗用車販売店（経営者）	・このまま新型コロナウイルスの感染者数が増え続けると、新車の販売量が減少してくる。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が改善する見通しが見えない。
		乗用車販売店（店長）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で生産遅延が収まらず、先行き不安しかない。
		乗用車販売店（店長代行）	・部品や半導体不足で車の納期が長期化しているため、売上に繋がらない。納期が掛かるのでその間に下取り価格も落ちるのだが、会社負担で補填をしているので、収益も悪化している（東京都）。
		住関連専門店（統括）	・新型コロナウイルスが依然として猛威を振るっているため、まだまだ外出が抑えられるのではないかと。
		その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・新型コロナウイルスの貸付金返済が始まったら倒産が増えるのではないかと不安である（東京都）。
		高級レストラン（経営者）	・当県では2月13日でまん延防止等重点措置が解除されるとは考えられず、むしろ延長されるか、より厳しい規制を課せられると感じている。
		高級レストラン（営業担当）	・現状の社会情勢及び新型コロナウイルスの感染状況の推移から、少なくとも2月一杯は大苦戦する。1月スタート時には複数件受注があった2月の予約も、ほとんど全てがキャンセルとなっている。法人関連はほぼ全滅で、個人や家族宴会が僅かに残るのみである（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・新年明けて1週目の営業はまあまあ客が来店していたが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大とともに急激に客が減っており、今後もこの状況は続く。感染状況が落ち着かない間はなかなか厳しい（東京都）。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・まん延防止等重点措置次第だが、今のところ2月13日まで是对処のしようがないため、景気は悪くなる（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・Go To Travelキャンペーンの再開もめどが立っておらず、景気が良くなるための好影響がほぼない（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（従業員）	・まん延防止等重点措置が適用され、延長の可能性もある（東京都）。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大によるサラリーマンのリモート営業が、またしてもタクシーの乗客に悪い方に影響してきている。新型コロナウイルスオミクロン株に対する今後の国の対応が心配である。今のところ、売上に非常に困っている（東京都）。
		通信会社（社員）	・長年続いてきた取引先から、来年度からの契約を打ち切りたいといった話が続いている。百貨店などで計画の見直しが迫られている様子がうかがえる（東京都）。
		通信会社（管理担当）	・再度のまん延防止等重点措置適用により、経済的不安感が払拭されない。
		通信会社（経営企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況によるが、このまま感染者数が増え続けると、商談が減少する可能性がある（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・今後、新型コロナウイルスの感染者数が増えれば、人とのアポイントが取れにくくなり、景気も悪くなっていく（東京都）。
		観光名所（職員）	・来客数の増加が見込めない（東京都）。
		ゴルフ場（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えているので、無症状若しくは軽症だとしても濃厚接触者を含む自宅療養者が多く、消費にはつながらない。
		パチンコ店（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株が猛威を振るっており、戻りかけた客足もまん延防止等重点措置の適用による人流制限や飲食店の自粛営業等で、日を追うごとに落ちている。また、陽性者、濃厚接触者の隔離対象者が増加し、人手不足のため休業する店舗も出始めている。
		美容室（経営者）	・早く新型コロナウイルスが終息してほしい。
		その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、このまま売上が下限で推移し、ここ数年の中では最低となる。
		設計事務所（経営者）	・相変わらず新型コロナウイルスも不安要素だが、新年度になり、官庁案件の入札が始まるまでは期待が持てない。
		設計事務所（所長）	・新型コロナウイルス感染が収束しないことには、なかなか仕事量が増えてこない。
		設計事務所（職員）	・新型コロナウイルス禍による生産停滞、原油高、スタグフレーションの心配等、建設及び建築設計業界にもじわじわと悪影響が出てきているため、上昇あるいは平行線の可能性は少ないように感じる（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルス感染者数が劇的に増え、当県でもまん延防止等重点措置が適用され、客の来店、来場の自粛により来客数、商談数が減るとされる。それにより、販売量も減ると予想され、景気はやや悪い今月よりも更に悪化する。
	×	一般小売店〔家具〕（経営者）	・ここへきて新型コロナウイルスの感染者数が増えていることもあり、客がほとんど来ない。物価が徐々に上がってきており、この先景気が良くなる見通しはないので、悪くなる（東京都）。
	×	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で先が見えない。
	×	百貨店（営業担当）	・今後の新型コロナウイルス感染状況が見通せない。かつてない感染者数なので、イメージが良くない（東京都）。
	×	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、来客数が大幅に減少している（東京都）。
	×	スーパー（ネット宅配担当）	・大幅な値上げが増え、利益を圧迫することが想定される。また、価格も乱れてくることもあり、安売りが増えるような気がしている。
	×	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルス感染第6波が来たことにより、年明けから来客数が激減してきている。感染者数が減少傾向にならない限りは、この繰り返しという感じがする。
	×	衣料品専門店（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響があり、感染収束もまだ不透明である。
	×	家電量販店（店長）	・物価の上昇傾向が騒がれるなか、消費全体の冷え込みが心配である（東京都）。
	×	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（団体役員）	・新型コロナウイルスの感染再拡大、原油価格高騰により先行きの見通しがつかず、需要減少、買い控え、値下げ要求から今後も直ちには回復しない（東京都）。
	×	高級レストラン（仕入担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の流行により、飲食店利用客が減り、物価も上昇している（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株が発生し、飲食店に規制を掛けるのは良いが、前回と同様に、解除後に飲食店に客が戻るようなことを何かしてくれるのが問題である。このままいくと、たとえまん延防止等重点措置が解除されても、その後客が普通に夜に宴会をすることはまずない。12月もほぼなかった。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数増加に伴って、来月にもまん延防止等重点措置から緊急事態宣言に変わるのではないかとと思われるので、悪くなる一方だと考えている（東京都）。
	×	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス感染者数のみの報道が続くようなら、先々の案件発生はない。
	×	タクシー運転手	・今度は新型コロナウイルスオミクロン株の変異株が発生し、感染第7波が流行するようなので、当分景気は良くならない（東京都）。
	×	タクシー運転手	・ますます先が読めない。今まで以上に心配である。飲食店での酒の提供が夜8時までとなると、夜が暇になる。昼の利用も少ないため、どうしていいかわからない。とにかく、新型コロナウイルスオミクロン株の感染が少しでも減るのを待つしかない。
	×	ゴルフ場（経営者）	・スタグフレーションが既に起こっていると考えている。
	×	ゴルフ場（従業員）	・まずは、新型コロナウイルス感染の終息、若しくは一般的な風邪のレベルにならないと、景気の回復は簡単ではない。賃上げを強調する意見があるが、それに対応できる景気にならないと、企業側も対応が難しいのではないかと。
	×	ゴルフ場（経理担当）	・原材料、資源エネルギー価格の高騰を背景に、新型コロナウイルスオミクロン株の感染者急増による自主隔離者や感染を恐れる労働者が労働市場から退場していき、人手不足が深刻化することで、物価上昇圧力を一段と加速させる懸念が強い。既に、資材の確保や必要緊急性が高い設備投資にも影響が出始めている。新型コロナウイルスオミクロン株の流行で外出などが控えられれば、消費低迷による物価の下押し圧力になることも考えられるが、どちらに進んでも景気改善には重大な痛手となることは不可避である。
	×	競輪場（職員）	・いまだに新型コロナウイルスの感染があり、どんなに対策をしてもまだエンターテインメントを楽しむ機運は盛り上がっていない。あと1年は苦しいかもしれない。
	×	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・オンライン授業にシフトしていく人が多く、対面の個別指導は少なくなってきたので、景気は下向きである。
	×	設計事務所（経営者）	・こういう仕事の状況の悪い時期に、社員の引き抜きの電話がしきりに入ってくる。世の中どうなっているのか。新しい営業に従事するどころか、当社の社員を募集しよう、又は引き抜こうとする行為が非常に多くなっている。何が正しく、何が悪いのか分からないが、頑張らなくてはいけない。早く新型コロナウイルスが収束することを願っている。
企業 動向 関連 (南関東)		食料品製造業（経営者）	・現在の景気の悪さはまん延防止等重点措置の適用によるものなので、2～3か月経つとその点は解消されているのではないかと（東京都）。
		輸送業（経営者）	・創業以来最高の売上になっている（東京都）。
		通信業（経営者）	・新型コロナウイルスさえ収束すれば、この期間中に見越して投資してきたものの効果が出てくる（東京都）。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・受注案件が増えている。問合せも増加傾向にある。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、収まれば売上は良くなる。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・年度末、年度始めは現在より受注量が多くなる（東京都）。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・3か月先には新型コロナウイルスもある程度先が見えてきて、ワクチン等も行き渡ると思うので、良くなりかけていた景気が本格的に動き出す。
		金属製品製造業（経営者）	・営業活動の中で取引先の仕事の予定が増えているという話が聞こえてきたので、営業に力を入れて、売上を増やす努力をしていく。
		一般機械器具製造業（経営者）	・従来の取引先である自動車産業以外の業種からの仕事依頼が少しずつ増えてきている。
		建設業（従業員）	・受注量の増加により、やや良くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（従業員）	・事業者の一部では、新製品の開発などの新たな試みで利益を確保しようとする動きがみられる。ただし、新型コロナウイルスオミクロン株の感染急拡大により業務の縮小や売上の減少が懸念され、新型コロナウイルス禍における経営努力に水を差すのではないかと心配する声が聞かれる（東京都）。
		金融業（役員）	・新型コロナウイルス感染ピークアウトの状況によるが、公的支援、資金繰り支援を含め、サービス業を始めとしてやや良化するとみている。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染がピークアウトし、また経済が回り出す（東京都）。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響が読めないが、製造業では大手の海外取引の影響が大きく、中国、台湾、東南アジア、米国の産業の動きが戻りつつあり、先々の上昇が想定される（東京都）。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・新型コロナウイルス対策の警備の仕事は今後も増えるともみている。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・年度末に駆け込みの設備設定の需要が伸びる。
		化学工業（従業員）	・自動車の減産で少し影響があるが、輸出が順調なため、トータルでは変わらない。
		金属製品製造業（経営者）	・得意先からの内示など先の予定には変化がなく、引き続き増産傾向にある。
		電気機械器具製造業（経営者）	・2月初旬の業界の展示会も、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で大手企業の出展取りやめが多く、展示会そのものが不発に終わりそうである（東京都）。
		精密機械器具製造業（経営者）	・「変わらない」というより、「分からない」が正しい。大手メーカーはいろいろな理由で休業を宣言できるが、中小企業は受託型受注がほとんどであり、1社に頼ることができないため、最大の生産量を要求する取引先もあり、完全に予測不能になってきている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大はまだまだ収束する気配がない。しばらく、部品調達が不安定な状態が続くとみている。
		輸送業（経営者）	・新年度に向けて取扱量の増加に期待したいところではあるが、新型コロナウイルスの感染拡大、燃料価格の値上がり傾向を考えると、状況の変化は望めない（東京都）。
		輸送業（総務担当）	・荷主の国内出荷量が低迷していることと、輸出货量が全くないことから、今後も現状が続くと予想している。
		通信業（広報担当）	・当面は回復基調のなかで一進一退の動きとなる（東京都）。
		不動産業（総務担当）	・新型コロナウイルス感染症が2年続いており、景況も新型コロナウイルスの感染状況次第と感じている（東京都）。
		税理士	・米中やアジアの景気に影響を受けるが、この新型コロナウイルス禍で感染がまた広がっているため、全然読めない。会計事務所をやっているが、多くの中小企業が悪くてあつた状態なので、新型コロナウイルスの影響も含めどうなるか分からない（東京都）。
		社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない（東京都）。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの感染状況次第で読めないところがある。
		税理士	・新型コロナウイルスオミクロン株の終息の見通しが無い。今、景気の回復がいつになるのか予測できない。株価の下支えも、国際状況からこれ以上は見込めない。賃上げできる企業は良いが、したくてもできないのが本当のところだろう。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・新型コロナウイルス禍からの原材料不足等の影響により、取引先工場の稼働率向上の見込めない状況が続いており、先行きの不透明感も根強く、低迷した状態がしばらく続く。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・値上げ交渉がペンディングになっているので、新規契約があっても既存契約の原価上昇により収支改善が難しい（東京都）。
		出版・印刷・同関連産業（所長）	・年度末の繁忙期に向かい、案件の見積依頼はきているが、新型コロナウイルス感染者数の動向を注視している状況である。当面は様子見状態である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・飲食店にショップカードなどを納めているが、新型コロナウイルスの感染者数が増えてきており、これから増えていくかどうが見通しがつかない。実際に、飲食店からのショップカードの印刷枚数や受注頻度が減ってきており、現状が続くとますます悪くなる（東京都）。
		化学工業（総務担当）	・飲食、運送関連の設備更新に少しずつ回復の気配がみられたが、再びまん延防止等重点措置が適用され、人流にどれだけ影響するか不安である。濃厚接触や行動制限による労働力確保も心配している。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・前年末より回復傾向にあった医療品容器の受注は、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により予断を許さない状況にあり、新企画の実行が先送りされてしまう懸念がある。
		その他製造業〔靴〕（経営者）	・とにかく新型コロナウイルスの感染状況次第である。流通が動かないなかで、落ち着いたときに今後の見通しがどう変わっていくのか、その辺に重点を置いている。
		その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響による客足の低下、原料不足による欠品、納品の遅延、円安の影響がある（東京都）。
		輸送業（経営者）	・半導体不足の影響により、取引先から依頼される輸送物が整わなくなってきている（東京都）。
		通信業（経営者）	・ロシアがウクライナに侵攻する可能性がある。
		金融業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染者数増加がまだ続くようであれば、飲食業を始め、半導体を使用する関連業種の売上が減少することが見込まれるため、一段と景気が落ち込む（東京都）。
		不動産業（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大による人流減少の影響が大きくなる。
		不動産業（従業員）	・宿泊需要が回復しつつあったが、新型コロナウイルスオミクロン株の流行でまた逆戻りしている（東京都）。
		広告代理店（経営者）	・やはり新型コロナウイルスの経済的な影響は大きい（東京都）。
		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・現在の新型コロナウイルスの感染状況から、当面収束することは予測できないので、年度末の学校行事の撮影や、卒業アルバム関連の動きは悪くなることが予想される（東京都）。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・新型コロナウイルスへの感染や、濃厚接触者と認定されて休む社員が増加してきており、業務の遅れが心配である。これは取引先にもいえることではないか（東京都）。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、この先の経済活動はどうなるか分からないが、多分余り良くはならない。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、世界の流通が正常化していない。
	×	建設業（経営者）	・材料単価が上がっていることで価格が上がってしまい、客の予算をオーバーするケースがほとんどである。
	×	建設業（営業担当）	・資材価格が高騰しており、今後の受注にも大きく影響する。
	×	金融業（従業員）	・原材料の高騰は中小企業にとってかなり大きなダメージとなっている。一般消費者には値上げが受け入れられないと考えているオーナーが多く、なかなか値上げに踏み切れていないが、原材料の高騰は実際に始まっており、中小企業の収益性はかなり悪化している。
	×	不動産業（経営者）	・いずれにせよ新型コロナウイルスの鎮静化を祈るのみである。会合、集会などはたまらない（東京都）。
	×	広告代理店（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、2～3月のイベント催事が中止、延期となってきている。
	×	広告代理店（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大の影響により、取引先からの受注鈍化等が発生しつつある。現段階では、感染第6波のピークや収束の見通しが立っていない（東京都）。
雇用 関連 (南関東)		人材派遣会社（営業担当）	・人手不足の影響で、来期以降の募集時給が上昇傾向にある（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・EV開発や、IT系のシステム開発ニーズが高まっており、今後もエンジニア派遣の引き合いは増えることが見込まれる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（社員）	・まん延防止等重点措置が適用されたものの求人オーダーは継続しており、縮小の情報は聞かれない。今年度停滞していた分、新年度から巻き返しを図りたいという話もよく聞く。
		人材派遣会社（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響により各企業の人材流動性が大きく変わると思われるが、現在と同じ推移になると予想している。派遣社員からの契約終了希望は少ないままで推移し、また求人数も現状と同じように新型コロナウイルス発生前の7割程度で推移すると思われるので、全体的な派遣稼働者数は微増傾向になる（東京都）。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・通常なら年度替わりということで格段の変化がみられるが、例年どおりというのは無理である。ほんの少しだが、幾つか予定をもらっていることが希望である。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新卒採用を長く抑えることは、企業の今後の成長力を考えると難しい。特に、理系学生に関して意欲的な企業は増えるともっている（東京都）。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの影響が大きいので予測は難しいが、期待も込めて、徐々に回復していく（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・人材不足の状況が続くことが見込まれる。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響が長期間に及び、景気が回復傾向になったり後退したりを繰り返す、結局変化が表れない（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響が一時的に出ているものの、今後も派遣、人材紹介の求人数は回復し続けると予想している（東京都）。
		人材派遣会社（支店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響が、どの程度取引先に出るか未知数であるが、4月以降、少なくとも業績次第で人材依頼の需要が左右される（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況次第である。3月頃までは現状維持で進むと思うが、ピークアウトした後雇用が戻ってくることを期待したい。
		求人情報誌制作会社（営業）	・2～3か月後の景気としては大きく変わらないと予想しているが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況によってはやや悪くなるかもしれない。経済活動がどれだけ制限されるかが全てではないか。感染者が増えたとしても並行して経済活動、消費が進めば、求人数は自然と増加していく。
		求人情報誌制作会社（広報担当）	・景気は良くなっているものの、新型コロナウイルスの影響が払拭できたわけではなく、大きな懸念材料の1つになっている（東京都）。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大でまん延防止等重点措置の対象となる自治体が増加しており、経済活動への影響が懸念される。
		職業安定所（職員）	・有効求人数が前月と比べて4.4%増となり、2か月連続して今年度で最も多い数値となっている。前年比では4.7%増であり、38か月ぶりに前年同月を上回っている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・経済の活気が弱く、求人内容、求人数に影響が出てきている（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・高い予算は特需でカバーできてしまうが、労働人口減少による機会損失のインパクトは先送りになっており、リスクが高まっている。ビジネスモデルの転換をしようにも、目の前の売上を平らげることにリソースを割かねばならない（東京都）。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株が爆発的に増加している。
	×	求人情報誌制作会社（所長）	・新型コロナウイルス感染者数が増えることによる業務の悪循環が、経済を圧迫する。
	×	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響が大きい。新規求人が増加しているものの、応募件数は既に減少傾向にある。オンライン面接を導入する企業も増えているが、高齢者を中心に、就職活動を控える動きが強い（東京都）。

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連		高級レストラン（経営者）	・海外での新型コロナウイルスオミクロン株の感染ピークアウトが早そうなので、国内でも感染が収束してくれば急速な景気回復が望める。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
(甲信越)		その他サービス〔葬祭業〕(経営者)	・以前は、新型コロナウイルスを理由に葬儀の規模を小さくしたが、今では当たり前のようになり小規模になっている。こういう時代が来るとは思っていたが、子どもが少ないので数人で送るという時代が、じきにやってくる。
		商店街(代表者)	・新型コロナウイルスの感染状況も、春先の3月頃になれば落ち着くのではないかと期待して、今よりも良くなるというつもりで一先懸命やっている。
		商店街(代表者)	・新型コロナウイルスオミクロン株の収束を祈りつつ、当地の古刹の祭礼等や観光イベントが続くので、期待したい。
		一般小売店〔薬〕(経営者)	・新型コロナウイルスの収束が図られるため、やや良くなる。
		百貨店(店長)	・現在、新型コロナウイルスのため、催事の中止等も出ている。先を予想することは非常に難しいが、治療薬などに期待していること、2か月くらい経てば、新型コロナウイルスオミクロン株のピークも過ぎるのではないかと期待しての、予想である。
		スーパー(経営者)	・3か月後には、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者が減っていると思うので、3回目のワクチン接種が進むことで、人が動いてもらいたい。
		コンビニ(経営者)	・新型コロナウイルスが落ち着き、春めいて多少暖かい日も出てくる頃なので、来客数も伸びるのではないかと。
		自動車備品販売店(従業員)	・新型コロナウイルスの感染拡大がピークアウトし、来客数も増え始め、やや良くなるのではないかと。
		スナック(経営者)	・今後、新型コロナウイルスオミクロン株がどうなるか分からないが、現在、まん延防止等重点措置が適用中で、時短営業をせざるを得ない状況にあり、ほとんど客が来ない。2~3か月後になれば、さすがに落ち着くとは思っているので、多少は良くなると思うが、何ともいえない。
		観光型旅館(経営者)	・現在の新型コロナウイルス感染拡大が収まれば、次第に動きが出てくると考える。ただし、皆が慎重に行動するので、急激に回復することは望めそうにない。現状が最低なので、今よりはやや回復する。
		都市型ホテル(スタッフ)	・新型コロナウイルス禍は、感染状況さえ落ち着けば、今後は回復傾向に向かうことは間違いない。全てが感染状況次第で、時短営業等の要請がなければプラスに向かう。2~3か月先に感染状況が落ち着いていること、若しくはインフルエンザ等と同じ扱いになっていることを願うばかりである。
		通信会社(社員)	・サービス提供エリアの拡大や新入学シーズンの到来で、少なからず直近よりは動きが出そうである。客単価を上げる施策がこれまで以上に必要になる。
		観光名所(職員)	・当県にもまん延防止等重点措置が適用されることとなり、2月下旬までは自粛による不況に見舞われる。ただし、新型コロナウイルスオミクロン株の重症化リスクも低いことから、今後の感染収束に期待するしかない。
		遊園地(職員)	・引き続き、新型コロナウイルスの影響が懸念されるものの、感染症対策を徹底し、万全な受入体制を整えるとともに、積極的な集客施策の実施や情報発信を行うことで、多くの客の来園を期待する。
		一般小売店〔家電〕(経営者)	・新型コロナウイルス騒動が落ち着くまで、なかなか客の購買意欲や動きは回復しない。
		スーパー(経営者)	・新型コロナウイルス感染拡大第6波が急激だが、日常生活は維持されており、ふだんの買物に変化は見られない。
		コンビニ(店長)	・客は、土日でも余り出てこなくなっており、近所でまとめ買いする傾向が出てきたようで、客の来店の波が大分変わってきている。ただし、トータルで厳しい状態は、今までと余り変わらずに推移していく。
		衣料品専門店(経営者)	・新型コロナウイルス変異株が収束し始めたかと思っていたら、今度は新型コロナウイルスオミクロン株になっており、さらに違う株も出てくるかもしれないとなると、いつまで続くか分からない。
		家電量販店(店長)	・新型コロナウイルスの終息と政府の景気対策が必要である。
		乗用車販売店(経営者)	・半導体不足の解消が見通せない状況で、新車供給遅れが続くと思われる。
	一般レストラン(経営者)	・もうここまで来ると、全く先のことは分からない。3か月先に新型コロナウイルスの感染拡大第7波が来ていてもおかしくはない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スナック（経営者）	・売上が全くないので、現状よりは下がることはない。新型コロナウイルス禍を終わらせるための出口戦略を早く作って実行して欲しい。本当にお願ひしたい。
		スナック（経営者）	・変わらないと回答したが、今の悪い状況のまま変わらないという意味である。本当に地方は困っている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染拡大がいつ収束するのか、全く先が見通せない。客の動きがびたりと止まっており、もうどうにもならない状況である。
		通信会社（経営者）	・物価上昇が続いており、今後節約志向が強まってくれば他の世代にも波及し、更に節約傾向が増していく。
		その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	・政府には1日も早い新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種をお願いしたい。早く、今までのような生活を取り戻したい。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの流行や大地震への懸念等から、地方への移住希望は依然として多い。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・新入学、新生活に伴う売上を期待したいが、商材不足や各種値上げが騒がれているなかで、思うような売上は見込めない。
		百貨店（営業担当）	・現在は新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大中で、まだピークになっていないと思うので、これから先どのような形になっていくか分からない。まだ景気が上向くようなイメージはできない。
		スーパー（店長）	・食品の物価上昇が引き金となって、景気はやや悪くなる。
		コンビニ（経営者）	・当県でも毎日、何百人も新型コロナウイルスの感染者が出ている。周りの学校や保育園でも感染者が発生して休校や休園になったりしている。いつ店の従業員にうつるか分からない状態で、従業員が2人以上感染すると、店を閉めなければいけなくなるので、心配である。客も本当にひっそりとしている。
		コンビニ（経営者）	・まん延防止等重点措置適用のためか、来客数が減少しているものの、客単価は上昇している。
		コンビニ（経営者）	・現在、来客数が減っており、まん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言等の発出があれば、更に外出する人が減る。1人の客がコンビニで買う点数にも限りがあるので、伸び悩
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が収まりそうにないため、やや悪くなる。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染ピークを迎えて、更に乗り越える見込みがみえそうにない。
		旅行代理店（副支店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で、景気が大きく左右される。収束に向かう兆しがあれば、まん延防止等重点措置により抑えられていた人流も緩和され、旅行需要も先が見えてくるだろうが、現状では、3か月先は読めない。
		タクシー運転手	・正月から1月10日頃まではやや良い状態だったが、それ以降、新型コロナウイルスの感染拡大で、段々悪くなってきている。おそらく、前年比110%くらいで終わる。
		ゴルフ場（経営者）	・プライマリーバランスの改善に主眼を置いている間は、景気浮揚は望めないのではないか。
		設計事務所（経営者）	・実施設計に入る物件が少ない。
	x	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスが収まらない限り、無理である。
	x	その他専門店〔酒〕（店長）	・誰がいつ新型コロナウイルスに感染してもおかしくない状況で、今までとは全く違う局面である。非常に軽症の人も多いと聞くが、これだけ周りに感染者が出てくると、地方でも飲食店を閉めるところが増えてくる。このほか物価やガソリン価格も高騰している。世界情勢も厳しく、非常に不安定な状況に入っている。2～3か月先は全く見当も付かない。
	x	都市型ホテル（従業員）	・2月20日まで全国の約2/3の地域がまん延防止等重点措置期間となるため、悪くなる。
	x	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染再拡大の最中である。また自粛ムードになれば、感染拡大が収束しない限り、良くなることはない。
企業動向関連		金属製品製造業（総務担当）	・半導体不足により、受注が増加している。
(甲信越)		電気機械器具製造業（経営者）	・春の新生活に向けた売上に期待するが、新型コロナウイルスの影響で、小売店への客足が鈍ることが不安要素である。
		建設業（経営者）	・資材価格の安定化や、新型コロナウイルス禍の沈静化を期待している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（経営企画担当）	・ここにきて、まん延防止等重点措置を要請する都道府県が増えており、向こう1か月は外出自粛等でやや悪いと思われる。ただし、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大は早期にピークアウトすると考えているので、感染状況が落ち着いてくれば、経済活動も活発になる。
		食料品製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・予想が全く立たない。取引先の都内新店舗が開店し、販売に期待したいところだが、現状では明るい見通しになるかも分からない。SNSでのPRの評価は高くても、受注にはつながっていない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・部品の供給不足が続いており、営業活動、生産に支障が出ている。
		食料品製造業（営業統括）	・感染が急拡大した新型コロナウイルスの影響が、当分の間は避けられず、更に諸物価の高騰等が重なって、経営環境はますます苦しくなる。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響がなくなってきたと思っていたが、ここに来て再び、当地でも爆発的に感染拡大してきている。イベントの中止等が出てきており、大変厳しい状況になってきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・電子部品の入荷が遅れが多く、原材料価格の高騰もあり、生産しにくい状況である。
		金融業（調査担当）	・製造業は新型コロナウイルスの感染拡大に伴うサプライチェーンへの影響や生産水準の低下、また、非製造業では消費者の行動自粛による需要減少が予想される。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・多くの都道府県でまん延防止等重点措置が適用され、経済活動はある程度維持されるものの、人や物の流れが停滞するのは必至である。
	×	食料品製造業（製造担当）	・更なる資材価格の値上げがある。取引先に3月までに当社も値上げ要求依頼をしたいが、話がまとまるか、大変厳しい状況にある。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響によるイベントの中止等で、ますます悪くなる。
	×	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・大型展示会終了後、出展企業から新型コロナウイルスの感染者が出るなどして、営業活動が制限された企業が何社も出ており、新型コロナウイルスオミクロン株の影響のすごさを目の当たりにしている。集客、採算面の不安を抱えながらも、売上を少しでも増やさなければ死活問題であり、催事を開かざるを得なくなっている。今後の見通しは立っていない。
雇用 関連 (甲信越)		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着けば、良くなっていく。まだ感染拡大のピークが見えず、企業は慎重な姿勢を保っている。
		人材派遣会社（営業担当）	・経済活動重視の新型コロナウイルス対策も必要だが、抜本的な対策にかじを切るべきではないか。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス禍の収束ムードにあった年末から、これまで以上のペースでの拡大となった第6波の到来に、飲食店や宿泊業等のサービス業のダメージは大きい。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響により、やや悪くなる。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況が収束に向かわないため、悪くなる。
	×	-	-

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスオミクロン株は後1か月もすればピークアウトすると思うので、そこからは回復していく。重症者数、死者数共に少ないので、大した状況にはならないと思う。
		一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	・新型コロナウイルスをコントロールできる世の中であってほしいという希望的観測である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルス感染症はピークアウトし、入社・入学や行楽の関連消費が、強い反動消費として盛り上がるのが期待される。一方、原材料高などに伴う広範な値上げが消費の足を引っ張り、景気はやや良くなる程度の改善にとどまると考える。
		百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響は、早く終息に向かうと思われる。
		百貨店（営業担当）	・まん延防止等重点措置が解けて、3回目のワクチン接種が進めば、回復に向かうと予想される。
		百貨店（業績管理担当）	・10～12月の売上が好調に推移しており、客の購買意欲が高いことが分かった。足元の感染状況が3か月後までに落ち着いていけば、また景気は回復していく。
		百貨店（計画担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数は増減があるので、足元よりは来客数も増え、買上意欲も上昇していくと思われる。
		スーパー（総務）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、外食や旅行等が控えられて巣籠りが増える結果、スーパーでの買物需要が増える。
		コンビニ（エリア担当）	・足元の新型コロナウイルスオミクロン株の悪い状況は、長くは続かないと思う。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、第6波が収束あるいは新規感染者数の減少がはっきりしてくれば、また景気は上向くものと思う。
		コンビニ（店長）	・現在みられる新型コロナウイルスオミクロン株の爆発的な感染拡大も、十分対策は講じた上で、感染しやすい人が一通り感染してしまえば、どこかで減少に転じる。2か月先では依然厳しい状況かもしれないが、3か月先には人流も通常モードになる可能性があるかと判断する。自宅でのリモートワークをしている人がランチタイムに外出してくれるかが肝要である。
		コンビニ（商品企画担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の拡大もピークアウトを迎えているとの想定から、景気は回復すると予測する。
		コンビニ（店員）	・春で暖かくなると出掛ける人が増えるため、来客数が期待できる。
		家電量販店（フランチャイズ経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株が2月にピークアウトすれば、来客数は伸びるのではないかと。今まで外出を控えていた慎重派にも購買意欲が戻ることを期待する。
		乗用車販売店（営業担当）	・業界の繁忙期に入り、取りあえず春までは購買意欲が高まってくるであろうと見込む。どのメーカーでも新車が入ってこないという情報がニュースなどで新規客や客にも浸透してきており、先を見据えた注文が入り始めている。
		住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株のまん延で、リフォーム工事等を予定の現場が一部延期となり、2月以降の新築現場等も、半導体不足等による設備機器の入荷遅れでいろいろな工事に支障が出ている。売上は、先送りが見込めない状況が出始めている。
		その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・これから1～2か月で新型コロナウイルスオミクロン株が終息してくれば、人流も復活し、景気も良くなると思われる。
		一般レストラン（経営者）	・世間の新型コロナウイルスオミクロン株への対応策ができてくると思う。それによって人流も増えてくると思う。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・今後はコロナ禍に対する割切感が出てくる。
		観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株は、南アフリカを先行事例に1か月程度で収束に向かうといわれていることを考えると、今はかなり底にあるが、2～3か月先には回復基調になり、気温も暖かくなることも影響して需要回復に向かう。さらに、政府の地域振興策やGo To Travelキャンペーンなどで勢いが高まってくると思う。
		都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が収束して良くなる。
		都市型ホテル（営業担当）	・まん延防止等重点措置等がなくなり、世の中が少し落ち着いてくると思われる。法人宴会、レストランでの接待や出張などの利用が少しずつ回復してくると予想している。
		都市型ホテル（総支配人）	・第6波が短期に封じ込めれば、3月の春休みには客足が戻ると期待したい。ただし、現状では予約は入っていない。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株が収束すれば、需要喚起がされるはずであるし、されないとしてもならない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（経営者）	・2月中旬には新型コロナウイルスの流行も3年目に入るので、打開策を見いだして少し景気が良くなると思う。
		旅行代理店（営業担当）	・今回の第6波では人流制限がないため、感染拡大が収束してくれば、第7波が来るまでの数か月間にGo To Travelキャンペーンや県民割の再開など支援策が実施され、短期的には需要は回復すると思う。ただし、中長期的に新型コロナウイルスがいつ収束を迎えられるかは、不透明なままである。
		旅行代理店（営業担当）	・今までの新規感染者数の増減の周期からすると、春休み頃には一旦落ち着いていると考えられ、多少の取扱は見込めるが、それ以降の見通しは不透明である。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてくれば、3か月前の状況に戻ると思う。
		その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・2～3か月後であれば、新型コロナウイルスの感染状況がかなり改善していると考えられる。
		美容室（経営者）	・幾ら新型コロナウイルスといっても、春になるとさっぱりしたいということで、多少は客も増えると思う。
		商店街（代表者）	・良いところと悪いところが半分なので、新型コロナウイルスオミクロン株の影響は半々である。
		商店街（代表者）	・工事関連は少し上向き状態だが、一般家電商品は、来客数も少なく販売も低調である。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの第6波がすぐに落ち着いたとしても、また第7波が来るのか、若しくは新型コロナウイルス治療薬が普及してくるのか等、要素次第で展開が変わってくる。いずれにせよ、まだ先が読める状況ではないのでしばらくは足元と変わらない状況が続くと思われる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス次第である。
		一般小売店〔結納品〕（経営者）	・とにかく新型コロナウイルス感染症の収束、若しくは自粛が解けない限りはこのままの悪い状態が続く。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新しい系統が、次の新型コロナウイルス変異株であろうか。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束に向かえばよいが、しばらくは感染に対する警戒が大きいので、3か月先も現状と変わらず、個人客の付き合いの幅は広がっておらず、法人客も華やかなイベントを控えることが予想される。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・まん延防止等重点措置や緊急事態宣言のたびに、解除後の飲食店での飲料販売は減る傾向にある。仮に販売量が戻るとしても時間が掛かる。消費の傾向が更に大きく変わろうとしているのを実感する。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・第6波が落ち着き新型コロナウイルスが収束に向かわない限り、現状からは変わらない。
		一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
		一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	・コロナ禍の第6波の最中で、しばらくは明るい兆しがあるようには思えない。
		一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の第6波は収束してくると思われるが、そのことだけでは景気が良くなるかどうか判断が付かない。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	・新型コロナウイルス感染の再拡大のため、景気は変わらないと判断する。
		百貨店（売場主任）	・これから春物の時期になるが、入荷が厳しいと聞いている。定番商品も、3月入荷予定だがそこから遅延と聞いており、最近では入荷しないパターンも多い。また、来月からハイブランドシューズの値上げもあり、売上は減ると見込む。
		百貨店（企画担当）	・1月中旬から新型コロナウイルスの感染拡大に伴い来客数、売上が大幅にダウンし、その後は日を追うごとに来客数減少が顕著になっている。新型コロナウイルス新規感染者数が明らかにピークを過ぎれば、消費者心理は好転すると思われるが、先が見えないため判断し兼ねる。
		百貨店（販売促進担当）	・3か月後も今月同様で状況は変わらないと予測している。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の終息なくして、回復は見込めない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数が急増している。完全に新型コロナウイルスの感染拡大が抑えられていないうちは、足元の状態が繰り返されると思われる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（ブロック長）	・1月末から新型コロナウイルス新規感染者数の急増による内食需要の高まりで、売上はやや増加しているが、新型コロナウイルスの状況次第であり、先が見えない。
		スーパー（営業企画）	・まだ当面は新型コロナウイルス変異株の感染拡大が定期的に発生すると予想されるが、生活者も冷静に対処してきており、消費行動は大きく変わらないと思われる。
		スーパー（販売担当）	・スーパーマーケットは必要不可欠で主に食品は買いに来ると思うので、売上としては変わらない。
		スーパー（販売担当）	・まん延防止等重点措置等になって外出が制限されると、内食が進んでスーパーで買物をする。今後の新型コロナウイルスの感染状況に左右され、変わらないというよりは分からない。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況が大きくは改善していないと想定すると、春先の売上伸長時期に入っていくとはいえ、現状の低空飛行の状態が継続すると見込まれる。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株への対応策が具体化するまでは、現状維持と思われる。
		コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルスによるまん延防止等重点措置や大手自動車メーカー関連の部品調達の滞りによる来客数減少の影響が続いている。環境変化は短期的には見込めず、変わらないと予想する。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束してもしばらくは外出を控えるため、客が進んで来店してくれるのは、まだまだ先になると思う。
		衣料品専門店（販売企画担当）	・ファッションを楽しむ環境にない。
		衣料品専門店（売場担当）	・政府は、景気回復への対策として各企業への賃上げを要請しているが、その効果が余り期待できないと考える。
		衣料品専門店（売場担当）	・1月は、正月特売や成人式もあってかなりの来客数があったが、客単価はそれほど伸びていない。来客数が多かったのが売上は多く、今のところ予算比100%は超えている。1月後半からは、就活生やフレッシューズの下見が始まり、安い物を求めて転々と他の店と比べて回るようになるので、より丁寧な接客をするようにしている。
		家電量販店（店員）	・来客数が少なくなっているように感じる。余り期待できない。
		家電量販店（営業担当）	・新規感染者数の増加に伴う様々な制限が発生してきている。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株はすさまじい感染力を發揮しているが、ある意味かかって仕方がないという風潮になり、経済活動もそれほど停滞しないと思う。新規感染者数は増えても、重症化しなければよいという流れになりそうである。
		乗用車販売店（経営者）	・半導体不足から始まった新車供給の遅れが、様々な部品の不足に広がり、正常な状態に戻るのには1年ほど要するとの話もあり、不安定な状況が続くと予想する。
		乗用車販売店（経営者）	・新車、中古車共に流通が滞っている状況が続く。
		乗用車販売店（経営者）	・先への不安から、良くなる要素が見当たらない。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、本当に必要とされる訪問でない客から良い印象を持ってもらえない。年度末であり新型車両の発売を機に、客にアピールはしたいがなかなか市場に活気があるとは思えない。人気車両は納期が掛かることも、購入検討のちゅうちょにつながっている。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車の投入等もあり、新車の販売台数は前年並みで推移しており今後も販売は見込める。ただし、納期の関係で自社客に早めの乗換えを促進していることで早めの受注が取れてきているので、今後の新型コロナウイルスの感染状況で店舗閉鎖等があると、影響が大きくなる。
		乗用車販売店（従業員）	・まだまだ不透明なところがあるため楽観も悲観もしていない。先の読みは難しい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（従業員）	・中古車市場は暴騰しているものの、売上の比率は少ない。新車販売や修理工場への在庫予約の状況からみると、見通しは全く立たない。新型コロナウイルスのまん延で、半導体が関係しない部品の供給も遅れ始めており、客との接点も減りつつもある状況では、しばらく厳しい環境が続くと思われる。
		乗用車販売店（販売担当）	・半導体不足で車の在庫自体がかなり少ない状態となっているので、いかにその在庫を客に当てはめるかによる。ただし、かなり数が少なく厳しい状態なので、販売につながるかどうかである。
		その他専門店〔書籍〕（店員）	・新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種も進んでいくと思われ、新規感染者数が減少すれば入客も増えて来客数につながっていくのではないかと。ただし、新規感染者数が落ち着けば、またレジャー等に流れると思うので、書店としては厳しくなると思う。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上は前年比1.2%増加で、前々年比マイナス3.2%である。来客数は前年比マイナス1.2%、前々年比マイナス12.1%である。
		高級レストラン（経営企画）	・海外での状況からも、ある程度の時点で新規感染者数は減少に転じると思うが、生活スタイルは大きく変わっている。店舗や企業により差が出ると予想され、ウィズコロナ、アフターコロナの対応が必要である。全体としての改善までには届かない。
		一般レストラン（経営者）	・まん延防止等重点措置が適用され、土日の来客は例年どおりであるが平日は落ち込んでいる。2～3か月先は、少し先が見えてこない。
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・予想が付かない。
		一般レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルス第6波の山がみえていないので、ここ1か月は、先行きが完全に不透明な状況になる。
		一般レストラン（従業員）	・前年のまん延防止等重点措置のときは夜8時まで、アルコール提供は全面停止で営業していた。今回は夜9時まで、アルコール提供も夜8時まで可能なので、多少客はあるが、大変である。
		一般レストラン（従業員）	・良くなる要素が全くない。
		バー（経営者）	・全く分からない。
		その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・新型コロナウイルスに左右されるものの、新規感染者数が減れば客は市場に戻ってくることが、2021年12月の売上から感じられる。
		観光型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルスがそのまま猛威を振るいつけるのか落ち着いていくのかは誰も知り得ないが、このまま続けば、前々年の春先のように館内の食堂を何店舗か休業しないといけない状態に追い込まれるのは必至である。いつまで持ちこたえられるか、気が気でない。
		都市型ホテル（従業員）	・予約数から景気は変わらないと判断する。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が収まり、前年10月のように感染の波が一旦抑えられないと、次のスタートを切れない。春休みからゴールデンウィークなどの気候が良くなった時季に感染が一旦でも抑えられるかどうかで、今年の状況がかなり変わる。2年も自粛してきたので、何とか3回目のワクチン接種の効果に期待したい。Go To Travelキャンペーンがあれば起爆剤にはなるが、一斉に行うとかなりの確率で今回のような事態になりそうなので、47都道府県が順番に始めてはどうか。県民割や隣接県民割は、地域の旅行会社には余り恩恵がなく有り難くないので、やめてほしい。
		旅行代理店（経営者）	・海外では既に入国規制が緩和されつつあり、実際に国際線の運航再開が発表されている。当面の間は日本への入国者は限定的ではあると思われるが、人流は徐々に動き始めると予想される。しかし、オンライン会議や在宅勤務などの定着により、2年前の状況に戻るにはかなり時間が掛かる。また、食料品、ガソリン代等の値上げが消費に影響し、以前のようにデパートで開店前の行列を見ることは減ってきている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・当地でも新型コロナウイルスの新規感染者数が多くなり、アルコール提供自粛、時短営業や企業の会食控えなどで夜の街の状況がとにかくひどすぎる。3回目のワクチン接種もやっと始まったが、効果がどれほどなのか、効果が出て飲食店が平常に戻ればまた景気は良くなるのか、2～3か月先のことは何とも分からない。
		通信会社（営業担当）	・現状維持が当面続くと思う。
		通信会社（サービス担当）	・新型コロナウイルスの関係でリモートワークが増えれば、またネット回線の新規申込みが増えていくのではないかとと思われる。
		観光名所（案内係）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だと思うが、今のところ良くなりそうな要因は見つからない。
		ゴルフ場（支配人）	・3～4月の入場者予約数は順調に推移しており、前年同日も上回っている。コロナ禍によるレストランの売上の減少は依然として続いているが、入場者数は好調なので景気は変わらないと判断する。
		美顔美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない限り、この状態が続くと思う。
		住宅販売会社（従業員）	・通常ならば2月は正月の来場客が成約していくが、新型コロナウイルスオミクロン株の影響もあって横ばいで、期待値まではいかないと予想する。
		住宅販売会社（従業員）	・2か月ほどで収束すると思われるが、先が見えてこない。
		その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・年度末に向けて、企業の設備投資で改装工事の受注を控えている。
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・まん延防止等重点措置がこのまま続く、繁忙期の見込みが全く確定できないので景気は予測できない。
		商店街（代表者）	・とにかく人流が極端に減少しているので、どうしても来客数の増加には持ち込めない状況である。
		商店街（代表者）	・自社業界では春休みまでは閑散期に入り、まん延防止等重点措置の影響もあり、今後は余り期待できない。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大はまだ続くような状況が想定され、消費者の外出自粛も継続すると思われる。まだまだ寒さも厳しく、春物商材の動きも乏しくビジネス客も低水準の動向であり、なかなか厳しい状況が続くと想定される。
		百貨店（営業担当）	・まん延防止等重点措置になり、急激に来客数が減った。
		百貨店（販売担当）	・2～3か月前は新型コロナウイルス感染も落ち着き、好転の期待があったが、新型コロナウイルスオミクロン株の激増で明るい兆しはみえなくなった。
		百貨店（販売担当）	・年末にやや回復したが、まん延防止等重点措置で来客数は減っている。
		スーパー（店長）	・値上げラッシュでの物価の上昇は避けられない。最低賃金は上がっても、世帯の収入は増えていかない。
		スーパー（店員）	・引き続き商品の値上げが多く発生する。
		スーパー（店員）	・大豆や油の価格が高騰し、値上げのニュースがどう響いていくか。ガソリンも依然高値を維持しているので、野菜全般の仕入価格も高くなり、価格転嫁せざるを得ない状況になっていくと予想される。
		スーパー（支店長）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限りはイベント等も行えず、物販も良くなることはないと思っている。まだまだ苦しい戦いは続くと思われる。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株の拡大で、人流が制限されてきているので、客足が鈍り売上に影響が出る。また、食堂等では調理に人がなるべく関わらないオペレーションへ変更され、素材、調味料の売上が減り、冷凍商品やレトルト商品への移行がみられる。
		コンビニ（企画担当）	・新規感染者数が急増しており、従業員にも感染者や濃厚接触者が出ているため、今後の状況によっては休業しなければならぬ事態も考えられる。営業を継続する店舗の優先順位を検討する必要がある。
		コンビニ（本部管理担当）	・現時点で小売へ定量的な悪影響がある状況ではないが、予断を許さない。将来の景気に関して楽観視できるような材料はないように感じる。
		衣料品専門店（店長）	・寒さが強まっており防寒関連の購入が目立つが、客の節約志向の強さを感じる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（経営者）	・3月までは決算シーズンで堅実な動きを見せるが、4月以降は急激に販売量も減少していくであろう。
		一般レストラン（経営者）	・政府の新型コロナウイルス感染症対策の影響で、現状が良くなるとはとても思えない。とにかくワクチン接種ありきである。
		旅行代理店（従業員）	・販売量が減ることが予想される。
		通信会社（企画担当）	・一気に新規感染者数が増えた影響が出ており、新規感染者数が減れば、もう少し戻ってくると思う。戻るといっても回復までには至らず、やや悪化くらいのレベルではないか。
		テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスの影響がどこまで続くか、先が見えない。
		テーマパーク職員（総務担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が予想以上で、様々な業務で人材不足が出始めている。ワクチン接種も限定的で感染防止効果への期待が大きすぎる。
		理美容室（経営者）	・客との話では、もう余り出歩かないし金も使わないということなので、段々と景気は悪くなると思う。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株がまん延しており、先がどうなるか分からない。新型コロナウイルス次第である。
		理容室（経営者）	・これからもまだ物騒な気がする。気を緩めないで注視している。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・原価アップとなっても、介護保険サービスのレンタル価格にはなかなか反映させられない。それどころか価格上限制度もあって、実入りが減る一方である。品質を維持するのに四苦八苦している。
		設計事務所（経営者）	・2～3か月後に実施設計になる計画案件が、今のところ少ない。
		設計事務所（職員）	・給料が上がるという話はあっても、景気が良くなる話は全く出てこない。実質的にもうかりそうな要因は全くない。
		住宅販売会社（従業員）	・資材不足が解消されれば、少し仕事が増えるかもしれない。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・建築資材価格も人件費も上がり、将来の景気についてはまだまだ厳しい状態が続くと思われる。
	×	スーパー（販売担当）	・国際情勢の不安から様々な商品の値上げがあり、また、新型コロナウイルスで縮小した製造業の人手不足による生産縮小が、購買意欲の低下に確実に影響を及ぼしていく。小売では、販売手法を変えていくくらいでなければ、数字の停滞を免れなさそうな状況である。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新たな系統が出ているという状況では、売上の回復がいつになるのか見当が付かない。
	×	乗用車販売店（従業員）	・すぐに新型コロナウイルスの感染が収まるとは思えない。収まってもすぐに景気が回復するより、今は非常にひどい状況のため、悪い状態が続くと思う。
	×	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束するか、県や国からの旅行への補助金が出ない限り、受注が増える見込みはない。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスオミクロン株のまん延防止等重点措置でどん底であり、生活ができない。
	×	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株が収束するまでは難しい。
	×	レジャーランド（職員）	・まん延防止等重点措置や緊急事態宣言等が発出されているか否かで大きく異なるが、客足が戻り始めるのは、早くても3月末、春休み頃からになると推測している。
	×	パチンコ店（経営者）	・コロナ禍の影響と管轄当局の規制強化により、業界全体が低下傾向であり将来的に暗い。
企業 動向 関連 (東海)		不動産業（経営者）	・首都圏や大都市圏の物件不足による価格の高騰から、良くなると判断する。
		化学工業（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況は落ち着く見込みであり、電子材料薬品の出荷が回復する見込みである。
		化学工業（総務秘書）	・新型コロナウイルス感染による重症者が減少してきているという。多くの人々が感染することは集団免疫に近づいていることでもあり、出口がみえてくる時期と考える。
		輸送業（従業員）	・期待を込めて2～3か月後には新型コロナウイルスの感染が落ち着くと思いたい。せっかく前年末に上昇モードになったので、今回の停滞時期は短めで済んでほしい。
		輸送業（エリア担当）	・年が明けてから極端に荷物が減っているように感じるが、他社に流れているわけではないので、一時的な動きと思われる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信業（総務担当）	・世の中が感染対策としていろいろ経験することで、対応策への確信が生まれてきて、経済を回転させることができている。今は次々発生する新型コロナウイルス変異株に対して我慢の時期であって、感染拡大が収まることで景気回復につながるはずである。
		金融業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染が2月初め以降に収まるというような予想が出ていることから、再び景気が良くなっていくように思う。
		不動産業（経営者）	・今後は新型コロナウイルスの新規感染者数が、増加傾向から減少傾向になっていくと思われ、外出や遠出をする人が徐々に増加すると予測している。売上は徐々に回復していき、前年を上回る状況になっていくと見込んでいる。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・ゴールデンウィーク頃には新型コロナウイルスも収まり、景気も好転してくると考える。それまでに新製品を立ち上げ完成させたいと思っている。新製品はほぼ完成している。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・原料全てが値上がりしているが、客にもその認識があるため製品の値上げ交渉がしやすい。しばらくは現在の好況が続くそうである。
		金属製品製造業（経営者）	・今後の引き合いも横ばいで、良くなる兆しはない。
		一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量の見込みから、変わらないと判断する。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染拡大が原因で再び移動が制限されるようになり、北米では代理店が客を訪問することができない。思うように情報収集ができず、止まってしまっているプロジェクトや商談が増えている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・前年末には客先業界で復活の兆しがあったが、今年に入り新型コロナウイルスの感染状況の悪化により、先行きの見通しが立たなくなっている。3か月先も不透明な状態である。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・余り変わらないが、場合によっては悪くなりそうである。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・仕事量は非常に減少しているが仕事単価が変わらないので、足元から収入が非常に減っている。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	・新型コロナウイルスが継続してまん延し、景気の下降が続くと思う。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたとしても、部品の生産がすぐに垂直に立ち上がってくるわけではないため、3か月先は今よりはましであろうが、かつての調子で生産量が伸びていくとは思えない。
		建設業（経営者）	・政治が安定しないため、先の見通しが立たない。新内閣にはしっかりかじ取りをしてほしい。
		建設業（営業担当）	・本業は衛生面に携わる仕事なので受注が減るということはない。しかし、それ以外の工場の安全管理や公共の案件の仕事は、新型コロナウイルスの感染状況次第で予算がどうなるのか、今の情報では見当が付かない。
		輸送業（エリア担当）	・身の回りのあらゆる商品や製品で、新たな発表はほとんどない。世間の経済活動が停滞しているのも、新商品・新製品を発表しても売れないだろうという見通しがあるのかもしれない。しかし、研究開発部門も、動きを止めている状態から急に活動しても新製品を生み出すまでにはまた時間が掛かる。まだまだこの先2～3か月は、景気の悪い状態が続くと思う。
		輸送業（エリア担当）	・世間の景気や新型コロナウイルス等から考えると変わらない。
		通信業（法人営業担当）	・第6波が襲来している。いつまでたってもモグラたたきのような政策で、新型コロナウイルスに振り回されている。ライフスタイルがこれからも変化し続ける現実を見据えて、政策も事業のやり方も変えていく必要があるが、前例主義的思考から脱却できないので、変わらない。
		通信業（法人営業担当）	・春に向けて、電気、ガス、ガソリン等の値上げがかなり家計をひっ迫させていく。新型コロナウイルスオミクロン株もあって、なかなか上向く状況にはない。
		金融業（企画担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が収束に向かわないと、企業活動も十分に行えない状況が続くとみられる。また、株価が下落したままでは個人も消費にも向かいづらく、当面現在の景気が続くと考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		会計事務所（職員）	・人と集まって何かしようと計画することに抵抗がある。3か月先には地元の春祭りがあるが、既に2年実施されていない。このまま新規感染者数が増えていけば、また中止になるかもしれない。そうすれば、景気の改善は先送りと思う。
		食料品製造業（営業担当）	・回復の兆し、要因がない。悪くなることはあっても良くなる見通しは立たない。
		食料品製造業（経営企画担当）	・原料、燃料関係の価格高騰と高止まりを懸念する。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、それに加えて主要原材料の値上げが発表された。取り急ぎの価格転嫁はとても無理な状況下で収益面では大きな打撃があり、景気はやや悪くなると思われる。
		金属製品製造業（従業員）	・春先は例年仕事が落ち着くが、例年以上に少ないのではという声が同業者や取引先から聞かれる。原材料高なのに安売りの動きもみられ、困惑している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・鋼材の値上げが5割増しに近い。価格転嫁をし切れていない部分があり、今後の継続に難が発生しそうである。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・半導体の供給不足、保守サービスの多様化、技術者の能力アップなど様々な観点からの要求への対応能力が問われ、そこに追い付いていけないと受注が困難になるという悪循環に陥る。案件は多数あるが、忙しさばかりでもうからないという状況が続くことを危惧している。
		建設業（役員）	・前年末から特に建設資材が高騰している。建設業としても今後の受注に影響があるとみている。住宅販売に関しては、ウッドショックなど資材高騰が売価に反映されるため、新規販売物件に客が付いてこられるか不安である。
		輸送業（経営者）	・物量の減少傾向に加え、運転手不足や半導体不足を主因とするトラック納入の大幅遅延が重なって生産力が足りず、売上確保に支障が生じると見込まれる。
		輸送業（従業員）	・燃料費の高騰、半導体の不足が解消されていない。
		金融業（従業員）	・ガソリンや食料品が値上がりし、これから物価上昇が懸念されている。そういったニュースがたくさん流れれば流れるほど、皆が財布のひもをなかなか緩めなくなる。今後、一般の客は買物ではなるべく金を使わないように考えるので、景気は余り良くない傾向にいくと推測する。
		不動産業（開発担当）	・不動産に係る税制改正などもあり、少し弱含むと感じている。
		広告代理店（制作担当）	・3回目のワクチン接種が完了するまで予断を許さず、それが広告の受注にも大きく関わってくるため、当分は企業側も自粛体制を続けていくことが予想される。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・現状の新型コロナウイルス対策をみると、折込チラシの受注が少なくなると思われる。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・イベントの中止が今年もちらほら聞こえてきており、直接販売に影を落とす。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・コロナ禍で景気が良くなる材料は全くなく、今後も新型コロナウイルス次第ではどんどん悪くなっていくのではないかと。全く先が見えない状況である。
	×	鉄鋼業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況と春節や北京オリンピックでの中国からの工業品出荷の減少が考えられ、良い要素がない。
	×	公認会計士	・足元の要因による影響が、中堅・中小企業では今まで以上に具現化すると見込まれる。
	×	会計事務所（職員）	・部品不足や仕入価格の上昇が続いており、売上減少、利益率が悪化している状態が続いている。この先も新型コロナウイルスの感染再拡大により、客先の小売店での感染者の発生による休業や来客数減少などが見込まれ、更に厳しい状況となりそうである。
雇用 関連 (東海)		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数がピークを迎え、しばらくは新型コロナウイルス変異株が流行しないと思われる。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・自動車製造各社から、1月までの一時稼働停止で減産した分を2～3月でばん回生産を行うと発表された。しかし、労働者不足であり、現在海外からの新規入国がストップしており、人手不足の問題はしばらく継続しそうである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株について、海外では新規感染者数が減少に転じている国があるとのニュースもあり、国内においても足元の感染状況から改善し、それが経済活動へ大きく影響すると考えられる。
		職業安定所（職員）	・輸送用機械器具製造業については、半導体等の部品供給も改善傾向にあり、徐々に新型コロナウイルス発生前の状況に向かっていくかと思われる。一方、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が止まらないことや原材料高もあり、先行きに不安要素がある。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株がピークアウトした後は、やや上向きになるとと思われる。
		民間職業紹介機関（窓口担当）	・新型コロナウイルス第6波の状況下で景気の回復が予想ほどは見込めず、一部に新型コロナウイルス関連の求人数は増えているものの、新規の長期求人数は落ち着いている。年度の替わり目には、景気にかかわらず人員交代で求人数が増える見込みである。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・前年は新型コロナウイルス感染症の影響でインターンシップや採用試験の回数が減少し、採用に抑制を感じていたが、前年と比べ回復してきている。看護の医療系学部である本学にとっては堅調である。
		人材派遣会社（経営企画）	・新型コロナウイルスの感染再拡大の状況ではあるが、直接的な影響は軽微と見込む。
		人材派遣業（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が収まらない限り回復の見込みは立たないと想定する。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減らない限り、良くはならない。
		人材派遣会社（企画統括）	・新型コロナウイルスオミクロン株が猛威を振るい、感染拡大に歯止めが掛からない状況であり、先行きが全く不透明である。
		人材派遣会社（営業担当）	・主要客の自動車メーカーでは、内製化推進に伴う外部活用削減の動きは継続される。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数が減少に転じて一定数以下にならないと、景気の業種による偏りは緩和されない。
		人材派遣会社（営業担当）	・第6波の状況も終息がみえず、先行き不透明感が強い。
		人材派遣会社（営業担当）	・足元の求人数は増えているが、新年度になった頃には一旦採用がストップすると思う。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・半導体の供給状況と新型コロナウイルス感染の状況次第である。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・実際のところは分からないという感覚である。新型コロナウイルスオミクロン株の終息がみえれば上向くと期待できるが、時期的にはまだ予測が付かない。
		職業安定所（所長）	・新型コロナウイルス感染症の影響による製造業の部品不足や原材料の値上がりなどのなかでも、新規求人数は持ち直しの方向で推移してきたが、今後、第6波が企業の求人活動にどのような影響を及ぼすのかは不透明である。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況、半導体不足による生産減少や原油高の影響などで先行きは不透明である。
		職業安定所（次長）	・産業別新規求人数を前年同月と比較すると、基幹産業である製造業を始め全ての産業で増加している。今のうちに人材を確保しようとする動きがあるものの、新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大がどの程度マイナスの影響を及ぼすかは未知数である。引き続き新型コロナウイルス第6波の感染拡大状況を注視していく必要がある。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスオミクロン株により新型コロナウイルス新規感染者数が拡大する。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により面接設定などが長期化するケースも出ており、不透明な状況である。
	x	-	-

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計		-	-

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
動向 関連 (北陸)		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス次第のところはあるが、イベントなどが計画されており、前年より動きは良い。宝石関係は良い動きということである。
		コンビニ（店舗管理）	・3か月先には感染拡大が落ち着いているはずである。それに伴い消費活動が活発化する。
		コンビニ（営業）	・新型コロナウイルスに慣れてくると、まん延防止等重点措置が適用されていても良くなると考える。
		乗用車販売店（経営者）	・今まで受注残となっていたところに新車が入荷してくるので、売上が多くなる見込みで計画できる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・これまでも新規感染者数の増減に来客数が左右される状況が続いており、今回も新規感染者数が落ち着けば回復するとみられ、好不調の波は感染状況次第である。一方で、この先の新生活などは新型コロナウイルスの感染状況に左右されずに確実に実需が発生するため、こういったニーズを取り込んでいきたい。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の流行は1～2か月以内に収まってくるとみているので、今よりは良くなっていると考える。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が3月に入れば収束すると一部に報道があり、それに期待している。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	・今後も豚肉ととり肉の動きは良く、牛肉の動きが良くない状態が続くとみているが、外食の自粛などが出来れば内食等で伸びてくる可能性もあり、どちらともいえない状況である。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	・ここ数か月は現状と変わらないと考える。
		百貨店（売場主任）	・2～3か月先では3回目のワクチン接種が進んでいるとは考えにくいので、景気が良くなるのはもう少し先だとみている。
		百貨店（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大に関係なくモチベーション消費は例年並みに戻ると予測している。2年程度中止していた入学式や入社式などの開催を見込んでおり、関連需要が拡大し、祝い用のギフトも通常に戻るとみている。旅行需要は一旦回復傾向にあったが、新型コロナウイルスの感染拡大により今後停滞する可能性がある。しかし、以前のように一切の旅行が駄目という感じではなく、感染状況をみて短距離の旅行が増えると考え。この需要に合わせた商売での売上拡大は難しいものの、現状維持はできるとみている。
		スーパー（統括）	・新型コロナウイルスオミクロン株などによる影響が不透明ではあるが、消費者マインドの低下による節約志向は継続するとみている。
		家電量販店（店長）	・備付けアパルトが増えているため、新生活需要は期待できない。
		家電量販店（本部）	・新型コロナウイルス変異株の影響がいつまで続くか次第である。社員の感染等が心配である。
		乗用車販売店（役員）	・納車遅れの状況に余り変化はないと考える。
		自動車備品販売店（役員）	・ガソリン価格の高騰に対して政府の対策がどのような方向になるのか見通しが立たない状況で、市場の混乱を招きかねない。半導体不足の影響も広がっており、明るい兆しや情報がない。
		住関連専門店（役員）	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大傾向が、3月の需要期にどのような影響を与えるのか全く読めないが、再び家庭内の環境を見直す流れが出てくることも予想され、耐久消費財の消費に若干期待している。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・これ以上悪くなってほしくないという希望的観測であるが、景気は変わらないと考える。
		高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルス新規感染者数が増えた場合の対応が変わらなければ、飲食店で明るい見込みは立てられない。
		スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だと考えるが、感染症が終息しない限り元には戻らない感じである。また、諸外国の紛争などもあり、この先が分からない。
	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着く頃までは現状が続くとみている。	
	通信会社（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、半導体における納期等の遅れ幅が広がっている。	
	通信会社（営業担当）	・大きく変動しそうな要素が今のところ見当たらない。卒業の時期を迎える人の動きに期待したい。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（営業担当）	・本来であれば新生活に向けて学生の購入が増え、その家族の購入も増えるが、新型コロナウイルスの感染が落ち着かない限り、販売数は伸び悩むとみている。
		通信会社（役員）	・今月同様、通信、放送サービス共に前年同月を上回る契約数で推移していくと考える。
		通信会社（役員）	・景気変化につながる材料が見当たらず、横ばいだと考える。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、2月のイベントはほとんど中止か延期となりそうである。当然客の動きも鈍くなるとみているので契約の延期が増え、契約件数も伸びないと考える。
		一般小売店〔事務用品〕（店長）	・このままコロナ禍が続くと、ネット通販での買物が多くなると考える。
		一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・新型コロナウイルスの感染状況が収束しないことには全く先が見えない。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、恐らく入学式、卒業式を中心としたセレモニーのウェアや、祝いや祝い返しギフトといった関連の需要や、新生活、旅行、外出などに関連した買物は低迷するとみられ、厳しい動きになると考える。
		スーパー（店長）	・小規模企業で廃業などの動きが散見され、一般消費の冷え込みも懸念している。
		スーパー（総務担当）	・再び新型コロナウイルス感染が拡大しだしている。
		スーパー（仕入担当）	・来客数の回復が見込めないなかで、値上げの影響からディスカウントショップやドラッグストアへの客の流出を懸念している。
		スーパー（店舗管理）	・県外資本の競合店進出により、更なる競争激化が避けられず、おのずと流動客化が進む。地方のため年々ならかに人口が減少しているが、小売店が増えている状態のため、良くなる兆しがみえない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況による。
		衣料品専門店（経営者）	・先行きが全く不透明で予断を許さない。このままだと経営にも影響が出てくると心配している。
		乗用車販売店（従業員）	・大雪や新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大のため、来客数がかなり減っている。
		都市型ホテル（役員）	・県内にまん延防止等重点措置が適用され、北陸全域での移動自粛により今後は近隣からの宿泊客減少を懸念している。一方で新型コロナウイルスオミクロン株の重症化しにくい特性や3回目ワクチン接種の早期化によって感染拡大のピークが収まり、宿泊客減少に歯止めが掛かることを期待している。
		パチンコ店（経理）	・新型コロナウイルス第6波による影響が出てきそうである。
		競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの感染再燃により、外出自粛が進むとみている。
		その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	・新型コロナウイルスに対する県独自の警戒態勢が一段階厳しくなり、客の意識は再びピリピリしてきて、行動も消極的になっている。新規入会者がなく、退会や休会が増加に転じている。依然として燃料費の高騰が続いており、厳しい環境になってきている。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大がひどくなり、客の動きにも変化が現れるとみている。
		住宅販売会社（営業）	・給与が上がらない状況でのインフレ化に加え、終息のみえない新型コロナウイルスの感染拡大により、客のモチベーションが上がる要因が思い当たらない。
	×	商店街（代表者）	・通常でも2月は売上が落ちる。このような状況が続くと、暖かくなるまで人出の回復はなさそうで大変心配している。
	×	商店街（代表者）	・まん延防止等重点措置が適用され、店頭販売が更に厳しい状況になると予想している。ネット販売は好調なので、当面はネットショップやSNSでの情報発信に力を入れたい。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株の報道が収まるまでは、恐らく以前の最悪期に近づいていくと考える。新型コロナウイルスに慣れた感じもあるが、郊外でしかも高齢客が多い当店では、実直に客が行動を自粛する傾向にあるので、今月よりも確実に来客数は減少すると考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	衣料品専門店（経営者）	・たとえ新型コロナウイルスの感染拡大が収束に向かっても、人々の警戒心は簡単には拭えず、消費は停滞すると考える。
	×	一般レストラン（店長）	・例年忙しくない時期だが、まん延防止等重点措置が適用され、新型コロナウイルス感染症急拡大の先が見えない。それに加えて厳しい選挙戦となりそうな知事選が控えており、プラスの要因がない。
	×	一般レストラン（統括）	・2月20日までのまん延防止等重点措置の適用により、外出を控える人々が多くなり、消費が減ると考える。
	×	観光型旅館（スタッフ）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が全国的に拡大し、まん延防止等重点措置が多く都道府県で適用されたことで、新規予約が非常に少なくなっている。さらに、1月27日から県民宿泊割引も停止となり、キャンセルが発生している。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスオミクロン株の急拡大により、第5波のときと同様に先が見えなくなっている。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染症の第6波がいつ頃終わるのかわからないこともあり、先行きが不安である。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染が拡大している。
	×	テーマパーク（役員）	・新規感染者数は全国的に増加傾向にあり、3回目のワクチン接種の進捗も遅れており、今回の感染状況が落ち着くまではもう少し時間が掛かると考える。まだまだ悪くなる方向にあるとみている。
	×	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの影響が長期にわたり、企業も疲弊してきている。設備投資や従業員賃金の減少など、影響が広まらないか心配である。
企業 動向 関連 (北陸)		-	-
		建設業（経営者）	・公共土木工事を主とする当社も同業他社も年度末工期の工事完成に向けて多忙で、利益が上がり好況感も出るが、新型コロナウイルスオミクロン株の影響が続き、サービス業では不振が続く。差引きするとやや良くなると考える。
		輸送業（役員）	・新型コロナウイルスが弱体化すればやや良くなる。
		通信業（営業）	・新型コロナウイルスの感染拡大状況に左右されるものの、3月決算期の会社が多く、駆け込み需要は相応にあるとみている。
		税理士（所長）	・飲食店関係も含めて、新型コロナウイルスの感染が1か月弱で終息するという前提があれば、リベンジ消費が期待できる状態である。観光や販売関係を含めているものも動き出し、物流も動き出せばチャンスが広がる。新型コロナウイルスによるマイナス要因が排除された場合という前提条件はあるが、感染状況が好転すれば景気回復のスピードはかなり上がると考える。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・日本を含む世界的な新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大で、個人消費はなかなか本格的に回復しないとみている。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先分の受注状況をみて、変わらないと考える。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・引き続き自動車関連の需要に比べてオートバイ関係の需要が好調で、高い生産レベルを維持しているものの、前年の前半から続いている船舶輸送関係の混乱の影響が継続しており、輸出が伸び悩んでいる。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・半導体関連など需要は旺盛であるが、新型コロナウイルスの感染が再び拡大しており、先行きが不透明になってきている。
		精密機械器具製造業（役員）	・ここしばらく国内に対する売上は回復基調にあったが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染爆発による影響を心配しており、何とも予測し難い状況である。
		輸送業（管理会計担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大の影響で経済活動の制限など不確定要素が大きく、現状程度を見込む。
		金融業（融資担当）	・前年末にかけて個人消費や観光及び飲食業に回復の動きがみられたが、年明け以降の新型コロナウイルスの感染拡大を受けてまん延防止等重点措置が適用され、個人消費への影響を懸念している。加えて原材料価格の上昇や燃料コストの上昇が企業収益の下振れ要因となっている。
	不動産業（経営者）	・個人客も法人客もまだ動きが活発ではなく、問合せが少ない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		食料品製造業（経営企画）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の急増による影響は計りしれないが、需要の変化への対応力次第で受注量や販売量を維持することは可能だと考える。問題は、原材料や燃料などの高騰や労働力不足への対応など、様々なコストアップへの対策である。
		繊維工業（総括）	・外国人技能実習生を中止とした人手不足や原材料価格の高騰に更に拍車がかかることに加え、新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大の影響を懸念している。
		建設業（役員）	・足元の受注量は今のところ順調な見通しだが、資材価格の高騰など、先行きは依然として不透明である。
		金融業（融資担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の流行のピークがこれからとなり、今後1～2か月は緊急事態宣言の発出や行動制限が厳しくなり経済活動が停滞することから、取引先は業況への影響を気にしている。
		司法書士	・建築資材や原油価格の高騰、北京オリンピック後の中国景気など、不安要素を述べる客が多い。
	x	-	-
雇用 関連 (北陸)		職業安定所（職員）	・3回目のワクチン接種が進むことで、前年同様にゴールデンウィーク前に新型コロナウイルスの感染状況が1回落ち着くとみているので、今よりはましな状況になると考える。しかし、ゴールデンウィークに前年同様、人の流れを元に戻す政策が採られたら、今と変わらなくなるだろう。
		民間職業紹介機関（経営者）	・なかなか先を見通せないが、需要が戻りつつあり、控えていた求人も増加してくるとみている。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響は確かにあるが、現時点でも季節的なスポット案件に対して例年並みの求職者数であり、この先コロナ禍が鎮静化し、新年度に向け増加するであろう求職者と求人各社との雇用マッチングが増加するものとみている。
		求人情報誌制作会社（編集者）	・求人数に大きな変化がない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数が県内でも急速に増加し、再び消費行動が縮小するとみている。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの第6波が到来しているが、これまでのように求人を控える事業所が少ないように見える。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス変異株による感染状況によると考えるが、求人状況からは現状維持の企業が多いようである。
		学校〔大学〕（就職担当）	・求人数について、状況が変わる要素や気配が見受けられない。
		新聞社〔求人広告〕（営業）	・新規感染者数が多くなると、企業活動が自動的に委縮する。新型コロナウイルスの感染状況次第である。
	x	-	-

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)		一般小売店〔野菜〕（店長）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着けば、これまで我慢していた分、購買意欲は上がる。ただし、今の物価の上昇がどこまで消費者の動きに影響を与えるのかは分からない。良くなることは予想されるが、まだまだ先行きは不透明である。
		百貨店（営業推進担当）	・新型コロナウイルスの感染第6波のピークアウト後、3回目のワクチン接種の動きとともに、経済活動も活発化する。
		高級レストラン（企画）	・新型コロナウイルスの感染第6波による影響を受けるが、感染対策や消費者心理の変化により、影響の度合いは徐々に小さくなると予想される。
		一般小売店〔事務用品〕（経営者）	・2月初旬には新型コロナウイルスの新規感染者数がピークを迎え、その後減少するとの見方を信じている。2月後半から3月にかけての景気の回復に期待している。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染第6波が収束するという、希望的観測が大きい。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況に左右される。3～4月にかけてコロナ禍が収束に向かうという条件付で、やや良くなることが予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染がピークアウトすれば、コロナ禍の収束も早いと期待されるため、一気に春物商戦が活気付く可能性がある。
		百貨店（マネージャー）	・爆発的な感染拡大がみられる新型コロナウイルスオミクロン株であるが、ピークアウトすれば感染は落ち着くと予想している。また、3度目のワクチン接種で安心感も広がり、再び人流が戻ってくると考えている。急激な売上回復は困難でも、春の新生活需要などを中心に、徐々に消費意欲が戻ってくるという見通しを持っている。
		百貨店（マネージャー）	・今後もコロナ禍の状況次第であるが、2～3か月後にはピークを超えていると予想される。
		スーパー（店員）	・新型コロナウイルスの影響による、極端な来客数の減少はみられない。今よりも感染が少しでも落ち着けば、外出意欲が高まって買物の動きも増える。
		コンビニ（経営者）	・企業の在宅勤務は一定数で定着しているが、濃厚接触者に対する制限は今よりも緩和される見通しであり、来客数は若干回復することが期待される。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着けば、人出が増えて来客数も増加する。ただし、ワクチンの接種状況や、新たな新型コロナウイルス変異株の発生などに左右される。
		衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況が落ち着いてくる。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・新型コロナウイルスが普通の風邪と認識され、日常生活が戻れば、購入意欲も高まると予想される。
		高級レストラン（スタッフ）	・また繰り返すことが予想されるが、春までには一旦落ち着く。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少すれば、街に活気が戻り、来客数も増えるが、宴会は再開しない。
		一般レストラン（店員）	・3回目のワクチン接種が増えて、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少すれば、来客数が増加する。
		観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの発生から2年になるため、そろそろ感染の収束がみえてくる。
		観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が落ち着き、良くなっていくと期待している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・年初からの新型コロナウイルスの感染拡大により、各部署でキャンセルが相次ぐ結果となった。2月以降も株主総会以外はキャンセルとなり、会食や宴会も少人数での予約以外はキャンセルとなっている。ワクチン・検査パッケージの登録は行っているものの、ホテルとしても客に利用を勧められる状況ではなく、しばらくは厳しい状況が続く。
		都市型ホテル（管理担当）	・まん延防止等重点措置の適用などで、新型コロナウイルスの新規感染数が減少し、春には来客数が増える予想している。
		都市型ホテル（販売促進担当）	・全ては新型コロナウイルスの感染状況によるが、今回の感染第6波が去っても、今までと同様に大きく改善するとは思えない。府の施策やGo Toキャンペーンなどで後押しする必要があるが、先行きは不透明である。
		都市型ホテル（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染が収まってくるほか、3回目のワクチン接種が進むことを想定すれば、消費行動が再び増えてくる。
		都市型ホテル（フロント）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染がピークアウトするのは早いといわれており、春休みのレジャー需要に期待している。
		旅行代理店（支店長）	・新型コロナウイルスの経口薬の普及で、感染症の指定を2類から5類に変更するなど、2～3か月先にはそろそろ新型コロナウイルスとの共生を、口だけではなく実行するタイミングが訪れるはずである。
		旅行代理店（役員）	・期待も含めて、Go To Travelキャンペーンの再開があれば、需要の拡大が見込める。今は商品や価格の問題ではなく、旅行に行っても後ろ指をさされない雰囲気が醸成されなければ難しい。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスオミクロン株は感染しても重症化しにくいいため、感染の拡大期がそれほど長くないと感じている人も多い。ワクチン接種の効果もあり、今後は徐々に元に戻ると感じている。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染が落ち着けば良くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くことを期待している。
		ゴルフ場（支配人）	・新型コロナウイルスによる影響は多少あるが、直近は雪などの季節要因で休業する日が増え、景気は悪化している。今後、営業日数が増えれば良くなる。
		その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設]（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染第6波の収束により、客足が戻ることを予想している。
		その他サービス[マッサージ]（スタッフ）	・オイルマッサージで服を脱ぐため、寒い時期よりも暖かい時期の方が来客数は増える。
		一般小売店[時計] （経営者）	・テレビ番組などで、専門家が新型コロナウイルスについて論じているが、全く意見が一致しないことが多い。2月に感染がピークアウトするとの意見もあるが、にわかには信じ難い。そういった状況が続くなか、必要な物以外の買物に出掛けたり、街を歩き回することは考えられない。気持ちの切替えが進む時期は、まだまだ先である。
		一般小売店[花]（経営者）	・コロナ禍の状況がどうなるか分からないため、先が見通せない。
		一般小売店[鮮魚] （営業担当）	・まん延防止等重点措置が解除されても、客の購買は鈍い動きが続く。
		一般小売店[呉服] （店員）	・ある程度の年齢の客が多いため、新型コロナウイルスの感染がこれだけ拡大すると、いつか自分も感染すると考える客が多く、先行きの生活に不安を感じている。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの感染状況次第の部分もあるが、所得が増えていない状況で、消費が大きく改善するとは考えにくい。近年、百貨店はインバウンド需要に支えられていたが、元どおりの売上は見込めず、回復には時間が掛かる。さらに、少子高齢化で百貨店の主要客の購買が減少するなど、売上が回復する要素は乏しい。
		百貨店（マネージャー）	・全体的に、国内の消費や流通は緩やかな回復傾向にある。ただし、新型コロナウイルスオミクロン株の感染対策の方向性や、原材料価格や物価の上昇による購買意欲の減退については気掛かりであり、一進一退の状態となることが予想される。
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は、2月初めにはピークアウトするとの予測もある。それが当たれば人流も再び増えるが、まだ予測にすぎず、楽観視できない。
		百貨店（サービス担当）	・今月27日から、まん延防止等重点措置が適用されたが、外出自粛などに対する規制は弱い。新型コロナウイルスの感染予防対策を再度強化することで、状況に大きな変化はないと予想される。
		百貨店（販売推進担当）	・コロナ禍が始まってから3年目を迎えたが、新型コロナウイルス発生前とは消費動向が大きく変わっている。まだまだ積極的な販促活動も行えず、新型コロナウイルスの感染第6波が収束しても、思うようには回復しないと感じている。
		百貨店（特選品担当）	・この2年間は、状況が良くなりかけると悪くなるという繰り返しで、正直なところ、先行きは全く分からない。新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大している状況から考えると、しばらくは我慢の時期が続くと予想される。特に百貨店の商品については、はっきりと良い方向に向かうのかどうかが分からない。救いがあるとすれば、新型コロナウイルスオミクロン株の重症化率が低い点である。
		百貨店（宣伝担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の亜種などの報道で、消費者の不安が高まれば、主要客である中高年層の人出が回復しにくくなる。また、これまで堅調であった富裕層の購買も、株価の低下による影響を受けており、先行きの見通しが立たない。
		百貨店（外商担当）	・当面は、新型コロナウイルスの感染が落ち着く気配がなく、ワクチンが行き渡るまでは今の状況が続くと予想される。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染に係る濃厚接触者については、隔離期間の緩和が順次行われている。ただし、出勤できない人が急増することで、緩和が追い付かない可能性も懸念され、今後の見通しが立たない。一方で客のスーパーでの買物も、新型コロナウイルスの新規感染者数の動きに応じて、活発になったり落ち着いたり、これまでと状況は大きく変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大で、当施設でも来客数が再び減少している。
		スーパー（企画担当）	・日用品の値上がりで、特売品の買い回り傾向が続くと予想される。
		スーパー（経理担当）	・新学期や花見などの行楽シーズンを控え、新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着きをみせれば、消費者の行動も活発化し、景気回復の実感も出てくる。
		スーパー（開発担当）	・春には食品の値上げも予定されている。賃金が上がり、値上げが進む状況では、景気が良くなる可能性はほとんどない。
		スーパー（社員）	・衣料品や住居関連品、食料品は、専門店との競争に直面しており、前年よりも売上は減少が続いている。その一方、当社の主力商品である食品は、コロナ禍の再拡大もあって堅調である。当面はこの傾向が続くと予想される。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が収束した後、新たな変異株が発生しないことを願っている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大に対して、一人一人が行動を自粛すれば、今の経済状態を維持することができ、今以上に悪くならないことを期待している。
		コンビニ（店長）	・コロナ禍が完全に落ち着いても、夜10時以降は客がなかなか戻らないほか、コロナ禍の収束までにどの程度かかるのか想像できない。
		コンビニ（店員）	・外出の自粛ムードが徐々に緩和され、客足が伸びることを期待している。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの影響で、先行きは不安定な状態が続く。様々な商品の値上げも増えており、購買意欲は上向かない。
		コンビニ（店員）	・コロナ禍の状況次第である。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・来客数が少なく、スーツなどのオーダーも少ない。
		家電量販店（経営者）	・取引先からは、半導体不足の解消が見込めないと聞いている。先行きには、しばらく変化はないと予想している。
		家電量販店（店員）	・決算セールはあるものの、新型コロナウイルスの感染再拡大で来客数が伸び悩む。
		家電量販店（企画担当）	・半導体不足により、給湯器やコンロ、トイレ、洗浄便座などの品薄状態が続いている。売上に影響が出ており、先行きが見通せない。
		乗用車販売店（経営者）	・ガソリン価格の高騰が止まらず、中古車価格の上昇も止まらない。売りにくく、買いにくい日々がまだ続くと予想される。
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染は、波が一旦収まっても、また第7波がくる。新型コロナウイルスと経済活動の共存について、政府がきちんと方針を示さなければ、回復する希望が持てない。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	・3か月もたてば、新型コロナウイルスの感染は落ち着いてくると予想されるが、物価がまだ上昇傾向にあるため、心配である。
		その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の急激な増加により、来客数の増加は難しいが、食品や雑貨、嗜好品などの売上は増加し、客単価も上昇傾向にある。今後も同じような傾向が続くと予想される。
		その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染第6波が到来し、毎度のような外出自粛の雰囲気となっているが、人流がそこまで減っているとは感じない。ただし、客の購買意欲が上がる要因は見当たらない。
		その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・しばらくマスクは必需品になることから、受注の増加が見込まれる。
		その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第となるが、日常生活を取り戻すまでには、まだしばらく時間が掛かる。今後一進一退の状況が続く。
		一般レストラン（経営者）	・どれだけ慎重に感染対策を行っても、新型コロナウイルスに感染している状況から、アクリル板やマスク会食では余り意味がないと感じる。もう少し治療薬の普及やワクチンの接種が進まなければ、外食の安心感は戻らない。以前のことが普通にできるようになるまでには、まだまだ時間が掛かる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光型ホテル（経営者）	・当地域では1月27日から2月20日まで、まん延防止等重点措置が適用となるが、まだ新型コロナウイルスの新規感染者数が増え続けており、延長となる可能性も高い。
		観光型ホテル（客室担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が収束すれば、回復に向かう。
		旅行代理店（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が激減すれば、若干は回復すると予想されるが、楽観はできない。
		競艇場（職員）	・全国的な売上は、若干ではあるが上向き傾向が続いている。ただし、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、先行きが見通せない状況である。
		その他レジャー施設 〔複合商業施設〕（職員）	・新型コロナウイルスの感染第6波がピークアウトすれば、少し落ち着くと予想されるが、新たな変異株の発生といった懸念もある。一時は持ち直した企業業績も、生産現場の混乱で再び落ち込むリスクがある。
		その他レジャー施設 〔球場〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染第6波で新規感染者数は過去最多を更新しており、2月のコンサートや3月から開幕するプロ野球の公式戦で、入場規制が掛かるかどうかは予断を許さない。ただし、3か月後の状況は全体的に不透明なため、現状と変わらないと予想している。
		美容室（店員）	・今の状況を見ると、新型コロナウイルスの影響に関係なく、客は動いている。
		その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・客は、以前と比べて落ち着いてきたように感じる。ただし、新型コロナウイルスオミクロン株の影響が、家計にどの程度出るのかは不透明である。
		住宅販売会社（経営者）	・当面は駆け込み需要で維持できるものの、半年も持たない。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が落ち着くまでは、現状維持が続くと予想している。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・金融政策に変化はなく、コロナ禍による業績の二極化傾向にも変化はないなど、経済全体に大きな変化は見受けられない。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	・政府による住宅取得支援策がなければ、新築住宅市場は厳しい状況になりつつある。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急増しているため、現状は良くなることはない。3回目のワクチン接種を早急に進めたとしても、まだしばらくは苦しい時期が続く。
		一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・売上が低迷し、営業活動にも支障が出ている。今後2～3か月は厳しい状況が続くことになれば、先行きが不安である。
		百貨店（服飾品担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数のピークがまだ分からない状況で、来客数が戻りきらないことが予測され、中間層を対象にした商材の動向は厳しいと予想される。2月に5～8%の値上げが予定されているラグジュアリー関連も、1月に販売が増えた反動で苦戦が予想される。一方、若年層の来店は厳しいながらも動きが見られ、バレンタインデー商戦は来客数が減っている割に好調に推移している。わざわざ足を運ぶ価値のある仕掛けには、客の反応がみられるなど、決して悪いばかりの状況ではない。
		百貨店（売場マネージャー）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況は不透明である一方、まん延防止等重点措置の適用による来客数への影響は、顕著に出ることが予想される。
		百貨店（売場マネージャー）	・今月の状況を見ると、60～70歳のシニア世代の客が確実に減少しており、売上が大きく減っている。この状況は、2～3月末まで継続しそうである。
		百貨店（販促担当）	・先の予定が立たない状況になり、卒業、入学需要などにも影響が出る。2年ぶりの春の旅行といった明るい気分が転じ、3回目のワクチン接種に関心が集まるなど、生活防衛意識が高まることで、厳しい消費環境となる。政府の方針が曖昧なこともあり、消費者の心理や行動がうまくコントロールできておらず、不安ばかりが目立っている。
		スーパー（経営者）	・輸入原材料に頼る多くの加工食品や、生産に重油を使うような野菜や果物の価格が高止まりしている。値上げが一部の産業や大手企業だけではなく、中小企業や個人事業主にも広がらなければ、財布のひもが固くなる。今後、コスト上昇分の価格転嫁が希望どおりに進まなければ、利益の減少に直結する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、地方でも旅館業や飲食業に影響が出ているほか、一般客もイベントや集会への参加を自粛するなど、景気の悪化材料が多い。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向になれば、以前と同じように景気は上向くと予想されるが、先行きが不透明であるため、悪化することが予想される。
		スーパー（店長）	・ステイホームやリモートワークも定着してきており、衣料品の需要回復には期待できない。
		スーパー（店員）	・今月末には、近隣に24時間営業のスーパーがオープンするため、売上が少し落ちる。新型コロナウイルスの感染も拡大しているため、毎日買物をする客も減る。
		スーパー（販売促進担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株による影響は落ち着いてくる一方、内食や外食への影響も出てくる。ただし、全体として新型コロナウイルス発生前の状況に戻ることはない。
		コンビニ（店長）	・いつコロナ禍が収束するのか、めどが立っていない。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大で良くならない。
		コンビニ（店員）	・人流が減っていると率直に感じるため、しばらくはこの傾向が続くと予想される。ただし、ワクチンの接種が進めば、また戻ってくることを予想される。前回も戻り始めれば、通常の来客数に戻るのには早かったため、その点は心配がないと感じる。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、再び売上の増加に歯止めが掛かる。2月前半は来客数が減少する見込みである。
		家電量販店（店員）	・燃料費の高騰は、やはり生活費への影響が大きい。光熱費の上昇で家計の圧迫が大きく進めば、買い控えも起きるため、夏のボーナス商戦までは厳しい状況が続く。
		家電量販店（人事担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束するイメージが湧かない。感染が流行と小康状態を繰り返しており、当面は新型コロナウイルス発生前に戻ることはないため、新たな販売手法に取り組む必要がある。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が、消費意欲を減退させていると感じる。
		乗用車販売店（経営者）	・新車の受注は増えているが、メーカーから新車が入ってこない。また、新型コロナウイルスオミクロン株の影響で仕事が回らない。
		乗用車販売店（経営者）	・もう2年以上続いているコロナ禍による制約で、中小企業の体力は限界にきている。原油高による仕入れコストの上昇や社会保険料の負担増により、企業経営を継続する気力がなくなっている。
		住関連専門店（店長）	・輸入に伴う輸送コストなどの高騰に耐えきれず、やむを得ず販売価格を値上げした。その影響で、買い控えが数か月続くことを懸念している。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の推移や、全国的なまん延防止等重点措置の適用による影響が不透明ななか、早期の回復は難しいと予想される。
		一般レストラン（企画）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加が続くと、直接的な売上への影響もあるが、人手の確保が厳しくなる。時短要請以外の時間帯でも、営業活動ができない状況となることが想定され、売上は更に減少すると予想している。
		都市型ホテル（客室担当）	・Go Toキャンペーンの再開には期待しているが、現状では難しい。人流が増加し、新型コロナウイルスの感染が拡大するサイクルを断ち切らなければ、景気の回復は難しい。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスオミクロン株の爆発的な感染拡大に伴う、まん延防止等重点措置の適用で、人流の減少による営業収入の減少が懸念される。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大による悪影響が出る。
		通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染収束の時期がみえず、新型コロナウイルスオミクロン株の感染も爆発的に広がっている。この状況については、来年度上半期中での解決を望みたい。
		通信会社（企画担当）	・これからまた緊急事態宣言が発出されると、経済活動が止まってしまう不安がある。賃金も余り上昇するとは思えず、売上は厳しくなると予想される。
		観光名所（企画担当）	・11～12月は少しずつ来館者が増え始めていたが、新型コロナウイルスの感染第6波で再び来館者が減少し、また先が見えなくなっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他レジャー施設 [イベントホール] (職員)	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大のピークアウトがいつになるかで、人々の行動が変化する。安心材料が提供されれば、活気が出てくる。
		住宅販売会社(従業員)	・分譲マンションの販売は好調に推移しているが、賃貸マンションは一部で入居者の確保が厳しくなっている。今後は、収益物件としてのマンションの販売は厳しくなることが予想される。
		住宅販売会社(総務担当)	・まん延防止等重点措置の適用に伴い、客の動きが減少傾向となる。
		その他住宅[住宅設備](営業担当)	・九州エリアの事業所で、新型コロナウイルスの感染者が出たとの速報が入った。現在は1人だけであるが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染力を考えると、今後も社員から感染者が出る可能性があるため、頭が痛い。
		その他住宅[情報誌](編集者)	・不動産価格、特にマンション価格の高騰による影響が、徐々に販売の減速につながる。特に、株価との連動が大きいため、高額物件の動きの悪化が懸念される。
	×	商店街(代表者)	・しばらくは状況の好転が見込めない。
	×	一般小売店[貴金属製品](従業員)	・物価上昇の影響が出てくる。
	×	一般小売店[衣服](経営者)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が、数か月後には今よりも落ち着いている可能性はあるが、だからといって急に客足が戻るとは思えない。現状を考えると、数か月後に景気が良くなるとは考えられず、現状維持さえも難しいと、不安ばかりがつのる。
	×	一般小売店[花](店員)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えるなか、外出を控える動きが始まっている。新規感染者数の増加とともに、更にその傾向が強くなるため、来客数の減少が予想される。
	×	百貨店(売場主任)	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染収束時期がみえないことが、最大の悪化要因である。急速にピークアウトする気配がないなか、来客数は下げ止まらないと予想される。
	×	コンビニ(経営者)	・新型コロナウイルスの感染拡大や、まん延防止等重点措置の適用で、人流は減少する傾向にあるため、売上は自然に減っていく。
	×	衣料品専門店(経営者)	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が収まるまでには、数か月は掛かると考えている。今年の春や夏も厳しく、仕入先の廃業や倒産が心配である。
	×	衣料品専門店(経営者)	・消費者が小売店で買物をする社会への復帰を目指してほしい。株価を上げたり円高に誘導する対策を進めなければ、中小零細企業は廃業してしまう。
	×	家電量販店(店員)	・新型コロナウイルスの感染拡大が続くことで、外出が減少し、来店も少なくなる。特に、ショッピングモールのテナントには、間違いなく大打撃となる。
	×	住関連専門店(店員)	・新型コロナウイルスの影響で、良くなる兆しはみられない。
	×	その他小売[インターネット通販](経営者)	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が多くなり、客は外出を控えている。
	×	その他飲食[ジャズバー](店員)	・コロナ禍による失業が増え、お金をためる人が増えたように感じる。
	×	その他飲食[ファーストフード](店員)	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で、来客数はかなり減少している。予約のキャンセルや日程の変更が相次いでおり、こじばらく景気は下降気味になる。
	×	その他飲食[自動販売機(飲料)](管理担当)	・大企業ではテレワークが定着しており、自販機の売上にはかなりの打撃となる。
	×	都市型ホテル(管理担当)	・今後の新型コロナウイルスの感染状況を見守るしかない。感染が収束しなければ、営業面で厳しい状況が続くと予想される。
	×	タクシー運転手	・今月27日～2月20日まで、まん延防止等重点措置が適用となる。外出の自粛が更に進むことで景気が悪化し、売上は低迷する。
	×	テーマパーク(職員)	・政府が判断を誤り続ける状態では、景気の回復に向けた手段も構築できるとは思えない。株価の下落はそれを見越した動きであり、このようなタイミングで増税の話も出てくるなど、雇用と消費が順調に伸びる政策は期待できない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	遊園地（経営者）	・前月は新型コロナウイルスの新規感染者数が少なかったため、平常時に近いにぎわいとなったが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、年明け以降は減速した。まだ感染の拡大が続いていることから、当面は回復が見込めない。
	x	競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの感染第6波の影響や、原油や食品価格などの上昇で、良くなるとは思えない。
企業 動向 関連 (近畿)		木材木製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が急拡大しているが、長くは続かないとの見方も出ている。輸入品の輸送費の高騰や、コンテナの不足はあるが、今後は受注が増える見込みであり、輸送費も旧正月明けには次第に落ち着くとの予想もある。それに伴い、売上、利益共に増加が見込まれる。
		繊維工業（団体職員）	・新型コロナウイルスの感染第6波の収束を見込み、やや良くなると予想している。
		窯業・土石製品製造業（管理担当）	・一概にはいえないが、英国や米国の例をみると、新型コロナウイルスオミクロン株の感染は周期が短いとの分析もある。期待も込めて、2～3か月後の景気はやや良くなると予想している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・半導体市場の好調は、間違いなく2年以上は続くため、今年も好況の継続が見込まれる。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・納期が来年度の製品の受注量が増えている。また、来年度の予算確保用の見積り依頼も増えている。
		金融業〔投資運用業〕（代表）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染は、3月には収束するとの見方もあるため、それ以降は一連の騒動は終了する。ただし、今度は貸し込まれた借入金の返済という新たなマイナス材料に、債務者が対応できる体力があるのかが疑問である。コロナ禍の終了後に、倒産件数が一気に増えそうな予感がする。
		広告代理店（営業担当）	・広告の申込状況をみると、新型コロナウイルスオミクロン株の感染が収束すれば、春には回復が進みそうな動きとなっている。
		その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・今年は寒さが厳しくなり、事故がやや増えたため、在庫数が若干増えている。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が周囲でみられる状況では、良くはならない。濃厚接触者が社内でも発生しているほか、操業への影響が大きい取引先や仕入先でも発生している。
		化学工業（企画担当）	・食品の原料価格の高騰に加えて、設備投資に必要な電子機器などの不足で、様々な厳しい状況が慢性化している。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・マイナスの要素もあるが、年度末に向かうことで需要の上積みが見込める。ただし、収支はプラスマイナスゼロとなる見込みである。
		金属製品製造業（営業担当）	・部品不足が解消するような前向きな話は、なかなか聞こえてこない。
		金属製品製造業（開発担当）	・中国の旧正月が終われば、また暇になる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・この1年半は売上が激減しており、今も傾向は変わらない。
		一般機械器具製造業（設計担当）	・物価が少しずつ上昇する一方、消費者の収入は増加する見込みがない。
	電気機械器具製造業（経理担当）	・電子部品や半導体の供給不足は深刻であり、納期を聞いても、2年先と回答されるケースも出始めている。取引先からの注文を断らざるを得ないケースもあり、予定が立たないなかで、数か月先も見通せない状況である。	
	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・年末頃には新型コロナウイルス変異株の感染が急速に落ち着き、収束も近いと考えられたが、年明けからは新型コロナウイルスオミクロン株の感染が急激に拡大し、兵庫県でもまん延防止等重点措置が適用となった。1月19～20日に開催された展示会についても、新型コロナウイルス発生前の半分ほどの来場者数にとどまっている。	
	建設業（経営者）	・問合せ数などをみても、今後は受注量の増加が想定しにくい。また、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で、飛行機の乗客も減っており、今後は当社の各業界の取引先への悪影響も出てくる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（経営者）	・多くの建設資材の納期が確定しない状態で、資材の不足や価格の高騰で苦慮している。客に現状を理解してもらうために説明しているほか、設備投資の予算や工期を見直してもらえよう努力している。
		建設業（経営者）	・飽くまでも新型コロナウイルスの感染収束が条件であるが、春になれば外出自粛の反動もあり、消費マインドが高まると期待している。
		金融業（営業担当）	・まん延防止等重点措置の解除後は、各企業の体力や人員配置などが問題になると予想される。
		経営コンサルタント	・まん延防止等重点措置が予定どおり解除されるかどうかは分からないが、すぐに客が戻ると考えている事業者はいない。
		司法書士	・新型コロナウイルスの感染状況による影響が大きい、ワクチン接種の遅れや、検査キットの不足による問題もあり、2～3か月後の景気はかなり厳しくなる。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の症状は比較的軽症であるため、経口薬などの効果はある程度期待できそうである。一方、報道によると、新型コロナウイルスオミクロン株が派生型に置き換わりつつあるため、感染第6波は長期化すると予想される。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、海外の展示会に商品を見に行くこともできず、商材の開発が進まない。前に進めず、既存の商品しか売れないため、改善は見込めない。
		その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響がどう出るかは不透明であるが、設備投資の予算が削られていると感じる。
		食料品製造業（従業員）	・まん延防止等重点措置が適用され、飲食店は営業時間が短縮となり、外出を控える動きも出るため、業務用の売上増加は期待できない。家庭用も、以前のように巣籠り需要は高まらないと予想されるため、売上の増加は期待できない。
		繊維工業（総務担当）	・前期と比べて、原料価格の上昇やコロナ禍の影響で、利益率の低下や売上の減少が続いている。
		出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・いわゆるウィズコロナによって、経済が動き出すと予想されたが、再び以前と同じ状況に陥った。今後もその繰り返しとなるイメージが強いため、来年度も回復に期待が持てない。
		化学工業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第6波の影響で、従業員や取引先など、身近なところでかなり感染が広がっている。それと同時に濃厚接触者も増えており、出社できる従業員がかなり減少し、通常の業務ができなくなってきた。それに伴い、受注や生産活動にも支障が出ており、このままでは景気は更に悪くなる。
		化学工業（管理担当）	・製品の出荷量は下げ止まりが予想される一方、原材料である化学品の価格高騰はかなり激しい。
		金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、製造業の人材確保に影響が出ることが心配される。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が予想以上に増え、閉塞感がより一層増している。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・大阪でも新型コロナウイルスの新規感染者数が増えており、この先どうなるかは不透明である。
		輸送業（商品管理担当）	・まん延防止等重点措置が適用されたため、酒類の売上が減少する。
		輸送業（営業担当）	・3～4月は学習機が売れるシーズンであるが、納期が5～6月と遅れている。
		金融業（副支店長）	・飲食や航空、旅客、旅行関連への影響は甚大であるため、消費者の活動も消極的となり、景気の後退が予想される。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加により、受注量が減っている。
	×	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が急激に拡大し、まだ先が見えない状況のため、売上は悪くなる。
	×	繊維工業（総務担当）	・すぐに持ち直すとは思えない。
	×	輸送業（営業担当）	・個人間の売買による荷物が増え、売上が増えている。通販関連の荷物よりも運賃が高いため、利益も増えている。
	×	通信業（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大で、経済に大打撃となる。
	×	不動産業（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染収束が見通せない。今後も新規感染者数が増え、飲食店の時短要請が続くため、状況は悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で先が見通せず、今後も混んとした状況が続く。
雇用 関連 (近畿)		民間職業紹介機関（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況にもよるが、季節的に感染が広がりにくくなるほか、直近で求職活動が停滞している分、後ろ倒して動きが活発化すると予想される。その場合は、2～3か月先に求職活動や求人募集が増える可能性がある。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着かなければ、特需による求人が更に増える。
		人材派遣会社（経営者）	・前月頃までの好調な状態を、年度末までは維持できそうであるが、新年度からは見通せなくなっている。通常であれば、今は4月以降の契約更新や新規案件の話が出てくる時期であるが、企業は慎重になっている。
		人材派遣会社（役員）	・本来は良くなる局面であるが、各地へのまん延防止等重点措置の適用が相次ぎ、景気に水を差す状況となっている。
		人材派遣会社（管理担当）	・今のところは、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加による影響は出ていない。更なる感染拡大による影響は読みきれないが、急激に変化するとも考えにくい。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が落ち着くまで、心理的には行動に制限が掛かるため、消費が伸びない。ただし、3か月もすれば落ち着くかもしれない。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大が続いているほか、3回目のワクチン接種も遅れているため、今後の感染状況次第で景気はどの方向にも向かう可能性がある。ただし、消費者も重症化リスクの低さを認識しており、人流が極端に減り、消費が冷え込む可能性は低い。感染のピークが近いとの報道から、企業も感染収束後を見据えた採用計画を立てる傾向にあり、求人数が極端に減少する気配もないため、景気が一気に悪化する可能性は低い。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大しており、感染拡大期間の長さによっては、景気がどうなるか分からない。
		職業安定所（職員）	・まん延防止等重点措置の適用が再度決定したことにより、宿泊や飲食サービス業への影響が懸念される。また、原材料価格の高騰、半導体不足、運輸コストの上昇といった不安要素が、景気の回復を遅らせる。
		職業安定所（職員）	・前月は新型コロナウイルスの新規感染者数が減少したことで、求職者の登録は増えたが、有効求人倍率は1.32倍と、1倍以上の水準で推移しているため、全体としては変わらない。
		民間職業紹介機関（職員）	・求人数は増えつつあるものの、労働条件の改善はみられない。そのため、求職者とのマッチングになかなかつながらない状況が続いている。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・短期間では、変化がなさそうである。
		学校〔大学〕（就職担当）	・企業の求人も止まったままであり、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が止まることを願うのみである。
		人材派遣会社（支店長）	・4月には一旦落ち着くことが予想される。
		人材派遣会社（営業担当）	・この1～2週間での新型コロナウイルスの新規感染者数の増加と、それに伴う自宅待機者の増加などにより、人の採用には再びブレーキが掛かりそうである。
	アウトソーシング企業（社員）	・人手不足で、業務を委託に切り替えたため、雇止めが行われる。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・コロナ禍の収束が見通せない。関西の地元企業による新聞広告の出稿意欲が、年度末にもかかわらず低いままで、前年比でも70%台にとどまる。	
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・現在、全国各地でまん延防止等重点措置が出されているが、新型コロナウイルスの新規感染者数や病床利用率は今後も悪くなる一方となる。緊急事態宣言が出されるかどうかは分からないが、いずれにせよ、この状況は経済活動には悪影響でしかないと感じる。	
	職業安定所（職員）	・先行きについて、企業からは新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大への懸念や、原油や原材料価格の高騰、物流の停滞に対する懸念が寄せられており、引き続き注意が必要となっている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大と、それによる景気の減退、株価の低迷、求人需要の量から質への転換などから、もろ手を挙げて喜んでいられる時期は終わったと感じる。
	x	-	-

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (中国)		乗用車販売店（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、再び景気は良くなる。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株感染による症状が軽く、3回目のワクチン接種が進めば、新規感染者数が減少するため、今後、消費活動は日常に戻っていく。新年度を迎え、これまで抑制していた消費分も戻ると思われる。
		競艇場（企画営業担当）	・3か月後は、記念レースが開催されるため、景気は良くなる。
		商店街（代表者）	・春の異動シーズンに入ることから、客の購入機会の増加が期待できる。
		一般小売店〔靴〕（経営者）	・新型コロナウイルス禍でメンテナンス需要が増加し、全体の売上が底上げしていることから、今後も景気はやや良くなる。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・新年度に入れば、多少は動きが良くなる。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスの影響による一般食品の値上がりが多量感じられる。
		スーパー（業務開発担当）	・卒業や入学の頃には皆で買物に行こうかという雰囲気になるため、景気はやや良くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・1月に入り、来客数が増加しても、売上が伸び悩む状況にある。人混みを避けるため、客が買物が少ないときはコンビニに、まとめ買いをするときはスーパーに行っている可能性がある。新型コロナウイルスの動向次第だが、景気はやや良くなる。
		衣料品専門店（経営者）	・今よりは景気はやや良くなる。
		衣料品専門店（代表）	・今後、新型コロナウイルスの感染症の危険度を示す分類が第2類から第5類に移行し、感染が拡大しても経済活動を継続する措置が採られると予測するため、景気はやや良くなる。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	・新型コロナウイルスが経済活動に与える影響は現在よりも小さくなるため、景気はやや良くなる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・新型コロナウイルスが3月以降ピークアウトすれば、感染が落ち着いていた前年末と同様、景気も回復基調になり、上向きに転じる。
		高級レストラン（事業戦略担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、景気はやや良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・売上がない現在よりは良くなるが、将来に向けて、明るい希望が持てない。
		一般レストラン（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、景気はやや良くなる。
		バー（経営者）	・新型コロナウイルスがピークアウトすれば、景気はやや良くなる。
		観光型ホテル（副支配人）	・2月20日までのまん延防止等重点措置が解除されれば、施設が再開され、今まで利用できなかった客が一斉に利用するようになるため、景気はやや良くなる。
	都市型ホテル（企画担当）	・前年10～12月の3か月間が一時的な需要回復時期となったが、新型コロナウイルスの感染拡大が繰り返されると想定すれば、景気の先行きは不透明である。	
	タクシー運転手	・今が最悪の状況なので、今後、景気はやや良くなる。	
	タクシー運転手	・2月からまん延防止等重点措置が適用され、厳しい状況になるが、新型コロナウイルスが終息に向かえば、景気は現状よりは良くなる。	
	観光名所（管理担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数がピークアウトするため、景気はやや良くなる。	
	観光名所（館長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向に向かうため、景気はやや良くなる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他レジャー施設 [温泉センター] (担当者)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少するため、景気はやや良くなる。
		住宅販売会社 (営業担当)	・新型コロナウイルスの感染状況が一旦落ち着いてくるため、景気はやや良くなる。
		商店街 (理事)	・当面は景気の悪い状況が続く。
		商店街 (代表者)	・新型コロナウイルスの感染が一気に終息することがないので、景気の悪い状況が続く。
		百貨店 (経理担当)	・今年も新型コロナウイルスが拡大と終息を繰り返す状況が続くそうなので、景気の大規模な改善は見込めない。
		百貨店 (営業担当)	・客の大半が外出を控えたり、行事などの中止や延期であらゆる晴れの場数が少なくなったりすることで、客の衣料品の購買意欲が低下する。
		百貨店 (営業担当)	・メーカーの商品生産ができていないため、今後も厳しい状況が続く。
		スーパー (店長)	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かない限り、景気の上昇はない。新型コロナウイルス禍では最低限の食の買物以外は需要が増加することはない。
		スーパー (店長)	・まん延防止等重点措置が2月20日まで延長されるため、来客数、客の購買活動、周辺環境が大幅に変化することはない。
		スーパー (店長)	・新型コロナウイルスの影響が続く限り、客が買物の回数や買い回りを減らすため、景気は変わらない。
		スーパー (店長)	・今後も客の来店回数が少ない状況が続く。
		スーパー (店長)	・1月に入り、新型コロナウイルスオミクロン株の流行で、先行きが不透明となったため、景気は良くならない。
		スーパー (店長)	・新型コロナウイルスの感染状況が悪化すれば、ディスカウント業界の販売量は増加するが、ワクチン接種が進んでいる現状では、3か月後も景気は変わらない。
		スーパー (総務担当)	・景気が上向き要因がないため、現状維持で推移していく。
		スーパー (販売担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、厳しい状況が続く。
		コンビニ (エリア担当)	・新型コロナウイルスの感染が拡大し、客の買い控えが増加するため、景気は良くならない。
		家電量販店 (店長)	・今月に入り、売上が減少しているが、2～3か月後に売上が改善しているとは予想できない。新型コロナウイルスの影響が薄れても、需要は増加しない。
		家電量販店 (企画担当)	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、景気が良くなると思っていたが、新型コロナウイルスオミクロン株が出現したため、今後も景気は変わらない。
		乗用車販売店 (営業担当)	・客が動かなければ、車も売れず、生産につながらない。景気はすぐには回復しない。
		乗用車販売店 (営業担当)	・新型コロナウイルスや半導体不足の影響で、納期が伸びているため、景気は良くならない。
		乗用車販売店 (店長)	・せつかくの年度末を迎えるが、自粛ムードになると客を呼び込むことすら難しくなる。当面は整備や中古車販売を中心に収益を確保する状況が続く。
		乗用車販売店 (業務担当)	・新型コロナウイルスオミクロン株の出現で先行きが不透明となったため、今後も景気は良くならない。
		乗用車販売店 (営業担当)	・まん延防止等重点措置の適用により、新規の客が少なくなっているため、今後も景気は良くならない。
		その他専門店 [和菓子] (経営者)	・しばらくは現在の状況が継続する。
		その他専門店 [土産物] (経営者)	・まん延防止等重点措置の適用で、外出を控える客が更に増加する。中心客の年齢層が高いため、今後、かなりの影響を受ける。
		その他小売 [ショッピングセンター] (管理担当)	・9月頃の危機感までではないものの、客の新型コロナウイルスに対する不安は強く、財布のひもが固い状況が続いている。2月20日までまん延防止等重点措置が適用されるため、まだまだ現状は変わらない。
		一般レストラン (経営者)	・新型コロナウイルスの動向次第であるが、新型コロナウイルス流行前の状況には戻らない。
		一般レストラン (経営者)	・新型コロナウイルスの動向次第であるが、仕事関係、家族連れ、少人数の若者の利用のいずれも、かなり減少し、売上も低迷する。
		観光型ホテル (営業担当)	・先行きが不透明なため、景気は良くならない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光型ホテル（宿泊担当）	・新型コロナウイルスの動向次第であるが、景気は変わらない。
		都市型ホテル（企画担当）	・今月が最低ラインであるが、2～3か月後も状況は変わらない。
		都市型ホテル（総支配人）	・先行きは不透明で、景気は今後の新型コロナウイルスの感染状況に左右される。
		旅行代理店（経営者）	・ワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かない限り、景気は良くならない。
		旅行代理店（支店長）	・県民割やGo To Travelキャンペーン等の施策が実施される状況になれば改善は見込める。
		タクシー運転手	・まん延防止等重点措置の適用が延長されるため、今後も景気は良くならない。
		通信会社（経理担当）	・現状から判断すると、今後も景気に余り変化はない。
		テーマパーク（管理担当）	・政府の対策がなされていないため、今後も景気は良くならない。
		ゴルフ場（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、景気は自然と良くなる。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が拡大し、客が建築のことまで考える余裕がなく、建材価格の値上がりもあるので、今後も景気は変わらない。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が拡大し、建築費の高騰が続いていることで、先行きに不安が残ることから、景気は良くならない。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルス第6波が2か月くらいで落ち着くと思われるため、景気は変わらない。
		住宅販売会社（営業所長）	・所得の上昇等が話題にはなるが、上昇にどのくらいの効果があるのかが不透明であり、所得の上昇以上に原材料価格など物価の上昇が進んでいることから、景気は良くならない。
		商店街（代表者）	・マスコミの報道の影響もあり、今後、景気はやや悪くなる。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・2月終わりまでの見通しが全くつかない。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	・消費者が新型コロナウイルスと共存する新しい生活様式を求めている、今後、巣籠り需要が一段と落ち着くため、景気はやや悪くなる。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの濃厚接触者認定などにより、勤務できない従業員が多くなっている。新型コロナウイルスが終息するまでは、更に来客数や売上の減少が続く。
		百貨店（営業企画担当）	・新型コロナウイルスの影響が長引き、イベントやセミナーによる売上も回復しないのであれば、今後のブランド撤退の可能性も出てくる。
		百貨店（売場担当）	・まん延防止等重点措置の対象地域が拡大すると、人の流れや売上にも影響が出てくる。特に物産展など人が集中するイベントの開催が厳しくなるため、景気はやや悪くなる。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大に対する不安により、当面、客の消費マインドは回復しない。
		スーパー（財務担当）	・政府の新型コロナウイルス感染者への対応の変更や、3回目のワクチン接種が進めば、人々の外出機会が増加し、内食需要が減少する。
		スーパー（営業システム担当）	・物価の上昇が収まる兆しがなく、客の昇給の見込みもないため、購買意欲が抑えられ、最低限の購入になっていく。
		スーパー（販売担当）	・輸入商材の納期の遅れが日常的となり、販売機会の損失が生じていることや、新型コロナウイルスの先行きが不透明なことから、今後、景気はやや悪くなる。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が激増しているため、2～3か月後に景気が回復するのは難しい。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスが終息する気配がなく、まん延防止等重点措置の対象地域も拡大することから、景気はやや悪くなる。
		コンビニ（副地域ブロック長）	・新型コロナウイルスの感染状況が週単位で変化し、客の心理次第で景気が好転する可能性もあるが、現時点では、新型コロナウイルスの先行きが不透明なため、景気は良くならない。
		コンビニ（支店長）	・新型コロナウイルスが終息しなければ、景気の悪化が進む。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大で商材の入荷が滞っていることから、景気は更に悪化する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（営業担当）	・新車の生産や中古車の在庫が減少するため、景気はやや悪くなる。
		自動車備品販売店（経営者）	・値上げによる販売の伸び悩みで景気はやや悪くなる。
		住関連専門店（営業担当）	・原材料やコンテナ価格の高騰による輸入品の商品価格の値上げに伴い、比較的価格帯の低い商品群の販売数量が落ちている。また、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で来客数が減少しているため、今後、景気はやや悪くなる。
		その他専門店〔布地〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くにはもう少し時間が掛かるため、景気は良くならない。
		タクシー運転手	・高齢者が通院のためタクシーを利用するなど、今後も一定の利用客はあるが、今の状態が続くと、景気はやや悪くなる。
		放送通信サービス（総務経理担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の出現やまん延防止等重点措置の適用などが家計に悪影響を与えるため、景気はやや悪くなる。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かないなかで、生活と密接に關係する燃料費や食料品価格が上昇しており、今後、スタグフレーションに陥る危険性が高い。
		通信会社（工事担当）	・まん延防止等重点措置の適用により、今後、景気はやや悪くなる。
		テーマパーク（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増加しており、落ち着くまでしばらく時間が掛かるため、景気はやや悪くなる。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、来客数が減少しており、しばらくは景気の悪い状況が続く。
		設計事務所（経営者）	・受注単価の高騰を受けて客の意思決定が鈍く、他社との価格競争になるため、景気はやや悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・まん延防止等重点措置が適用されたため、今後も景気は悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・今まで、いろいろな店があり相乗効果も期待できたが、長引く新型コロナウイルスの影響により残っている小売店や飲食店も持ちこたえているのが不思議なくらいである。
	×	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・不安定なウクライナ情勢が国内景気に悪影響を与えるため、景気は悪くなる。
	×	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・売上が回復せず、今後も厳しい状況が続く。
	×	百貨店（販売計画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が悪化するため、景気は悪くなる。
	×	乗用車販売店（統括）	・新車と部品の供給がかなり遅れているため、今後、景気は悪くなる。
	×	通信会社（広報担当）	・まん延防止等重点措置の適用の影響が大きいため、適用期間が長引けば景気の回復もそれだけ遅れる。
	×	テーマパーク（業務担当）	・まん延防止等重点措置の適用により、今後、景気は悪くなる。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増加し、人が出歩かなくなったため、今後、景気は悪くなる。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、客の生活スタイルが変化しているため、2～3か月では景気は良くならない。
企業 動向 関連 (中国)		輸送用機械器具製造業（経営者）	・地元完成車メーカーの生産が延びていくため、景気は良くなる。
		繊維工業（財務担当）	・新年度になり、消費行動が活発になるため、景気はやや良くなる。
		化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスが終息に向かえば、景気はやや良くなる。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・新型コロナウイルスの影響による東南アジアの生産低調や半導体不足の問題が徐々に改善し、主要客からの受注量が、内示に比べ下方調整はあるものの、落ち着きつつあることから、今後、景気はやや良くなる。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・取引先の生産が増加するため、景気はやや良くなる。
		輸送業	・人や物の動きが活発になるため、景気はやや良くなる。
		通信業（営業企画担当）	・自然災害の増加に伴うリスク回避やBCP関連への投資、データ量も増加傾向であり、データを保管する場所としてデータセンターやクラウドなどの需要がますます高まってくるため、景気はやや良くなる。
		不動産業（総務担当）	・今月よりも需要が増加するため、景気はやや良くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		農林水産業（従業員）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、景気は変わらない。
		化学工業（総務担当）	・特に景気変動する要因がないため、景気は変わらない。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・大口案件が終了したが、次の大口案件の生産が始まるため、今後も現在の生産水準が継続する。
		鉄鋼業（総務担当）	・景気は上向き状況ではなく、現状維持か低下となる。
		鉄鋼業（総務担当）	・景気が良くなる傾向はないが、悪化する兆しもないため、今後も変わらない。
		非鉄金属製造業（業務担当）	・引き続き、金属価格が高値を継続し、電子材料関係の素材受注も堅調に推移する。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・現状、景気が良くなる材料が特段見当たらないため、景気は変わらない。
		輸送業（総務・人事担当）	・景気は現状を維持するが、新型コロナウイルスの動向次第で、事業継続に支障が出る可能性も出てくる。
		金融業（融資企画担当）	・今後数か月は、地元完成車メーカーの国内生産がフル操業をやや下回る水準で推移する。このため、系列の地元部品メーカーの受注や操業も例年の通常レベルになる。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		会計事務所（経営者）	・BCPの一環でリスクヘッジを図るためのプロセス外注化が一定量進む。
		食料品製造業（経営者）	・まん延防止等重点措置が適用される地域が拡大し、消費が一段と低迷する。特に、飲食店等の低迷が経済活動全体に影響を及ぼすことに加え、物価上昇の影響も出てくる。
		食料品製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の急速な増加やまん延防止等重点措置の適用により、今後、景気は厳しくなる。また、原油価格の高騰により、物流費も上昇する。
		木材木製品製造業（経理担当）	・材料費や運賃の高騰、1月からの新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、今後、景気は悪くなる。また、コストの上昇で、利益面でも厳しい状況が続く。
		金属製品製造業（総務担当）	・鉄原材料価格の高止まりに加え、電気料金は燃料費調整額や再生可能エネルギー発電促進賦課金の上昇が見込まれ、採算は悪化する一方である。客からの納期対応要請により、超過勤務対応が必要となるため、労務費も増加する。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・受注や販売の動きから判断すると、景気はやや悪くなる。
		建設業（経営者）	・建設工事の受注が減少し、価格が低下傾向にあるため、景気はやや悪くなる。
		金融業（貸付担当）	・新型コロナウイルスがピークアウトしても、しばらくは、取引先の売上回復に時間が掛かるため、景気はやや悪くなる。
	×	建設業（総務担当）	・景気が更に悪化する可能性が高い。
	×	コピーサービス業（管理担当）	・まん延防止等重点措置の適用が延長されると、企業のテレワークや面談停止要請の措置で、仕事の減少が続く。それでも、デジタルトランスフォーメーション推進によるペーパーレス化により業績が悪化しているため、今後、景気は悪くなる。
雇用 関連 (中国)		-	-
		求人情報誌製作会社（経営者）	・業種によっては、新型コロナウイルスオミクロン株の影響を受けるが、全体的には景気はやや良くなる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・企業の採用意欲は相変わらず旺盛である。新型コロナウイルスが終息すれば、景気は再度回復傾向に戻る。
		民間職業紹介機関（職員）	・新年度に向けてのイベント、催事、冬季北京オリンピックを通じての冬物スポーツ関連サービスの需要喚起、プロ野球の開幕など経済を動かす要因があるため、景気はやや良くなる。
		人材派遣会社（支社長）	・新型コロナウイルスオミクロン株はピークアウトするが、企業の採用意欲の低下が続くため、景気は良くならない。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	・人の流れが良くなってきていたのだが、新型コロナウイルスの爆発的な拡大で、人が動かない、買わない、巣籠りする状況が定着してしまった。3回目のワクチン接種が広がるまでは、この状況が続くが、ワクチン接種が広がり始めるであろう3か月後は、今より状況は上向きになる。イベントなどの制限が厳しい状況で、イベントに参加する学生や企業も前年より確実に減少している。これまでと同じやり方が通用しないと始めている企業も多く、そこに新たなビジネスチャンスが生まれる気がする。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（事業所担当）	・宿泊業者からの情報では、一般客の宿泊予約が新型コロナウイルス流行前の水準までには達していないものの、徐々に回復している。一方で、利益率が高く売上に最も影響を与える大人数の宴会予約は、まだまだ厳しい状況にある。また、雇用調整助成金の支給申請が、今後、まん延防止等重点措置の影響で増加することが予想され、先行き不透明な状況であることから、景気は当分の間変わらない。
		民間職業紹介機関（人材紹介・派遣担当）	・景気は新型コロナウイルスオミクロン株の動向次第である。求人がハイシーズンに突入するので、求職者からの問合せが増加しないと困る。逆に、中途採用を考えている企業側からの問合せ数や案件受注数は微増傾向にある。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの動向や株価の下落がどこまで続くのかが不明であるが、今後、景気は変わらない。
		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・来年度の採用に向けた周辺企業の動きが鈍いため、景気は良くなる。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス第6波の影響で、新規感染者数や濃厚接触者数が増加し、必要な人材の採用活動が進まなくなるため、景気はやや悪くなる。
		人材派遣会社（経営戦略担当）	・新型コロナウイルス禍で、社会環境に明るい見通しがなく、求職者の心理が改善しないため、景気はやや悪くなる。
		職業安定所（所長）	・新型コロナウイルスの終息を期待して、宿泊業や飲食サービスの募集が増加傾向で動いていた求人も、年末からの新型コロナウイルスオミクロン株の急拡大で、今後の動向が大いに心配される。
		職業安定所（雇用関連担当）	・県内でもまん延防止等重点措置が適用され、飲食業に営業時間短縮要請が出たことで、雇用調整助成金の相談件数が増加していることから、今後、景気はやや悪くなる。
		その他雇用の動向を把握できる者	・新型コロナウイルスオミクロン株や半導体不足が経済にかなりの影響を与えるため、景気はやや悪くなる。
	x	-	-

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連		衣料品専門店（経営者）	・今が感染拡大のピークであると考えており、将来的に新型コロナウイルス感染症が終息すれば、景気は必ず上向くと信じている。
(四国)		商店街（事務局長）	・2月中旬頃には多くの地域で第6波のピークを迎え、それ以降徐々に新規感染者数が減少に転じていくと思う。その後再び感染が拡大するまで一旦消費は回復すると思われるが、原油価格の高騰から始まった国内の物価上昇やウクライナ情勢、米国経済の失速等、日本経済や消費にとってマイナスに働く要素が事欠かないことから予断を許さない状況が続くと思う。
		百貨店（販売促進）	・3月頃には新型コロナウイルス新規感染者数が落ち着いてくると思う。
		コンビニ（商品担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数は増加するが、軽症者が多くピークアウトを迎えている諸外国に倣って緊急事態宣言が発出されることはないと思う。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が拡大しているが、ワクチン接種が進めば、現在の良い水準で今後も推移すると思う。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・春頃までに新型コロナウイルスの感染が収束すれば、花見の時期になるため景気の回復が期待できる。
		一般レストラン（経営者）	・一時期新規感染者数が急拡大していた他国の地域でも、現在の新規感染者数は減少傾向にある。新型コロナウイルス感染のピークアウトが早く訪れて、新型コロナウイルスオミクロン株が発生しなければ、徐々に景気は上向くと予想する。
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・まん延防止等重点措置が解除されれば、また景気は上向くと思う。
		通信会社（営業部長）	・以前新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が増加した際、一時的に販売数や来客数が減少したが、その後すぐに回復したため、新型コロナウイルスの消費への影響は小さいと考えている。
		通信会社（営業担当）	・春商戦は年間において最も大きな販売機会であるため、新型コロナウイルスオミクロン株が収束していれば、売上の増加が期待できる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		競輪競馬（マネージャー）	・3回目のワクチン接種が進みつつあり、徐々に新型コロナウイルスに対する人々の恐怖心が薄れてくると予想されることから、少しずつ人出が増加し、消費意欲も拡大すると予想する。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況が少し好転すると思うが、不透明な部分が多く以前のように客が活発に動くかどうかは不明である。
		商店街（代表者）	・街づくりに関心を持つ複数の若いグループが共同で旧来の商店街やその周辺の空き店舗を活用し、街起こしを始める新たな動きが出てきつつある。核のない地価の高い駅周辺より、ハード整備ができて運営経費が格安な旧来型商店街の価値が更に見直されると期待している。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・職場で会食停止が要請されていると客から聞いたため、3回目のワクチン接種が終わるまでは、繁華街に人が戻ってこないと思う。夜の街や飲食店に客が入らないと商品が売れないので、しばらく状況は変わらない。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、景気の回復は難しい。
		スーパー（企画担当）	・食品の値上げは今後も何か月か続くため、特売商品の動きを活発化させて売上を引き上げることでバランスを保つという状況が続くと予測する。
		コンビニ（店長）	・感染が落ち着けば一時的に景気は回復するが、同じことが今後も繰り返されると思う。
		コンビニ（総務）	・新型コロナウイルスオミクロン株の状況にもよるが、状況は変わらないと思う。
		家電量販店（店員）	・今後の商品の入荷状況によっては悪化する可能性もあるが、状況は変わらないと思う。
		家電量販店（副店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向であるため、まだまだ先行きは不透明である。
		乗用車販売店（従業員）	・燃料の値上がりや新型コロナウイルスの今後の感染拡大状況が不透明であるため、予想できない。
		都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの終わりがみえない。
		旅行代理店（営業担当）	・今後も景気が回復するとは考えにくい。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大の状況次第であり、先行きが不透明である。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、すぐに収束することは期待できない。例年春は遍路客の予約が多い時期ではあるが、今の時点では全く先が読めない状況である。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、新生活シーズンではあるが客の動きは鈍くなると予想する。
		商店街（代表者）	・2～4月に予定している商店街のイベントはほとんどが中止予定である。大変厳しい状況が今後も続くと思う。
		スーパー（店長）	・第6波が収束し、巣籠り消費需要の恩恵がなくなると予測する。
		スーパー（店長）	・継続的な値上げにより買上点数の減少が予測される。
		スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束することで、再び外食や大型商業施設へ客が戻ることを懸念している。
		乗用車販売業（営業担当）	・例年売上が減少する時期であることに加え、新型コロナウイルス新規感染者数が増えているため、今後は更に厳しくなると思う。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により稼働を停止する生産工場もあり、ますます納期が遅れる見込みである。新型車の発売効果もあり受注はますますだが、当面厳しい状況が続くと思う。
		乗用車販売店（役員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響により、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言の発出も想定されており、良くなる要素が少ない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・新型コロナウイルスオミクロン株の収束次第であるが、新型コロナウイルス感染症発生前の水準までは戻らないと考えている。
		通信会社（社員）	・当県でも新型コロナウイルス新規感染者数が増加しており、身の回りでも外出等に慎重になる人が増えている。
		通信会社（支店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大が今後も続く。
		観光遊園地（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大の影響が今後も続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		美容室（経営者）	・イベント行事が中止や延期になっているため、乗客数は減少すると予想する。
		設計事務所（所長）	・建築費の値上がりと物流の滞りから、建設の工期が延びることが予想されるため、1年間事業を遅らせる事業者が増加している。
	×	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が急拡大しており、苦しい状態が続いている。各企業がテレワークを導入していることもあり、事務用品の購入が一段と減少傾向にあり、売上悪化の一因となっている。
	×	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数が増加し続けており、まだまだ収束の兆しがみえない。いつまでこの状況が続くのか不安で仕方がない。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大により客が減少しており、しばらく悪化傾向が続くと予想する。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着かなければ景気は戻らないと考えている。
	×	観光型旅館（経営者）	・Go To Travel キャンペーン等の施策が再開されない限り需要回復は望めない。感染状況がかなり改善しなければ、自発的な旅行需要の復活はないと予想する。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大状況次第であるが、このままの状態が続けば3～4月の売上はかなり減少すると予想する。
企業 動向 関連 (四国)		輸送業（経営者）	・3月後半から客がまた戻ってくる気配を感じる。
		農林水産業（職員）	・例年春は客の動きが活発化する時期であり、売上は回復すると予想する。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響で除菌クリーナーの需要は高いが、市場への供給量も多いため売上は余り伸びていない。キッチンペーパーを量産する新設備を導入する予定であるため、売上は増加すると予測する。
		電気機械器具製造業（経営者）	・再生可能エネルギー関連の仕事の引き合いは多くなっており、環境問題に対する世間の関心の高まりを感じる。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株は潜伏期間が短く、感染した際の待機期間も短いため、2～3か月先の景気はやや良くなると予想する。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数急増により、緊急事態宣言が発出されれば、飲食業や観光業を中心に市場が冷え込む可能性があると思う。
		繊維工業（経営者）	・売上は順調に推移しているが、原材料価格が高くなっており、特に大きな割合を占める綿糸価格が高騰している。4月からは、卸価格や小売価格の改定をする予定であり、春以降の店頭での売上は厳しくなると予測する。また、新型コロナウイルスの感染状況にも左右されており、先行きは不透明である。
		木材木製品製造業（営業部長）	・ウッドショックとコンテナ不足の影響がどこまで続くか不透明である。ハウスメーカーの受注は安定しているが、材料コストは大幅にアップしており、販売価格の変更が急務である。
		化学工業（所長）	・新型コロナウイルスの影響により先行きが不透明である。また、依然として原油価格が高騰しており、高止まりが予想されることも不安要素の1つである。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・景気は回復基調であるものの、点在する地政学的リスクに加え、世界的な半導体不足による調達環境の悪化や原材料価格の高騰、新型コロナウイルスオミクロン株感染拡大の懸念等、依然として先行きが不透明な状況である。
		建設業（経営者）	・公共、民間共に年度内は期待が持てそうにない。
		輸送業（営業）	・年度末の繁忙期を間近に控えているが、新型コロナウイルス感染症に対する3回目のワクチン接種が進み、内服薬が認可され普及する等による第6波の収束がなければ、景気の回復は期待できない。一方で、輸配送に事業用トラックを用いる物流事業者にとっては、燃料油価格の著しい高騰が経営を圧迫する最も深刻な問題となっており、取扱物量減少による減収減益に更なる拍車を掛ける形となっており予断を許さない状況にある。
		通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急増したことで、社外イベント等の開催状況の見通しが立てづらい状況になっており、先行きが不透明である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が再び拡大したことによる消費者の失望感は大きく、今後、一定水準以上の収束がない限り、消費者動向の活況は見込まれず、景気回復は程遠いものと推察する。
		鉄鋼業（総務部長）	・新型コロナウイルスの感染者が社内で発生すれば、更に稼働人員が減少するため、今後が不安である。
		建設業（経営者）	・本業は例年並みの決算が可能と見込んでいるが、景況感は新型コロナウイルス次第である。賃上げによる入札加点などの制度改革が提案されているが、過去にベースアップを実施した企業は更なる上積みは難しいため、複数年で実績を考慮するなど、柔軟な対応をお願いしたいと考えている。人材確保やデジタルトランスフォーメーション推進など、今後も企業は課題山積の状況が続く。
		輸送業（経理）	・海上のコンテナ不足の早期改善は難しく、また新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、出荷計画も数量減少の見込みである。
		通信業（企画・売上管理）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が増加し、飲食店やレジャー施設が予定していた集客行事を中止せざるを得ない事態となっており、今後も厳しい状況が続くと予想する。
		税理士事務所	・まん延防止等重点措置が適用されたことにより、外出する機会が減少し、景気が悪化すると思う。
	×	電気機械器具製造業（経理）	・新型コロナウイルス第6波の収束が全くみえない状況である。緊急事態宣言の発出を予想する報道もあり、社内でも企業活動への制限が不可避であるという見方が強い。
雇用 関連 (四国)		-	-
		人材派遣会社（営業担当）	・春先頃までは新型コロナウイルス特需が続くと想定する。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・異動時期に入り、求人数の増加が予想される。
		民間職業紹介機関（所長）	・新型コロナウイルスへの対策が落ち着きをみせ、新年度からの採用活動が活発になると予想する。
		人材派遣会社（営業）	・年度末決算に向けて、販売促進活動を通常どおり行いつつ、状況の変化に対し機敏に対応する企業が増えている。デジタルトランスフォーメーションの活用等、業務効率化を強力に推進する企業がこのまま増加すれば、結果として景気は回復すると思う。
		職業安定所（求人開発）	・新型コロナウイルスオミクロン株の爆発的な流行により、宿泊業や飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業に打撃を与えると予想する。一方で、3回目のワクチン接種の準備も進んでいるため、製造業などは回復基調であり、ワクチン接種が進めば春頃には収束傾向になると思う。
		求人情報誌（営業）	・観光業や飲食業などの業績回復の見込みが立たず、先行きが不透明である。また、今後も求人数の減少は続く予想する。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの感染が拡大し、イベントなどが軒並み中止や延期になることで、今期の売上に影響が出ると予想する。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急増しており、先行きが不透明である。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で派遣の依頼が減少している。また、求職者数の登録も一段と少なくなっており、求人とのミスマッチが多くなっている。景気回復はしばらく難しいと考えている。

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)		*	*
		商店街（代表者）	・新規感染者数の山場が過ぎれば、春になり気候も良くなっているため、景気は持ち直してくると期待をしている。
		商店街（代表者）	・客の購買行動が変わってきており、新型コロナウイルスに対して不安を感じ、慎重に商品選びをしている。しかし、入学や卒業の季節になり、人流は増加し、売上も少し上がる。
		商店街（代表者）	・行政の対応により、2～3か月先は新型コロナウイルスの新規感染者数も減少し、3～4月には景気が回復する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの第6波の影響により、外出の自粛や自己防衛意識が高まり、新しい生活様式をとる人が再度増加する。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株も恐らく減少傾向になるため、景気は回復する。また、各地域のGo To Travelキャンペーンも再開されると一気に好転する。
		コンビニ（エリア担当）	・新しい生活様式での経済活動を推進する政策に期待している。
		衣料品専門店（店員）	・第6波が落ち着いたら、少し回復する。
		家電量販店（店員）	・9～11月は非常に景気が落ち込んでいたが、徐々に上向いている。前年や前々年と比較すると満足できる数字ではないが、この流れは4～5月まで継続すると予想しているため、良くなっていく。
		家電量販店（従業員）	・春の新生活に向けて、需要が増えていく。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・3か月後には、第6波も落ち着く可能性が高い。現状よりは良くなる。
		観光型ホテル（専務）	・今が最低の状態であり、これ以上状況は悪くならない。新型コロナウイルスの感染拡大が続くと、取引業者も含めて体力が持つか分からない。
		観光型ホテル（総務）	・3月には新型コロナウイルスの第6波が収束し、卒業や入学、就職等、人の動きが活発になり、運営するシティホテルの利用も増えていく。
		旅行代理店（職員）	・新規感染者数が減少し、2～3か月先には旅行需要が今よりは良くなる。
		ゴルフ場（従業員）	・この先1か月は厳しい状況が続くが、2月中旬に新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が落ち着き、気候も良くなるため、入場者数は回復する。
		美容室（経営者）	・2～3か月先は春になるため、業界自体の景気は上がってくる。新製品の発表や、人の動きが出てくると少しずつ景気は回復してくる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス次第であり、売上に予想以上の影響がある。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・相場的に上限もなく、大きなイベントもないため、このまま推移していくと予想している。春先には、当地特産の柑橘系果物がギフトで動くのを期待しているが、前年から比較すると厳しい状況である。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・卒業式の季節であり、花を贈る機会は例年増えるが、新型コロナウイルスの影響で今年の売上の増加に確信が持てない。
		百貨店（企画担当）	・当県で初めてまん延防止等重点措置が適用され、今後の来客数は更に減少する見込みである。新型コロナウイルスオミクロン株の今後の状況にもよるが、現状からの大きな改善、回復は見込めず、停滞状況がしばらく継続する。
		百貨店（企画担当）	・新しい生活様式の需要はあるが、新型コロナウイルスの影響で必要最低限にとどまる。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の発生などで、現時点では収束がみえない。
		百貨店（経理担当）	・まん延防止等重点措置の影響で、催事を含めた来客数の減少が見込まれ、売上高も減少傾向であるが、前年のような来客数の急激な減少までには至っていない。
		百貨店（営業担当）	・新規感染者数の急増により、来客数は急減し、1月中旬以降は連日の新型コロナウイルスオミクロン株の報道で、店頭への来店が月末に掛け大きく落ち込んでいる。今後は県下のサテライトショップやギフトショップ、通信販売、ネット受注の増加を予想している。店頭への来客数は大きく落ち込んでいるが、自家需要中心で好性の高い舶来雑貨、時計、リビング用品は堅調であり、客単価、商品単価は維持している。新規感染者数が減少するまでは来店での売上の回復は遅れる。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急拡大しており、長引く感染対策で消費意欲も低下している。以前のような巣籠り需要はなく、また、消費者の経済的困窮度も段々と増している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経理担当）	・スーパーマーケットにとって内食の増加は売上につながる。一方で都市部では、食費を節約して支出を抑える傾向もあるため苦戦する店舗もあり、売上は大きく変わらない。新型コロナウイルスの感染が大きな要因になると考えられる。
		スーパー（統括者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の現状から内食需要が増加しても、時短営業等での買物となり、現状は変わらない。
		コンビニ（経営者）	・客は新型コロナウイルスに慣れた様子も見受けられるが、来客数や客単価に影響が出て、厳しさが増している。
		衣料品専門店（取締役）	・本来であれば4月は年度が替わり、洋服の買換え需要があるが、オンライン主流の風潮になり、買換え需要があるとは考えにくく、先が読めない状況である。
		家電量販店（店長）	・12月に支給された給付金で景気が上向くと予想していたが、今のところ上向いていない。家電業界は、新型コロナウイルスの感染が流行すると追い風が吹く傾向があり、現在は第6波の影響で若干良くなっているが、2～3か月後の景気は分からない。
		家電量販店（店員）	・半導体不足による家電業界への影響が続いているため、電話機やFax、プリンターを購入に来ている客に、売りたいけど売ることができない機会損失が多い。一方、パソコン等単価の高い物が売れており、差し引くと変わらない状態である。
		乗用車販売店（従業員）	・現在の景気は、新型コロナウイルスの対策と相関関係があるため、ゴールデンウィークで新規感染者数が増え、人流に影響があり、現状と同様の状況になると予想している。
		乗用車販売店（総務担当）	・新車生産が、半導体不足や新型コロナウイルスの影響で減少したままである。新型コロナウイルスの感染が拡大している状況下では、当面生産の回復は見込めない。自動車販売店では、販売する商品がなく、大変厳しい経営が続いていく。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・第6波の状況次第であり、濃厚接触の定義や集客の制限に緩和の傾向がみられるため、春頃には元の日常に近い形が戻ると予想され、2月は小売業全体で厳しくなるが3～4月は反動で回復する。
		観光旅館組合（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収束しない限り、集客は見込めない。
		タクシー運転手	・新規感染者数の増減により、景気は今まで経験したことがないほどの乱高下を繰り返しており、早い収束を期待するしかなく、不安定な状況が今後も続いていく。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染再拡大により、売上が減少している。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルス対策関連商品の受注や受注見込みが多くなっている。特別対応であり単価は小さくないが、通常対応が相対的に縮小している。
		通信会社（企画担当）	・現在の好調な販売量が、当分維持される。
		通信会社（統括者）	・繁忙期である2～3月は携帯電話の販売見込みを前年並みと計画しているが、新型コロナウイルスの感染拡大により現在の来客数が継続すると、前年より売上は減少する。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大が影響する。
		観光名所（従業員）	・ワクチン接種の動きはあるものの、新型コロナウイルス感染拡大第6波の先行きが分からないため、見通しが立てられない。
		競馬場（職員）	・新型コロナウイルス感染拡大第6波が収束しても、第7波への懸念等から、来客数減少の不安が拭えない。
		理容室（経営者）	・今月に入り、当県も新型コロナウイルスの新規感染者数が増加したため、来客数が減少している。最近では、土日でも今までにないほど来客数が少なく、全ての曜日で新型コロナウイルスの影響が出ている。
		その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・客からの受注も増えていたが、新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、操業や往来が減少する。また、原油価格が上昇し、物価の高騰で結局現状と変わらないと予測している。
		設計事務所（所長）	・今月の売上が良くないため、2～3か月先もその状態が続く。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染収束がみえなければ、以前の景気は取り戻せない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大で、景気は悪くなっていく。しかし、新型コロナウイルスオミクロン株の特徴がはっきりしてくれば、春先には景気は少し上向きになると予想されるが、新型コロナウイルス次第であるため、現時点では判断は難しい。
		商店街（代表者）	・年末年始は人通りも戻っていたが、第6波の影響でかなり人通りが少なくなっている。通りにある店も来客数はまばらであり、この1～2か月は厳しい商況になる。
		商店街（代表者）	・毎年3～4月は卒園や卒業、入園、就職等があり、それに加えて食料品の値上げが発表されており、家計がひっ迫するため、景気は良くならない。
		一般小売店〔精肉〕（店員）	・飲食店向けの需要が回復しない。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・魚離れを実感しており、2月は節分の恵方巻き、3月はひな祭りがあるが、その行事で魚の消費や売上が回復するか心配である。当市の魚屋は、このままではなくなってしまうと危惧している。また、飲食店も継続が見込めるのかと暗い気持ちになっている。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・売上は新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況に左右される。1日でも早い新規感染者数の減少を期待している。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束する見通しが立たず、来客数は激減する。
		百貨店（業務担当）	・新しい生活様式が長期間続いており、より消費に対して消極的になっていく。客の関心は3回目のワクチン接種等に向かい、景気はより厳しさを増していく。
		スーパー（企画担当）	・原料の値上げによる販売価格上昇に加え、ディスカウントストアの相次ぐ出店で競争が激しくなる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しており、その影響を心配している。また、従業員も限られた人数で営業しているため、感染者が出ないか不安である。
		コンビニ（経営者）	・まん延防止等重点措置が解除されるまでは人の動きは少なくなる。また、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が更に増加した場合、再度緊急事態宣言が発出されれば、当面景気の回復は見込めない。
		コンビニ（経営者）	・春の催事、行事の中止が相次いで発表されており、人流は低調で推移していく。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株による第6波がいつまで続くか懸念される。感染拡大が長期化すれば、景気は悪くなる。
		コンビニ（エリア担当・店長）	・まん延防止等重点措置の適用で、夜の客が外出を控えている。まん延防止等重点措置の解除後の動きにもよるが、しばらくは客の動きが鈍る。
		衣料品専門店（店長）	・3回目のワクチン接種が始まっているが、人の心が落ち着かなければ景気も良くならない。世の中全体が不安定で、2～3か月先が読めない。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響が大きく、まん延防止等重点措置の継続や緊急事態宣言等が出されれば、どうしても人流が少なくなり、また景気は落ち込む。
		家電量販店（従業員）	・先日の地震で当県の半導体工場が被災している。製造停止が続けば、1年以上も半導体不足が解消されず、現状以上の生産遅延が懸念され、売上への影響が大きくなる。
		乗用車販売店（従業員）	・安定していた部品の供給が、一部滞り始めている。
		住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が急激に増加している。現在第6波が発生しているが、2～3月が新規感染者数の山場で、経済活動が低迷する。
		住関連専門店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大のピークがまだみえないため、今後も来客数等に大きな悪影響が想定される。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、当県もまん延防止等重点措置が適用され、店舗への入場制限をしているが、まん延防止等重点措置の適用と同時に来客数は減少している。解除後の2月の動きは分からないが、今後2～3か月先の売上は例年より下がっていく。
		その他専門店〔書籍〕（副店長）	・1月中旬以降、新型コロナウイルス新規感染者数の増加とともに売上が減りつつある。感染拡大が落ち着かない限り、売上は悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・新型コロナウイルスの感染拡大によって、飲食店は時短営業や休業となっているが、新型コロナウイルス支援対策も手薄になっている。
		通信会社（営業担当）	・1月の新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数の急速な増加で、経済活動全体が再び低迷状態に戻っている。
		通信会社（業務担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の上昇で、営業活動に支障が出ている。
		ゴルフ場（営業）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が更に拡大し、景気や人流が停滞する。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で客は感染を恐れており、街には人気なくなっている。国からの補償がなければ、精神的にも生計も成り立たない。
		美容室（店長）	・例年1～2月は来客数が少なくなるが、高齢の客が多く、感染を恐れて外出をしない。現状を見守るしかない。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・新型コロナウイルス感染症が想定を上回る勢いで拡大しており、更なる予約取消しや客の減少を懸念している。
		設計事務所（代表）	・新型コロナウイルスの影響が長引く。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が続くと、客との商談や打合せができなくなるため、景気はやや悪くなる。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の流行で社会活動に制限が掛かり、補助金等を出しているものの消費に回る状況ではないため、景気は悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況がみえないため、先行きが不安である。新型コロナウイルスオミクロン株が、一刻も早く収束することを期待している。
	×	百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響に加え、政府の対策であるまん延防止等重点措置も影響し、景気は悪くなる。
	×	コンビニ（店長）	・例年この時期は従業員の入替え時期であるが、人手を確保するのが非常に困難になっている。客が来店しても、人手不足が営業に影響していく可能性がある。
	×	乗用車販売店（代表）	・新型コロナウイルスの影響で悪くなる。
	×	高級レストラン（経営者）	・急激に新規感染者数が増加し、忘年会や新年会もほとんどなく、人の動きがない状態になっている。売上は全く上がらず、例年の2割程度である。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の急増でまん延防止等重点措置が適用され、時短営業の要請や、終日酒類販売停止で営業にならない。
	×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数はまだまだ増加傾向にあり、前年の傾向から5月まで人流抑制の政策が予想される。その影響で、観光業や外食等のレジャー産業は営業ができなくなる。
	×	都市型ホテル（販売担当）	・まん延防止等重点措置が2月20日まで続けば、3月までの予約に影響が出てくる。また、例年4月は売上が低いため、景気低迷が継続する。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大のピークや収束の時期が予測できない。この厳しい状態が1か月は続いていく。
	×	設計事務所（所長）	・新年度に材料や製品単価の大幅な値上げを予告されており、景気は新型コロナウイルスの感染状況にも左右される。
企業 動向 関連 (九州)		-	-
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・年度末の納入完了を控えているため、売上は良くなる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・この先1～2か月で新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いてくると考えられるため、2～3か月前からの上昇傾向がそのまま続いていく。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・半導体関連の客からの受注見込みがある。
		その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・今年の受注目標は高く設定している。原料調達が課題となっており、解決できれば生産は向上する。
		金融業（営業）	・景気は新型コロナウイルスの感染状況次第であるため、不透明である。現状から、新型コロナウイルスオミクロン株が爆発的に感染拡大した後、2～3か月先は落ち着いている可能性があり、景気は上昇していると予想している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		広告代理店（役員）	・今後2か月は、客からの業務発注や、新しい提案に対する需要が順調に推移するが、年度が替わる4月以降は不透明である。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・春先までには新型コロナウイルスオミクロン株も落ち着き、新型コロナウイルス感染症の収束で状況は好転していき、景気は良くなっていく。
		農林水産業（従業者）	・来月からは市況が上がることを期待するが、一方、新聞やテレビが野菜の価格高騰を報じることで、農業者の所得は更に厳しくなる。
		家具製造業（従業者）	・例年は年度末に向けて繁忙期を迎える市場であるが、案件情報が枯渇しており見通しが立たない状況が続いている。景気回復は早くても4月以降になる。
		化学工業（総務担当）	・本年度については業績も好調であるが、来年度の見通しについては情報が不足している。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・売上や単価は前年と余り変わらないが、原材料等の材料費の値上がりがあり危惧している。売上は前年度と変わりが無いが、人件費の底上げがあり、不安視している。
		金属製品製造業（事業統括）	・部品不足、材料費高騰は当分続くとみられ、受注売上への影響は続く。
		一般機械器具製造業（経営者）	・客の声や営業部門の報告から、半導体分野での業況感はある程度良くなっている。しかし、他の分野の業況は現状と変わらない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・原材料や部品等の調達に難しいため、多少生産に影響しているものの大きな変化はない。今後もほぼ同水準で生産できる。
		電気機械器具製造業（取締役）	・半導体等の価格高騰や材料不足の影響が徐々に出ており、加えて新型コロナウイルスのまん延により社会活動全体が遅れるおそれがある。
		輸送業（従業者）	・新型コロナウイルスに起因する影響が多く、経済の回復はまだまだ見通せない。
		通信業（職員）	・来年度の入札等を含め発注が見込まれる案件の営業情報が少なく、受注目標を高く設定できない。
		通信業（経理担当）	・新型コロナウイルスに対する抜本的な対策が打ち出されていないため、景気は変わらない。
		金融業（調査担当）	・新型コロナウイルス感染拡大第6波の状況から、コロナ禍の早期収束は遠ざかり、ガソリンや食品等の価格上昇が追い打ちとなり、購買意欲は当面の間は低迷する。
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の急増により、一時的に景気が停滞するが、ワクチン接種や飲み薬の普及により、3か月後には収束が見通せる。しかし消費及び製造では、全体的に資材や部品等の調達に難しいことによりはなくなり、価格も高止まりしており、また世界中で同様の状態であることから、景気はすぐには変わらない。
		不動産業（従業者）	・賃貸物件が、現状の稼働率で継続する。
		新聞社〔広告〕（担当者）	・景気向上の好材料が見当たらない。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・Webのアクセス件数や問合せ件数に大きな変化がない。
		経営コンサルタント（社員）	・この数か月の販売活動、周囲の状況から景気が良くなるとは考えられない。
		その他サービス業〔物産リース〕（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大による労働力の低下で、現状と比べて大きく変動はない。
		農林水産業（経営者）	・本来であれば行楽や人の移動で売上が上がる時期であるが、前年同様、新型コロナウイルスの影響で売上は減少する。加えて、鳥インフルエンザが発生しており、原料不足で工場稼働に影響が出ている。入国制限による外国人労働者の不足や、コロナ禍による従業員の休みも、工場生産に大きな負担となっており、経営は厳しい。
		食料品製造業（経営者）	・端境期に入り、生産、受注共に減少する。
		繊維工業（営業担当）	・3か月後も変わらないが、若しくはもっと悪くなる可能性がある。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・半導体やハーネス等の部品供給減少の影響で、生産台数が減少する。
		建設業（従業者）	・官公庁の受注に結び付かない。新型コロナウイルスの影響で、民間工事の設備投資計画も期待できないため、景気もやや悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業（従業員）	・原料調達の遅れに加えて、新型コロナウイルスの濃厚接触による出勤停止で工場を稼働する人員の不足が発生している。この状況が更に拡大する見込みである。
		輸送業（総務担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が経済に影響を与える。店の時短営業などが貨物の受注量に響いてくる。
		金融業（従業員）	・公共投資が高水準で推移しており、住宅投資も持ち直しの傾向であったが、原材料費の増加に加え、新型コロナウイルスオミクロン株の急速な感染拡大により、飲食店や旅行、観光関連業者は先行きを懸念している。
		金融業（調査担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が本格化しており、1日当たり新規感染者数は過去最多を更新している。まん延防止等重点措置による飲食店への影響はもろろのことだが、療養者が増加することで経済活動そのものに支障を来す可能性があり、あらゆる業種で景気の減速を懸念している。
		広告代理店（従業員）	・まん延防止等重点措置の適用により、1～2か月はやや悪いと予測している。新型コロナウイルス感染症はすぐには収束しないため懸念している。
	×	建設業（社員）	・令和4年度の予算が成立し、公共工事が発注されるのはゴールデンウィーク後の5月になることは例年と変わらない。もっと早急な発注を期待している。
	×	経営コンサルタント（社員）	・新規感染者数の山場は2月上旬と考えており、そのため5月末までは外出が制限される。
	×	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・今後も、市町村が委託業務を発注する見通しであるが、入札に参加してもダンピングした金額で他社が落札することが予想されるため、受注の機会は得られず景気は悪くなる。
雇用 関連 (九州)			
		人材派遣会社（社員）	・3月の受注はあるため、新型コロナウイルスの感染が山場を迎えれば、景気は落ち着いてくる。
		新聞社〔求人広告〕（社員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況次第ではあるが、今までは重症者が減少し、ある程度の期間で山場を過ぎれば、2～3か月後の景気は持ち直している。秋口から1月の3連休までは、人の動きも活発であり、新聞広告の量もそれなりにあったことを考えると、抑制されていたことの反動で景気が良くなる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・現在の新型コロナウイルスの感染状況が頂点を抜け下り坂になり、3回目のワクチン接種が始まり、3～4月で異動や新生活の時期を迎えることから、景気は上向く。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・春先に向け、新型コロナウイルスも一時的に収束へ向かい、新型コロナウイルス対策を採り入れた新しい方向性のビジネスが定着していくと予想している。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、新規求人数は伸びを継続し、求職者数にも若干の増加傾向がある。
		人材派遣会社（社員）	・求人数は増加しているが、求職者の動きが鈍く、求人数が滞留している状況である。賃金の底上げが重要になるが、派遣先の承諾次第である。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・まん延防止等重点措置が再適用され、年度替わりの需要が伸びない可能性が出ている。本来であれば、卒業や入学、春休み、転職、転勤等、人が動く季節であるが、それらの需要が見込めない状況である。繁華街の出入や車の往来も目に見えて減少している。
		民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、今後の就職活動はオンライン選考が主体になるが、企業もこの2年で採用活動の経験値を上げ、採用活動自体が中止になることは考えられない。また、全体の景気も一部の業界を除くと良くなっており、悪くなることはない。
		学校〔大学〕（就職支援業務）	・年明けからの新型コロナウイルスオミクロン株の爆発的な感染拡大で、多くの地域でまん延防止等重点措置が適用され、10月以降緩和していた日常生活や経済への影響を懸念している。ただ、企業の採用活動は、一部の企業で採用数が増加し、多くの企業で2023年度卒業の採用者数は、本年度と同程度になる。また、オンラインによるインターンシップの実施は前年度よりも増えており、企業の採用意欲は前年以上に高まっている。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスで各業界も通常業務に制限がみられ、新規求人等の流れは少なく、登録者や求職者も増加の兆しが余りない。人選にも時間が掛かる状況が続いていく。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（社員）	・今月末からまん延防止等重点措置が適用されるため、人事面でも調整等があると予想される。
		職業安定所（職員）	・新規求人数は、4月以降では最高値になると見込まれるが、公的機関からの臨時求人数の増加が要因である。また、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が拡大しており、まん延防止等重点措置の適用により、雇用調整助成金の相談や申請等が増加する。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、宿泊業、飲食業、卸売業、小売業、運輸業の業績悪化が予想される。
	×	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染が収束せず、厳しい事業運営が長引いているため、業種によっては経営が危うい事業者がかなり出てくる。今回は会社倒産の危機感を持っている事業者が複数ある。

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)		百貨店（店舗企画）	・弊社内の新型コロナウイルス感染者は重症化していないことと、順調な回復ぶりから、3月頃には感染状況も落ち着き、集客も戻ると予測している。
		一般小売店〔酒〕（店長）	・新型コロナウイルスに対する免疫もできてくると考えられ、付き合い方も分かってくるのではないかとみている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染を避けるため、短時間で必需品や、くじ関連の商品を買っていく客が多く、客単価が上昇する。
		コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況により上にも下にも振れるが、少なくとも現状よりは好転すると考える。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大がピークに達し減少すれば今よりは良くなるとみている。
		その他専門店〔陶器〕（製造）	・まん延防止等重点措置さえ終われば、多少復活するのではないかとみている。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・まん延防止等重点措置が解除になっても、周りの企業はしばらくは会食停止要請になるはずなので、すぐには入客数は増加しない。先に若者、観光客が少しずつ戻ってくるとみている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、3月は学生の動きが多く繁忙期となるので、今よりは上向きになると予想するも、例年並みとはいかないとみている。
		住宅販売会社（役員）	・現在、まん延防止等重点措置により社会活動が抑えられている。解除される前提だが客の動きも活発になるとみている。
		スーパー（企画担当）	・まん延防止等重点措置が2月20日まで延長され、新型コロナウイルスの新規感染者数にもよるが、しばらくは現状が続くとみている。
		スーパー（販売企画）	・新型コロナウイルスの感染状況に大きな変化がなければ、景気は現状と余り変わらないと考える。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株のまん延により、前年秋頃と同様に景気が悪くなっている。これは2～3か月で回復できないと考えている。
		コンビニ（副店長）	・先日、まん延防止等重点措置の延長が発表され、来月一杯期待できない。
		衣料品専門店（経営者）	・年明けは成人式などがあり安定したが、中旬から新型コロナウイルス感染が広がり始め、徐々に雲行きが怪しくなり始めている。また以前の状態に戻った雰囲気がある。景気はまだまだ様子見になるとみている。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・まん延防止等重点措置の適用後、予約のキャンセルが相次ぎ2019年と比べ半分まで落ち込んでいる。全国的に新型コロナウイルスオミクロン株の流行が本格的になっており近々での需要回復は望めない。
	住宅販売会社（代表取締役）	・建築資材の高騰やコロナ禍の影響による住宅設備商品の納品遅れの影響が懸念される。	
	旅行代理店（マネージャー）	・急発進からの急停止への繰り返しで、ため息しか出てこない。	
	×	商店街（代表者）	・ここ1か月くらいで新型コロナウイルスの第6波が来て、本当に街から歩行者も減り、商売は大変危機的状況である。早めの新型コロナウイルスの終息を祈るのみである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	観光型ホテル（代表取締役）	・宿泊の先々の予約も増えない。修学旅行の3月以降の予約もキャンセルや問合せが増えており今後もキャンセルが増える。料飲部門の予約も同様な状況である。
	x	観光型ホテル（企画担当）	・1月の販売室数は前年比39%増加とプラスなのに対して、1月末時点での4月の予約室数は前年比28%減少とマイナスに転じている。
	x	観光名所（職員）	・まん延防止等重点措置が延長されそうなので沖縄県への来客数も減っている。
企業 動向 関連 (沖縄)		*	*
		食料品製造業（役員）	・新型コロナウイルスの終息がみえないなか、急激な経済の回復は期待できないが、沖縄復帰50周年や沖縄を題材にしたドラマの開始があり、沖縄食材の需要の増加に期待している。
		建設業（経営者）	・数か月前から商談を進めている客が具体的に動き出している。
		窯業土石業（取締役）	・売上は前年並みと予想するが、原材料の価格高騰による原価上昇分の価格転嫁に苦慮しており、収益面で厳しくなる見通しである。
		輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、官需部門においては石垣島の陸上自衛隊関連工事が本格化している。宮古島は公共工事が一段落しているが、民需でのホテル関係工事が出ている。海底火山噴火により発生した軽石の影響で、11～12月は操業停止に追い込まれたが1月は操業ができています。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で販促活動を自粛する傾向はあるものの、大きく減少するまでには至っておらず、当面の間は現状のまま推移するものとみている。
		*	*
	x	-	-
雇用 関連 (沖縄)		-	-
		人材派遣会社（経営者）	・派遣スタッフが新型コロナウイルスに感染したり、濃厚接触者になり仕事ができない例が現在急増しているが、新型コロナウイルスオミクロン株の特性から沖縄においては間もなく落ち着くとみている。そうすると稼働できなかったスタッフも現場に復帰し売上にはつながっていくとみている。
		求人情報誌製作会社（営業）	・まん延防止等重点措置が2月中旬まで延長となるので、来月まで求人数は停滞するかとみているが、予定どおり2月中旬で解除になると2か月後の3～4月は求人数が増加すると予測している。
		職業安定所（職員）	・職種にもよるが、新型コロナウイルスに対応した状態で採用活動を再開する事業所と、また観光などで国のクーポンなどの後押しにより生まれる一時的な求人数の増加がある。引き続き好調な建設業、不動産業などでも、求人数が増加するとみている。
		学校〔大学〕（就職支援担当）	・新年度で雇用関係の動きとしてマッチングが進み、雇用面ではやや改善されるとみている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・新年度を迎え新たな採用計画の下で、募集活動を行う企業が増えてくる。
		人材派遣会社（総務担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が減少しない限り景気は変わらない。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・求人数が減少している。
		-	-
	x	-	-